

令和元年度

図書館年報

柏市立図書館

令和元年度

図書館年報

柏市立図書館

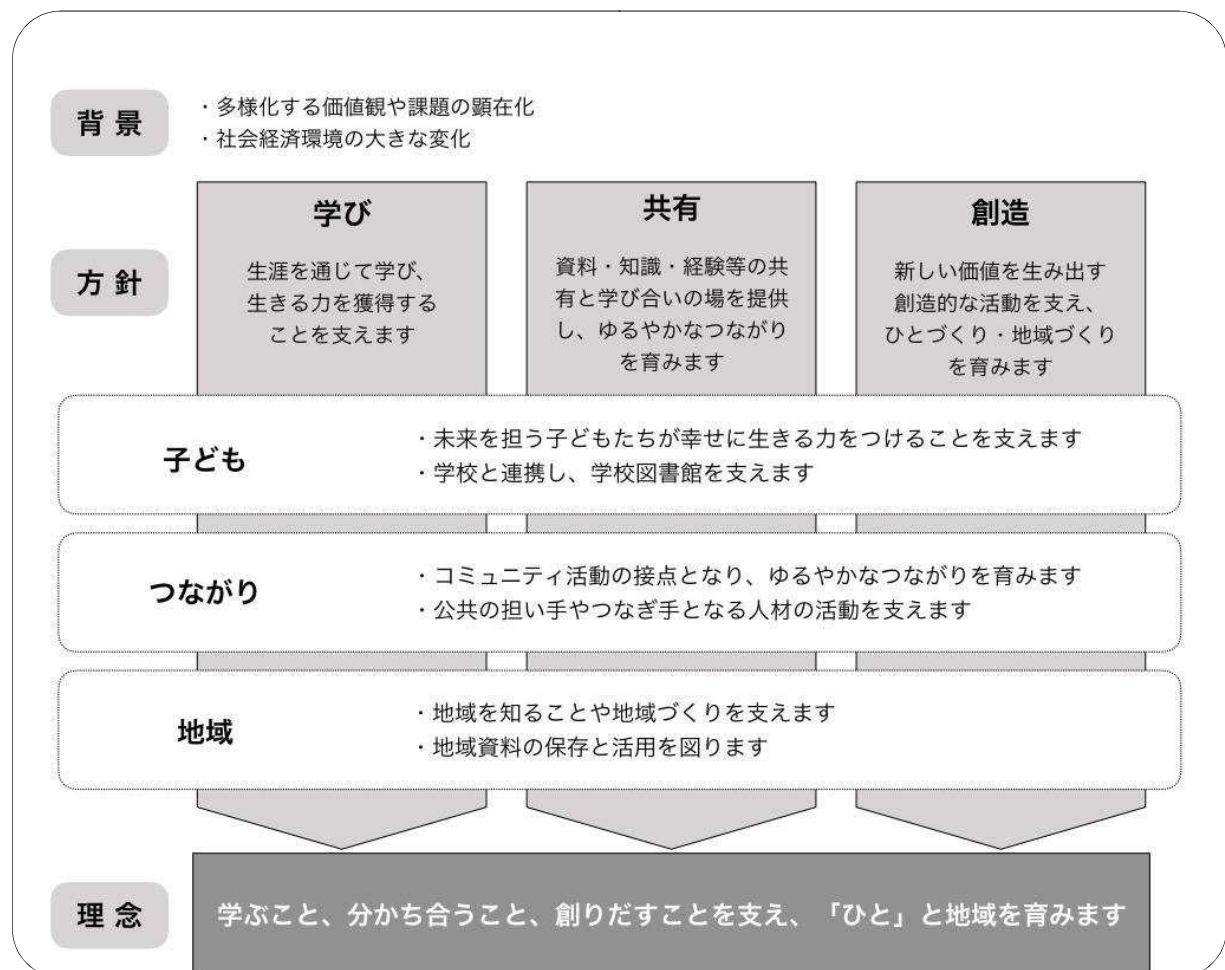
急速な社会経済状況の変化や価値観の多様化などを背景に、いま図書館の社会的役割が問われていると考えます。柏市教育委員会では市民の皆さまと議論を重ね、平成31年2月に、今後の図書館像や運営のための理念や方針を示す「柏市図書館のあり方」を策定しました。今後は、この理念や方針に基づき、その実現に取り組んでまいります。

柏市図書館のあり方

基本理念

学ぶこと(学び)、分かちあうこと(共有)、創りだすこと(創造)を支え、

「ひと」と地域を育みます



基本方針

1. 学び

生涯を通じて学び、生きる力を獲得することを支えます

長寿社会においては、生涯を通じて学び、必要な新しい知識や技能を習得することが求められます。加えて、予測困難で複雑な社会の中で、図書館は、将来について考えるための情報に触れ、人生の可能性を広げ、生きる力や幸せをつかむ力を養うため、ひとりで学び、他者と学び合える環境を提供します。

2. 共有

資料・知識・経験等の共有と学び合いの場を提供し、ゆるやかなつながりを育みます

図書館は、保有する資料を市民全体で共有することはもちろん、個人がそれぞれ持つ知識や経験を共有する役割や、学び合いと創造的な活動の成果を共有する役割を担います。これらの活動を通じて市民のゆるやかなつながりを育みます。

3. 創造

新しい価値を生み出す創造的な活動を支え、ひとづくり・地域づくりを育みます

多様な資料と市民が持つ様々な情報や知恵が集まる図書館で、人と情報、人と人が出会い、学び合うことで新しい価値を創造することを支援します。そしてこの創造的な活動は「ひとづくり」につながり、生み出される様々な新しい価値は、地域をより良いものにしていくと考えます。

※ここで紹介しました「柏市図書館のあり方」は冒頭の部分のみとなっています。全体版については、次の市ホームページからご覧ください。



http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/280700/p046994_d/fil/20190222arikata.pdf

目 次

1	年表	1
2	図書館の1年(平成30年度)	7
3	図書館の概要	10
4	サービスの概要	16
5	図書館システム	20
6	図書館の組織	21
7	令和元年度予算	23
8	図書館の活動状況(平成30年度)	25
9	目で見える統計	35
10	統計表一覧	40
11	本館・分館所蔵雑誌・新聞一覧	54
12	法規関係	63
1	社会教育法	63
2	図書館法	73
3	図書館法施行令	77
4	図書館法施行規則	78
5	子どもの読書活動の推進に関する法律	82
6	文字・活字文化振興法	84
7	視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律	86
8	図書館の自由に関する宣言	90
9	図書館員の倫理綱領	91
10	柏市立図書館条例	92
11	柏市立図書館条例施行規則	94
12	柏市立図書館資料複製物提供要領	97
13	柏市身体障害者等資料貸出要領	98
14	図書館資料選定会議設置要領	99
15	柏市立図書館団体貸出取扱要領	100
16	柏市立図書館寄贈資料に関する取扱い基準	101
17	柏市立図書館貸出停止基準	103
18	柏市立図書館利用者インターネットパソコン利用規約	104
19	柏市立図書館資料収集方針	106
20	柏市立図書館資料除籍基準	113

1 年表

昭和29年	4月	柏町立図書館設立（柏町公民館に併設）寺村紘二（教育長）初代図書館長兼務となる 柏町立図書館設置条例公布 柏町立図書館規則公布
	5月	柏町立図書館開館
	7月	館外貸出開始
	9月	東葛市制施行
	11月	東葛市立図書館に改称 柏市制施行に伴い柏市立図書館に改称
昭和30年	5月	第1回利用者の集い開催
昭和31年	4月	平塚秋司（教育長）図書館長兼務となる 貸出文庫開始
昭和32年	2月	石井清（社会教育課長）図書館長兼務となる
	7月	土公民館図書室開館 富勢出張所内に「富勢公民館図書室」を設置
	9月	光ヶ丘出張所内に「光ヶ丘文庫」を設置
	12月	県立移動図書館（光ヶ丘ステーション）開設
昭和35年	10月	中央公民館建設委員会結成
昭和36年	4月	田中公民館文庫開始
昭和37年	1月	中央公民館竣工 旧公民館から中央公民館に移転
昭和40年	2月	館報かしわ創刊号発行
	4月	斉藤吉永（中央公民館長）図書館長兼務となる
昭和41年	1月	児童図書コーナー開設
	11月	県立移動図書館（豊四季団地ステーション）開設
昭和42年	4月	図書寄贈者25名に感謝状贈る
昭和43年	11月	お昼の読書会開設
昭和45年	11月	お昼の読書会主催「市民古典講座」開講
昭和46年	8月	移動図書館「かしわ号」1号車運行
昭和47年	8月	古谷武雄（教育次長）図書館長兼務となる
	9月	中央公民館から法務局柏出張所庁舎跡に移転 移動図書館第2号車を「なかよし号」と公募で決定
	11月	野口重利（中央公民館長）図書館長兼務となる

昭和48年	5月	柏市立図書館規則全部を改正
	6月	第1回図書館協議会開催
	10月	稲飯忠正図書館長就任
	11月	日本図書館協会へ柏市における図書館計画の策定を委託
昭和49年	10月	柏市立図書館豊四季台分館が開館
	12月	新館建設工事着工
昭和50年	4月	近藤三郎図書館長就任
	10月	新館建設工事竣工
昭和51年	3月	新館開館(柏プラネタリウム図書館内に開設)
	4月	図書選定委員会発足
昭和52年	3月	柏市立図書館豊四季台分館を拡張改装
	4月	石井和人図書館長就任
		柏市立図書館資料複製物の提供に関する要綱の制定
昭和53年	4月	鏑木力図書館長就任
昭和54年	5月	柏市立図書館田中分館, 南部分館, 西原分館が開館
	7月	読書室の利用を夏季期間中二部入替制とする
昭和55年	3月	図書館業務にコンピュータ導入(委託) オンラインによる貸出開始
	4月	峯川喜代治図書館長就任
	5月	柏市立図書館電子計算機取扱要綱を制定
		柏市立図書館永楽台分館, 布施分館が開館
	10月	県教育功労表彰者として社会教育団体の部で柏市立図書館が受賞
	12月	大型移動図書館車「なかよし号」運行開始
昭和56年	4月	視聴覚ライブラリー, 中央公民館へ移管
	5月	重度身体障害者への図書郵送貸出開始
昭和57年	1月	柏市立図書館増尾分館が開館
	5月	柏市立図書館光ヶ丘分館, 新富分館が開館
	6月	移動図書館車の車庫を新設
	11月	柏市立図書館規則全部を改正
		ねたきり老人等身体に障害のある人への郵送貸出開始
昭和58年	3月	図書館本館に点字ブロックを設置
	4月	柏市立図書館高田分館, 根戸分館が開館
昭和59年	2月	柏市立図書館図書除籍基準を制定
	10月	柏市立図書館新田原分館が開館
昭和62年	10月	柏市立図書館松葉分館, 藤心分館が開館

昭和63年	4月	鈴木国慈図書館長就任
	6月	土南部小学校への学校訪問を開始
	11月	柏市立図書館本館に利用者用の端末器「ケンサクくん」を設置
平成元年	1月	図書館の将来像プロジェクトチームが発足
	10月	同上プロジェクト「新しい時代の図書館サービスを求めて」を報告
		柏市立図書館全職員で構成する、担当別会議を発足
		図書館計画施設研究所へ柏市の図書館計画を委託
平成2年	3月	同上研究所「柏市のめざす図書館サービス2001計画」を報告
平成3年	1月	盲人用録音物等発受施設に指定される
	3月	第3次総合計画に図書館の整備が位置づけられる
		4万冊収容の保存庫を増築
	4月	図書館本館で19時までの夜間開館を試行
	7月	ブックリスト「よんでみませんか」を市内全小学校へ配布開始
平成4年	4月	大関隆次図書館長就任
	10月	本館で夜間開館サービスを実施
平成5年	4月	移動図書館「なかよし号」(三代目)を購入、運行開始
平成6年	12月	レコードの貸出終了
平成7年	1月	CDの貸出開始
	3月	本館サッシ等取替工事完了
	7月	ブックリスト「よんでみませんか」を市内の全児童へ配布開始
	10月	除籍図書を市民へ無償で配布する「リサイクルコーナー」を図書館本館に常設
平成8年	3月	OCRからバーコードへ変更完了
平成9年	4月	新中央館建築計画プロジェクトチーム発足
	9月	全分館へのブックポスト設置完了
平成11年	4月	立川誠一図書館長就任
	6月	新中央館建設予備調査検討委員会を設置
平成12年	3月	(仮称)柏市立中央図書館建設予備調査報告書(案)を作成
	12月	本館で排水管工事を実施
平成13年	3月	OPAC(館内用蔵書検索機)の機種入れ替え及び各分館への導入
平成14年	4月	柏市ホームページでインターネットによる図書館蔵書検索システムを開始
	5月	ブックスタート事業を開始
	6月	本館で空調設備全面改修工事完了
平成15年	9月	移動図書館車「なかよし号」を廃止
平成16年	4月	宮間健図書館長就任
		月末の館内整理日を廃止、分館の平日10:00開館開始

平成17年	3月	沼南町との合併に伴い、沼南分館・高柳分館を加えた16分館体制へ
	4月	各分館におけるおはなし会の定期開催への試み開始
	8月	図書館だより再創刊 「てのひら」 第一号発行
	10月	ブックスタートパック受け取り 1万組達成
平成18年	3月	旧沼南町域における移動図書館業務を終了
	4月	成島勉図書館長就任
		子ども読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰
	11月	本館機能強化に係る検討報告書を作成
平成19年	1月	OPAC（館内用蔵書検索機）予約開始
	3月	「新中央図書館・整備基本構想」策定
		「柏市子ども読書活動推進計画」策定
	4月	全館祝日開館を開始
		9分館を臨時職員のみで運営に
	9月	インターネット予約を開始
	10月	本館内に「シニアライフ応援コーナー」を開設
	11月	第1回図書館まつり開催
平成20年	1月	図書館ホームページの機能向上
	3月	「新中央図書館整備基本計画」策定
	4月	豊四季台分館を除く全分館を臨時職員のみで運営に
	5月	携帯電話用ホームページを開設
		沼南分館内に学校図書配送コーナーを設置
		柏市立図書館の運営理念及び運営方針を策定
	7月	文部科学省委託事業（平成20年度地域の図書館サービス充実支援事業）を柏市図書館サービス充実支援実行委員会（事務局：柏市立図書館）が受託
		本館内に「緩和ケアを知る100冊コーナー」を開設
	8月	柏市立図書館こども図書館（沼南庁舎内）が開館
	11月	第2回図書館まつり開催
	12月	ブックスタートパック受け取り 2万組達成
平成21年	1月	学校図書配送コーナーを沼南分館からこども図書館に移設
	5月	文部科学省委託事業「“かしわ” 版子ども読書ボランティアリーダー育成事業」を受託（事務局：柏市立図書館）
	11月	第3回図書館まつり開催

平成22年	4月	鈴木宏晶図書館長就任
	10月	第4回図書館まつり開催
	11月	新システム稼働, ホームページ, インターネット予約等の利便性向上
	12月	指導課と共催し「子ども司書会議」開催
平成23年	3月	東日本大震災の影響で14分館閉館(3月18日～31日)また, 本館夜間開館(毎週水・木・金の17時から19時)を9月末まで休止
	4月	中山善太郎図書館長就任
	10月	第5回図書館まつり開催, 「高校生グループ読書バトルINかしわ」開催
	11月	ブックスタートパック受け取り 3万組達成
平成24年	1月	国の地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金約800万)を活用して図書館本館2階新聞・雑誌コーナーを中心にリニューアル実施 本館内に「闘病記文庫」を開設
	4月	プラネタリウム事業を中央公民館から移管
	6月	柏市子ども読書活動推進計画(第二次)策定 オンラインデータベース提供開始
	10月	第6回図書館まつり開催
	11月	「市内中学・高校生知的書評合戦(ビブリオバトル)」開催 「市内大学図書館見学ツアー及び知的書評合戦(ビブリオバトル)」開催
平成25年	8月	市内高等学校図書館担当者意見交換会開催
	12月	リサイクル本市開催(第7回図書館まつり中止により単独開催) 「市内中学・高校生知的書評合戦(ビブリオバトル)チャンプ本賞」等市内書店POP展示開催
平成26年	2月	本館1階リニューアル実施(LED化, 正面玄関前改修, 児童室非常口新設, 相談・登録コーナー新設)
	3月	柏市立図書館条例施行規則一部改正
	4月	長妻敏浩図書館長就任
	7月	柏市立図書館条例施行規則一部改正の一部改正 本館会議室を読書席に一時開放開始
	10月	第8回図書館まつり開催 貸出延長サービス実施, 貸出停止実施 本館リニューアル実施(エレベータ改修)
平成27年	3月	本館リニューアル実施(高圧受変電設備取替)
	4月	司書有資格者による「司書補助員」採用開始
	9月	第9回図書館まつり開催
	11月	図書館システム機器入替え実施, スマートフォン用ホームページを開設
	12月	柏市立図書館条例施行規則一部改正

平成28年	4月	諏訪部正敏図書館長就任
	5月	市民読書交流会試行実施
	7月	市民読書交流会開催
	8月	レファレンス協同データベースへの登録開始
	12月	ティーンズコーナー設置
		本館リニューアル実施(本館外壁塗装及び屋上防水工事)
平成29年	1月	リサイクル本市開催(第10回図書館まつり中止により単独開催)
	3月	郷土行政資料電子化開始
	4月	小池久美子図書館長就任
	7月	夏休みしらべものカウンター設置
	10月	第10回図書館まつり開催
		南部近隣センター市民ワークショップ開催(全6回、翌年7月まで)
	11月	ブックスタートパック受け取り 5万組達成
平成30年	3月	学校図書館支援図書購入
	5月	郷土行政資料電子化資料図書館ホームページにて公開開始
平成31年	2月	「柏市図書館のあり方」策定

2 図書館の1年（平成30年度）

総貸出冊数（個人）



1,958,370 冊

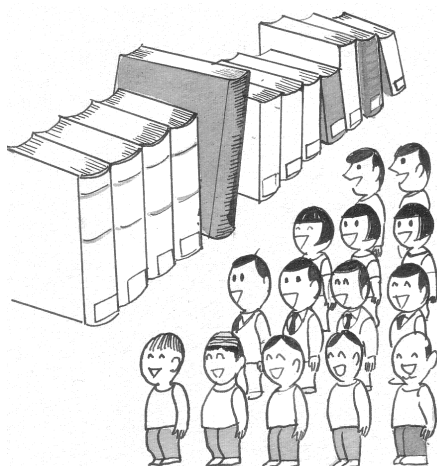
総利用者数（個人）



641,685 人

市民1人当たりの貸出冊数

$\frac{\text{貸出冊数(個人)}}{\text{人口}}$



4.6 冊

登録率

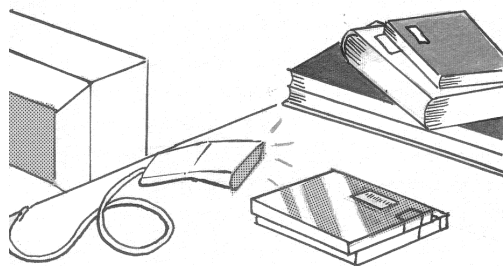
$\frac{\text{登録者数(個人)}}{\text{人口}}$



18.1%

貸出1回当たりの利用冊数

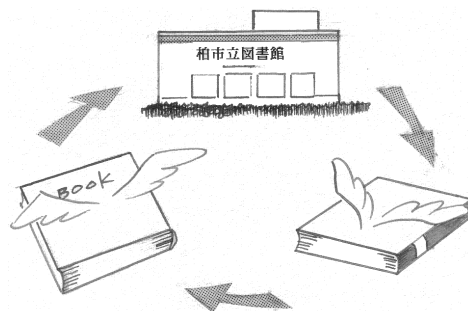
$\frac{\text{貸出冊数(個人)}}{\text{利用者数(個人)}}$



3.1 冊

蔵書回転率

$\frac{\text{貸出冊数(個人)}}{\text{蔵書冊数}}$



2.1 回

市民1人当たりの蔵書冊数

$\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}}$

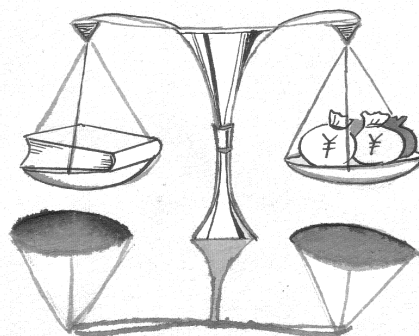


2.1 冊

市民1人当たりの資料購入費

$\frac{\text{資料購入費}}{\text{人口}}$

(資料購入費には図書以外も含む)



132 円

指標の変遷（５年間）

<div> <div>年 度</div> <div>項 目</div> </div>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人口(各年度3/31付) (人)	409, 447	415, 200	418, 824	422, 385	426, 224
総貸出冊数 (冊)	2, 041, 079	2, 059, 969	1, 986, 104	1, 981, 399	1, 958, 370
総利用者数 (人)	616, 604	650, 568	641, 983	644, 053	641, 685
市民1人当たりの貸出冊数 (冊)	5. 0	5. 0	4. 7	4. 7	4. 6
登録率 (%)	20. 8	19. 8	19. 3	18. 8	18. 1
貸出1回当たりの利用冊数 (冊)	3. 3	3. 2	3. 1	3. 1	3. 1
蔵書回転率 (%)	2. 2	2. 2	2. 2	2. 2	2. 1
市民1人当たりの蔵書冊数 (冊)	2. 2	2. 2	2. 2	2. 2	2. 1
市民1人当たりの資料購入費(円)	139	139	139	140	132

※単位及び算出式は前頁のとおり

3 図書館の概要

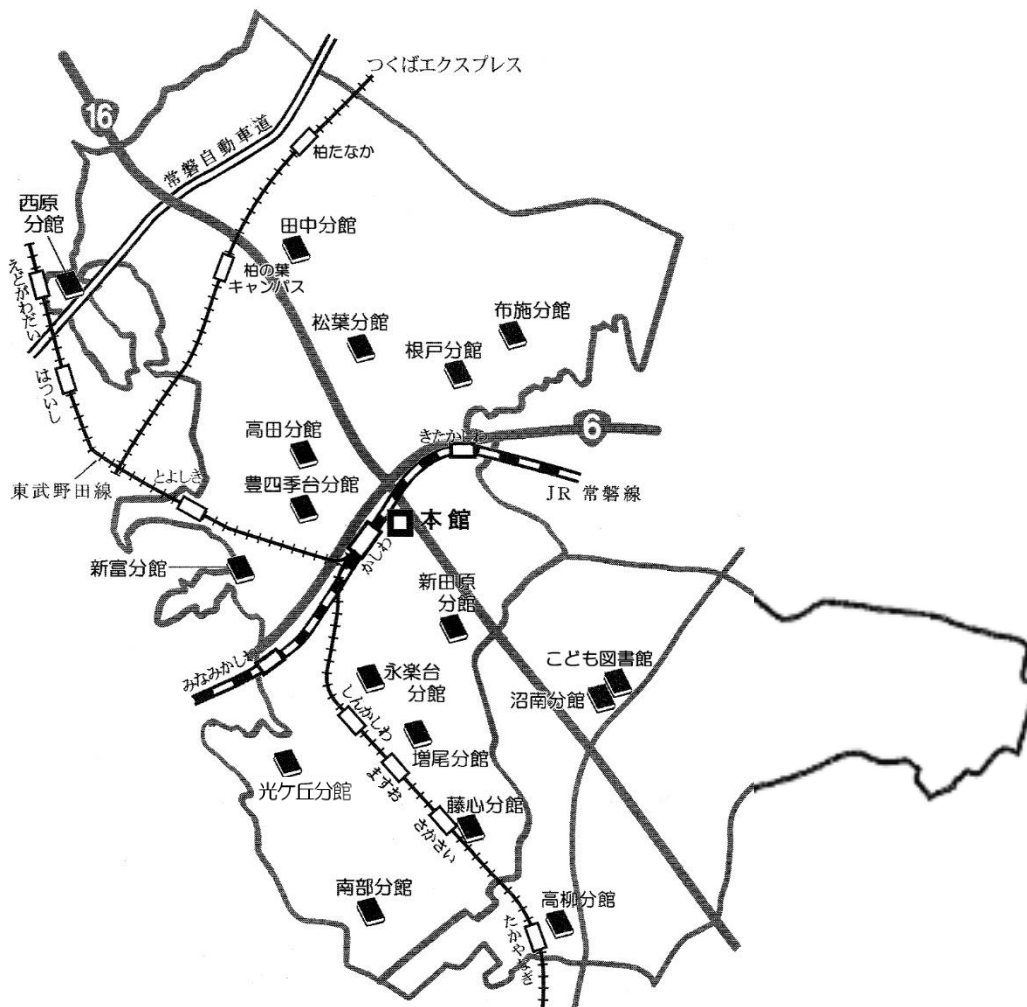
柏市の図書館は、昭和29年4月、当時の柏町公民館に併設された「柏町立図書館」に始まります。

なお、同年9月には、市制施行により「東葛市立図書館」となり、更に同年11月には、市の名称変更が行われ「柏市立図書館」となりました。

昭和40年代に入ると、柏市は東京のベッドタウンとして人口が急増したため、社会基盤の充実の一環として、日本図書館協会に図書館計画の策定を委託し、図書館網の整備に着手しました。

昭和49年には、豊四季台分館が開館、引き続き昭和50年に本館が竣工。その後、昭和54年から昭和62年にかけて13の分館を設置し、図書館網計画が完成しました。

平成17年3月には、沼南町との合併により2つの分館が加わり、本館と16分館の体制となりました。さらに、平成20年8月には、沼南庁舎1階を改修し、17番目の分館として「こども図書館」が開館しました。



1 施設の概要

(1) 本 館

(敷地面積 2,234 m²)

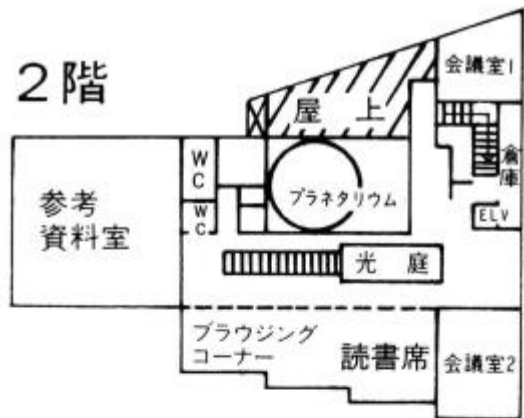
階 別	名 称	面 積 (m ²)
地 階	事 務 室	208.53
	作 業 室	21.81
	連 絡 車 庫	32.16
	保 存 書 庫	97.60
	郷 土 資 料 保 存 庫	12.30
	倉 庫	28.60
	マ イ ク ロ 複 写 室 暗 室	19.58
	機 械 室 等	50.00
1 階	児 童 貸 出 室	132.86
	一 般 貸 出 室	467.59
2 階	参 考 資 料 室	146.88
	プ ラ ネ タ リ ウ ム 室	67.86
	読 書 室	108.90
	会 議 室 (1)	36.63
	会 議 室 (2)	48.90
	休 憩 コ ー ナ ー	10.80
屋 上	屋 上	35.11
そ の 他		478.89
合 計		2,005.00
開館年月日		S 51. 3. 2

◎その他別棟保存庫 200 m²

(2) 分 館

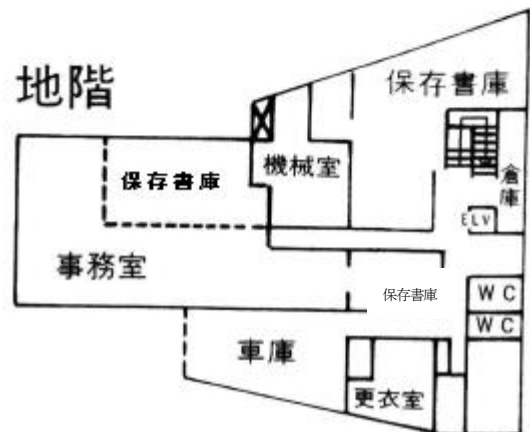
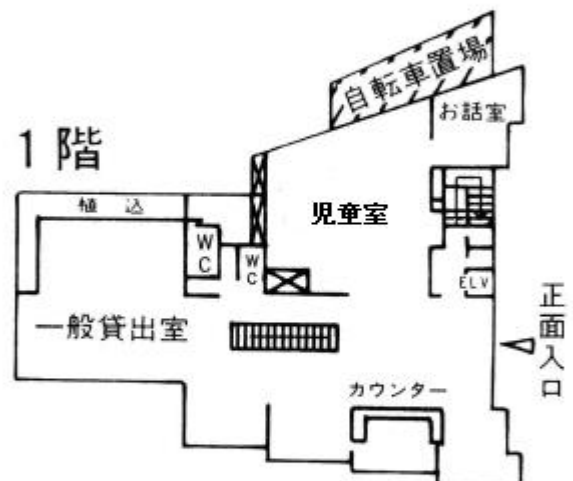
分 館 名	面積 (m ²)	開館年月日
豊 四 季 台 分 館	198	S 49. 10. 22
田 中 分 館	172	S 54. 5. 1
西 原 分 館	105	S 54. 5. 1
南 部 分 館	191	S 54. 5. 1
布 施 分 館	196	S 55. 5. 21
永 楽 台 分 館	132	S 55. 5. 21
増 尾 分 館	168	S 57. 1. 12
光 ケ 丘 分 館	187	S 57. 5. 19
新 富 分 館	165	S 57. 5. 14
高 田 分 館	137	S 58. 4. 16
根 戸 分 館	118	S 58. 4. 12
新 田 原 分 館	110	S 59. 10. 6
松 葉 分 館	205	S 62. 10. 3
藤 心 分 館	147	S 62. 10. 17
沼 南 分 館	380	S 53. 4. 1
高 柳 分 館	127	H 7. 5. 10
こ ど も 図 書 館	473	H 20. 8. 8

2 各館案内



(1) 本館

〒277-0005 柏市柏5-8-12 Tel. 04(7164)5346
 柏駅東口下車、徒歩10分



工事概要

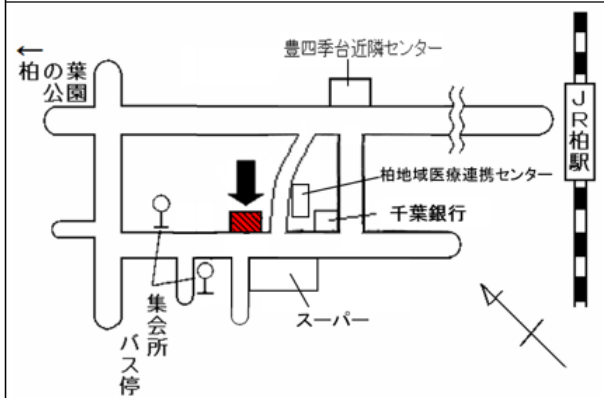
建築面積	709 m ²
延床面積	2,005 m ²
着工	昭和49年12月21日
完成	昭和50年10月31日
工費	3億1,800万円
設計	株式会社和設計事務所
施工	戸田建設株式会社
蔵書収容能力	約15万冊

(2) 分館

① 豊四季台分館

〒277-0845 柏市豊四季台1-1-111 TEL 04(7145)9546

柏駅西口より、豊四季台団地循環バスで「団地センター前」下車、徒歩2分



② 田中分館

田中近隣センター内

〒277-0813 柏市大室249-1 TEL 04(7134)2546

柏駅西口より、柏たなか駅行きまたは、市立柏高校行きバスで「大室」下車、徒歩2分 もしくはTX柏たなか駅より徒歩15分、または柏駅西口行きバスで「大室」下車徒歩2分

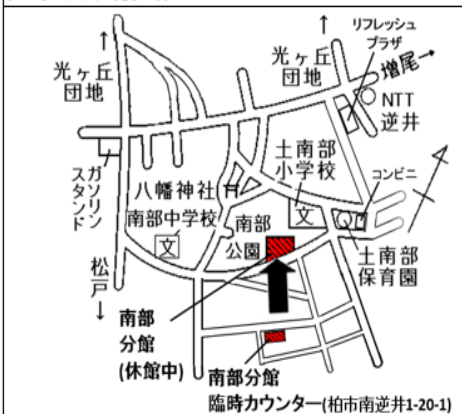


③ 南部分館

南部近隣センター内

〒277-0044 柏市新逆井2-5-13 TEL 04(7172)9194

新京成線五香駅東口より、柏陵高校行きバスで「近隣センター」下車、徒歩1分



南部分館は、南部近隣センターの大規模改修(リノベーション)に伴う休館のため、南部近隣センター体育館内プレイルームに臨時カウンターを設置しています。
※期間: 2018年12月18日～2020年5月(予定)

④ 西原分館

西原近隣センター内

〒277-0885 柏市西原3-2-48 TEL 04(7152)9898

東武アーバンパークライン(野田線)江戸川台駅東口より、徒歩13分または江戸川台駅東口より、流山おおたかの森駅東口行きバスで「西原近隣センター前」下車、徒歩1分

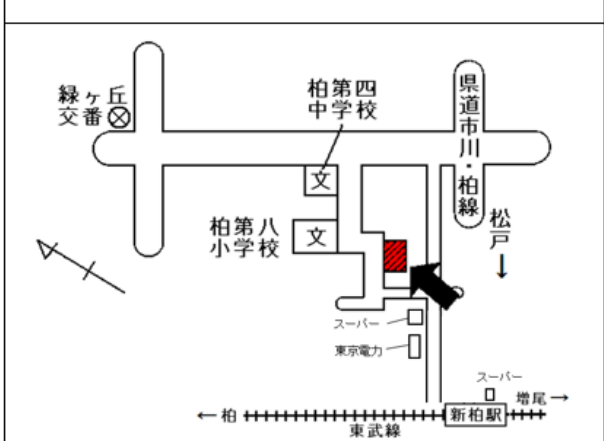


⑤ 永楽台分館

永楽台近隣センター内

〒277-0086 柏市永楽台2-11-25 TEL 04(7163)1232

東武アーバンパークライン(野田線)新柏駅東口より、徒歩10分

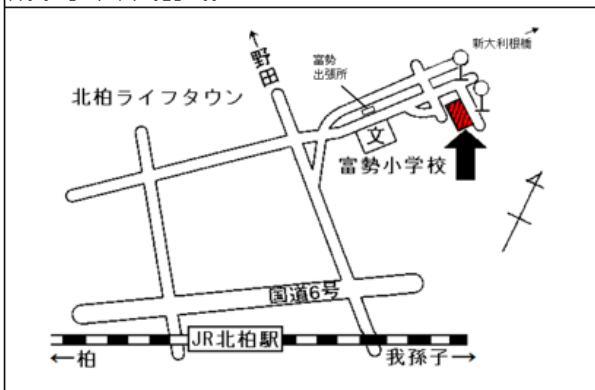


⑥ 布施分館

布施近隣センター内

〒277-0825 柏市布施1196-5 TEL 04(7132)3193

柏駅西口より、三井団地行きまたは布施行きバスで「土谷津入口」下車、徒歩1分

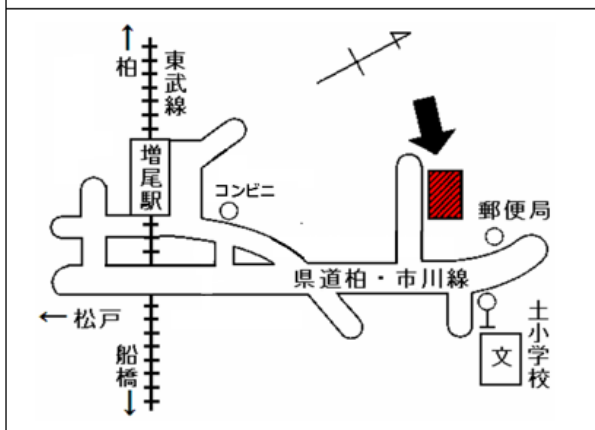


⑦増尾分館

増尾近隣センター内

〒277-0033 柏市増尾3-1-1 Tel 04(7172)9193

東武アーバンパークライン（野田線）増尾駅東口より、徒歩10分

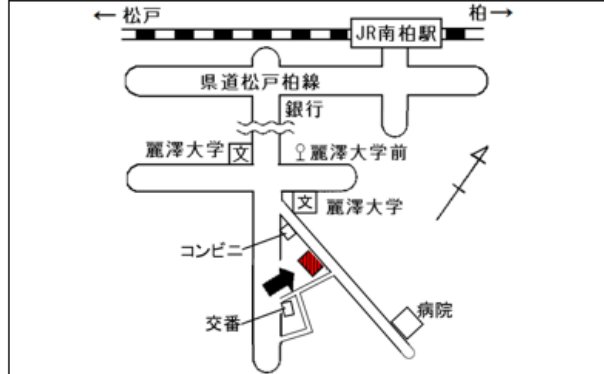


⑧光ヶ丘分館

光ヶ丘近隣センター内

〒277-0062 柏市光ヶ丘団地200-5 Tel 04(7175)3746

JR 南柏駅東口より、酒井根行き、増尾駅行きまたは南部クリーンセンター行きバスで「麗澤大学前」下車、徒歩1分

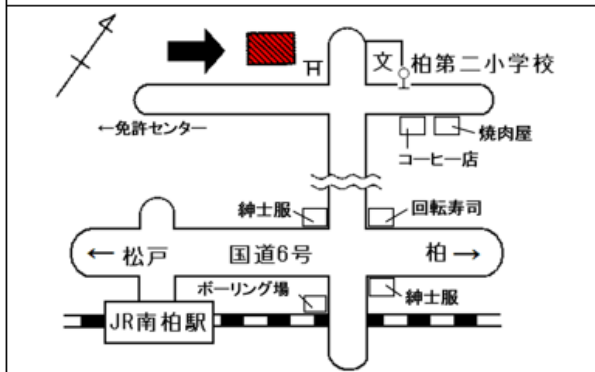


⑨新富分館

新富近隣センター内

〒277-0863 柏市豊四季945-1 Tel 04(7147)2690

柏駅西口より、免許センター（八木中学校）行きバスで「第二小学校入口」下車、徒歩1分

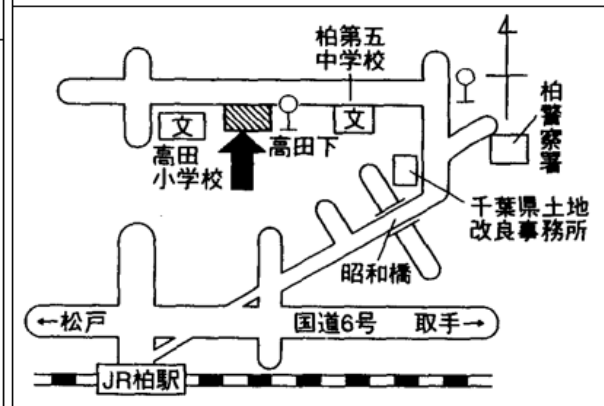


⑩高田分館

高田近隣センター内

〒277-0861 柏市高田693-2 Tel 04(7147)2440

柏駅西口より、市内循環バスで「高田下」下車、徒歩1分

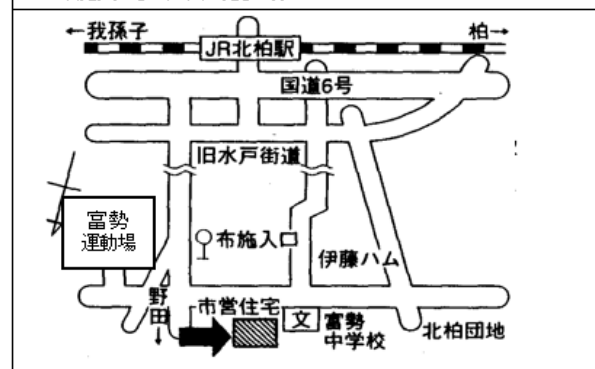


⑪根戸分館

根戸近隣センター内

〒277-0831 柏市根戸467 Tel 04(7131)6053

柏駅西口より、三井団地行き、布施行きまたは野田方面行きバスで「布施入口」下車、徒歩5分

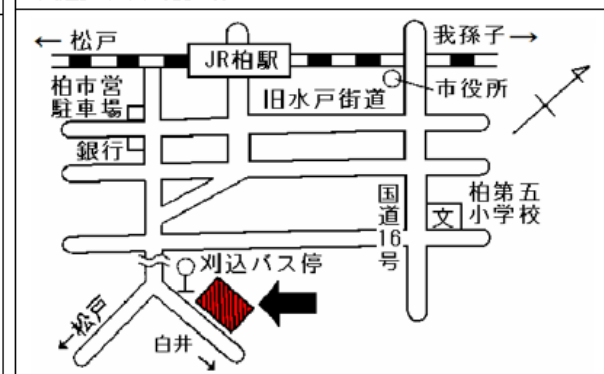


⑫新田原分館

新田原近隣センター内

〒277-0017 柏市東柏2-2-15 Tel 04(7167)1298

柏駅東口より、布瀬・小野塚台行きまたは沼南車庫行きバスで「刈込」下車、徒歩3分



⑬松葉分館

松葉近隣センター内

〒277-0827 柏市松葉町4-11 TEL 04(7134)0046

JR北柏駅南口または柏の葉キャンパス駅東口より、ライフタウン循環バスで「松葉中学校前」下車、徒歩3分

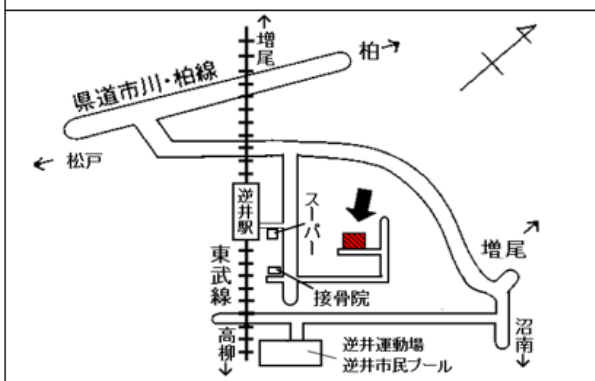


⑭藤心分館

藤心近隣センター内

〒277-0034 柏市藤心4-1-11 TEL 04(7175)4946

東武アーバンパークライン（野田線）逆井駅より、徒歩10分



⑮沼南分館

ひまわりプラザ(沼南近隣センター)3階

〒277-0922 柏市大島田440-1 TEL 04(7192)1115

柏駅東口より、東武バスで手賀の丘公園・小野塚台・沼南車庫・布瀬行き「大木戸」下車、徒歩5分

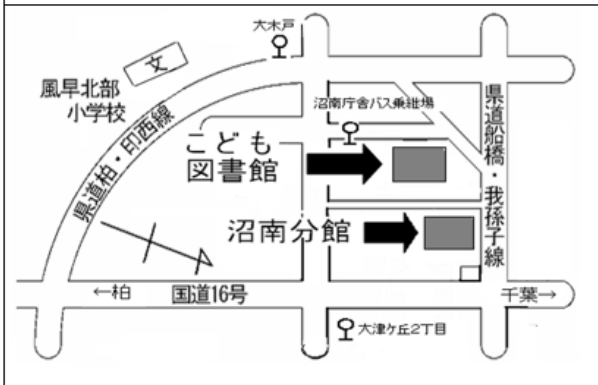
阪東バスで大津ヶ丘団地行き「大津ヶ丘2丁目」下車、徒歩5分

⑯こども図書館

沼南庁舎1階

〒277-0922 柏市大島田48-1 TEL 04(7108)1111

柏駅東口より、手賀の丘公園・小野塚台・沼南車庫・布瀬行きバスで概ね9時台～18時台は「沼南庁舎バス乗継場」下車、徒歩1分。上記以外の時間帯は「大木戸」下車、徒歩2分

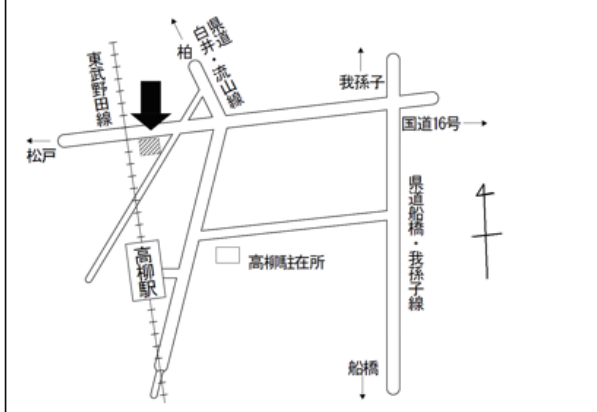


⑯高柳分館

高柳近隣センター内

〒277-0941 柏市高柳1652-10 TEL 04(7193)1160

東武アーバンパークライン（野田線）高柳駅より、徒歩8分



4 サービスの概要

1 開館時間

- 本館 午前 9時30分～午後5時（火・土・日曜日，祝日・休日）
午前 9時30分～午後7時（水曜日～金曜日，ただし祝日・休日は除く）
- 分館 午前10時 ～午後5時（火曜日～日曜日，祝日・休日）
沼南分館・高柳分館・こども図書館
午前 9時30分～午後5時（火曜日～日曜日，祝日・休日）

2 休館日

- 月曜日（祝日を除く）
第3月曜日が，祝日・休日に当たる場合は，本館・豊四季台及びこども図書館を除く分館は休館
- 年末年始・蔵書点検期間

3 図書館資料の貸出し

- 貸出しを受けられるのは，原則として柏市内に在住，在勤，在学している方，または柏市と隣接する我孫子市・印西市・鎌ヶ谷市・白井市・流山市・野田市・松戸市に住んでいる方。
- 初めて図書やCDなどの図書館資料を借りるには，住所・氏名を確認できるもの（保険証，運転免許証，学生証など）が必要。
- 利用カードは，本館・分館の共通カード。
- 貸出冊数は，図書・雑誌は，本館・分館合わせて1人10冊まで。視聴覚資料（CD，DVD等）は合わせて2点まで。
※CD・カセットテープは本館で，CD・DVD・ビデオテープは沼南分館で取り扱っています。
※最新号の雑誌は貸出しができません。
- 貸出期間は2週間以内。ただし，返却期限日を過ぎていない図書館資料で，予約の入っていない資料は，手続きの日から，1回に限り貸出期間を2週間延長することが可能。
※返却期限日を4週間過ぎても返していない図書館資料がある場合，新たな貸出し，借りている資料の貸出延長サービスを受けることはできません。

4 リクエストサービス

読みたい資料が貸出中のときは予約ができます。未所蔵の場合は，市内在住・在勤・在学の方はリクエストができます。用意ができしだい，予約者に連絡をします。なお，視聴覚資料及びマンガについては，所蔵資料の予約のみ受け付けています。

- OPAC（館内用蔵書検索機）・インターネット端末（パソコン，携帯電話，スマートフォン）からは所蔵資料の予約が可能。
- 予約点数は，図書・雑誌は10点まで，視聴覚資料は2点まで。
- インターネット予約のできる方は，市内在住・在勤・在学の方のみ。

5 相互貸借

リクエストされた資料が未所蔵の場合は，県内の公共図書館，県立図書館，国立国会図書館との相互貸借により取り寄せ，提供しています（雑誌の相互貸借は県内の図書館間でのみ実施。視聴覚資料は不可）。

利用できる方は、市内在住、在勤、在学の方のみです。

6 レファレンス

本館の参考資料室では、調査研究用資料として参考図書、各種百科辞典、各国語辞典、政府刊行物（白書、官報）、統計書、年鑑、新聞縮刷版、地図、法令集などを収集しています。インターネット閲覧のできるパソコン（本館参考資料室2台、こども図書館1台）も設置しています。このうち本館参考資料室内の2台では、オンラインデータベースと国立国会図書館デジタルコレクションの検索、閲覧も可能となっています。

また、郷土行政資料の収集も行っており、以下のコーナーを設置しています。

○郷土資料コーナー

千葉県内の市町村誌及び行政資料などを収集。

○柏の資料コーナー

柏市に関する歴史、統計、行政資料などを収集。

7 障がい者サービス

（1）図書館資料郵送サービス

来館が困難な方に、資料を郵送等により貸出しをしています。

○対象者は、身体障がい、ねたきりの状態等の理由で来館できない方、その他教育委員会が特に必要と認めた方。

○貸出冊数・点数は、大活字本を含む図書を10冊、視聴覚資料は各3点まで。

○貸出期間は1か月以内。

（2）大活字本コーナー

本館1階及び2階シニアライフ応援コーナーに設置。

（3）録音図書の貸出サービス

録音図書（テープ）、朗読テープの貸出しをしています。

○対象者は視覚障がい者。

○貸出点数は3点まで（録音図書以外の視聴覚資料もこの貸出枠に含まれます）。

○貸出期間は1か月。

8 児童サービス

（1）おはなし会と本の展示

児童を対象におはなし会を開催しています。定例のおはなし会の他に、子どもたちの休みの時期に合わせて行う「夏休みおはなし会」、「クリスマスおはなし会」等があります。

また、ブックリスト作成時や行事の際には、関連する本の展示も随時行っています。

（2）ブックリストの作成

毎年夏休みの時期に合わせて「よんでみませんか」を発行。小学校低学年、中学年、高学年向きの3種類のリストを作成し、市内小学校の全児童へ配付しています。

（3）ブックスタート

ブックスタートは、乳幼児の健全な成長を図るため、親子が肌のぬくもりを感じながら子どもに絵本を使って「ことばかけ」をすることで親子の絆をつくることの大切さを伝える事業です。

柏市では、児童育成課（現：子育て支援課）、地域健康福祉課（現：地域保健課）、図書館の3課連携の事業として平成14年にスタートしました。1歳6か月児の健康診査の会場で、市が購入した絵本を、ボランティアと協働でメッセージを添え、親子に手渡しています。

9 団体貸出

市内の社会教育団体、学校、幼稚園、地域の文庫活動団体や読書サークルなどを対象に、団体貸出を行っています。貸出冊数と期間は、1団体につき200冊まで、1か月です。

10 講座・その他の事業

(1) 講座・講演会

大人や子ども向けの講座や講演会を実施しています。

(2) リサイクル

平成7年10月から、本館にリサイクルコーナーを設置、また、平成19年から図書館まつり等でリサイクル本市を開催し、図書館の古くなった本（除籍本）や寄贈されたうち受け入れができなかった本などを無償で配布しています。

(3) 読書席

本館2階に45席設置しています（※行事等がない日は、会議室を一部開放(16席)）。

(4) プラネタリウム

本館2階に設置しています。

○観覧は無料。

○投影日 毎月第2、第4土曜日とその翌日の日曜日（図書館の休館日は除く）

○投影時間

土曜日：午後 1時30分、午後3時30分

日曜日：午前11時00分、午後1時30分、午後3時30分

○所要時間 約1時間

○定員 40名

※その他、団体投影（学習投影）あり。

1 1 図書館の発行物

名 称	内 容	発 行 期 間
①図書館年報	図書館に関する統計年報	昭和56年より発行
②写真でみる柏の散歩道 [北部編]	柏市内の史跡・名所の写真と地図	平成5年発行
③写真でみる柏の散歩道 [南部編]	柏市内の史跡・名所の写真と地図	平成8年発行
④よんでみませんか	夏休み推薦図書	平成3年より発行
⑤平和図書目録	平和図書情報	昭和60年～平成10年
⑥館報かしわ	図書館情報	昭和40年～昭和42年
⑦図書館報かしわ	図書館情報	昭和49年～平成7年
⑧かしわ図書館だより	図書館情報	平成8年～平成15年
⑨図書館だより “てのひら”	図書館情報	平成17年より発行

5 図書館システム

昭和54年に策定した柏市中期計画で、地域のコミュニティづくりの核として近隣センターを建設する計画が打ち出され、この中に図書館分館を近隣センターに併設し図書館システムを構築する構想が盛り込まれました。この構想に基づき、分館網を整備し、市内のどこに住んでいても迅速に平等なサービスが受けられるようにするため、昭和55年3月にコンピュータ化による業務を開始しました。

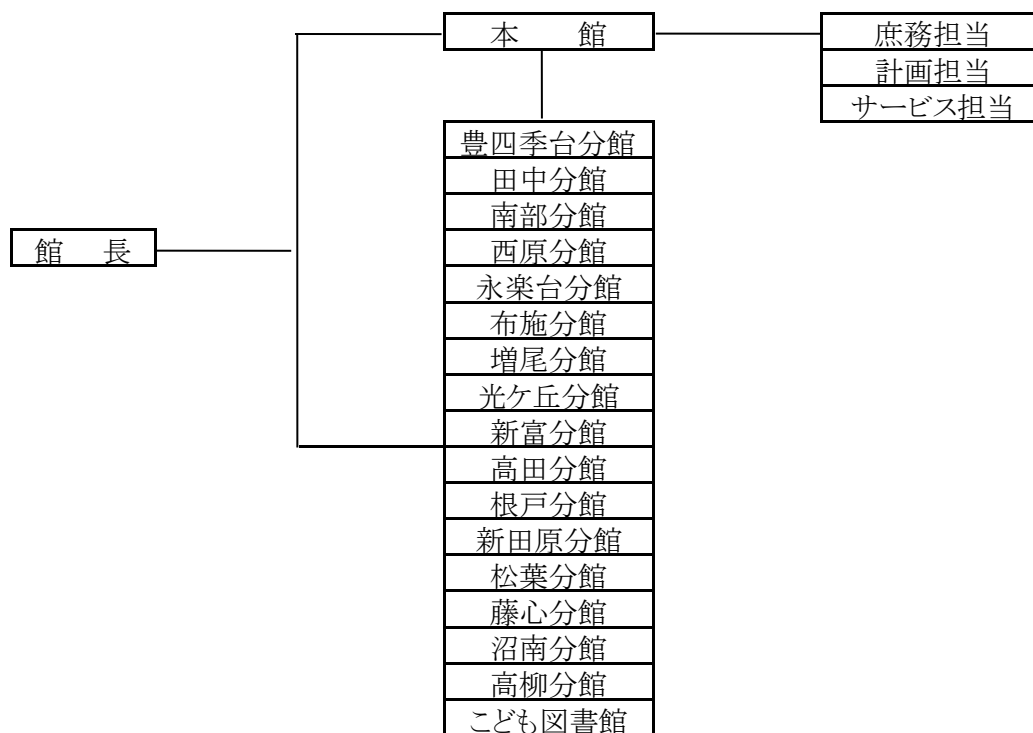
図書館システムの変遷

- 昭和61年、図書データの漢字化や検索機能の拡大を図るため、端末機の更新とともにMARCデータを購入、漢字システムのデータ検索導入。
- 昭和63年、図書館本館内に全館の図書情報を書名、著者名等から検索することができる利用者用図書検索端末機「ケンサクくん」を1台設置。
- 平成8年、従来のOCRナンバーを機器拡張に対応性のあるバーコードに変換。
- 平成13年、クライアントサーバー方式を導入。本館と14分館、移動図書館は本館端末機を介してネットワークを構築し、OPAC（館内用蔵書検索機）を本館（5台）と各分館（1台ずつ）に設置。内容は図書、雑誌の検索のほか、図書館利用案内、行事のお知らせ等の情報も提供。
- 平成14年4月には柏市ホームページでインターネットによる図書館蔵書検索システムを開始。
- 平成17年、沼南町との合併に伴い、同町のシステムを統合、沼南分館と高柳分館を加えた。
- 平成19年、OPAC（館内用蔵書検索機）から所蔵資料の予約が可能となった。また、図書館独自のホームページを作成し、パソコンからインターネットを介して図書・雑誌の予約が可能となった。
- 平成20年、沼南庁舎にこども図書館を整備し、現在本館と17分館のシステムの運用及びデータベースの管理を外部委託。なお、ホームページの機能強化も行い、ホームページ上で貸出記録や予約状況を確認することが可能となった。さらに携帯電話からホームページにアクセスが可能となり、パソコンと同一のサービスを行うことが可能となった。
- 平成22年、プロポーザルを実施、管理会社の選定を行い、11月から新システムを稼働。OPAC（館内用蔵書検索機）については、こども・英語対面画面、検索機能等の充実を図った。
- 平成26年、インターネット、OPAC（館内用蔵書検索機）で貸出延長の手続きが可能となった。また、図書館資料の円滑な提供を行うため、返却期限日を4週間過ぎても資料をお返しいただけない資料がある場合、資料をお返しいただくまで貸出停止の措置を講じ、返却期限を守っていただくよう啓発を行うこととした。
- 平成27年、平成22年に導入したシステムの機器入替えを実施。バージョンアップによる業務の効率化とともに、スマートフォン用ホームページの開設、資料一覧の表示機能・お気に入りリストの改善等インターネットによるサービスの利便性の向上を図った。

※個人情報については、「柏市個人情報保護条例」により保護されます。

6 図書館の組織

1 図書館組織図



2 職員配置

平成31年4月1日現在（単位：人）

職名		館長	副参事	専門監	主幹	副主幹	主査	主任	主事	主事補	計
館名											
総括		1	1		1						3
本館	庶務担当					2(1)				1	3(1)
	計画担当							2(1)	1		3(1)
	サービス担当					5(4)	1	5(2)			11(6)
分館	豊四季台					1					1
	田中										
	南部										
	西原										
	永楽台										
	布施										
	増尾										
	光ヶ丘										
	新富										
	高田										
	根戸										
	新田原										
	松葉										
	藤心										
	沼南										
	高柳										
	こども					2(2)					2(2)
計 18 館		1	1		1	10(7)	1	7(3)	1	1	23(10)

※サービス担当主任2人は再任用、（ ）内は有資格者

3 分掌事務

市立図書館	庶務担当	1 本館及び分館の管理及び運営に関すること。 2 図書館の広報及び統計に関すること。 3 プラネタリウムに関すること。 4 公印に関すること。
	計画担当	5 図書館の計画に関すること。 6 柏市立図書館協議会に関すること。
	サービス担当	7 図書館資料の整理、保管及び廃棄に関すること。 8 図書館資料の館内利用及び貸出しに関すること。 9 図書館資料の利用のための相談に関すること。 10 資料の寄贈に関すること。 11 児童サービスに関すること。 12 図書館分館のサービスに関すること。 13 高齢者及び障害者のサービスに関すること。 14 情報資源の検索に関すること。 15 図書館事業の企画及び実施に関すること。 16 公共図書館、大学図書館等との連絡に関すること。 17 読書会等団体の支援に関すること。 18 研修、実習等に関すること。

4 業務改善会議等

(1) 職員会議

毎月第1金曜日に開催し、館長をはじめとした全正規職員が集まり事業等の共通の認識を図るとともに、担当委員会、研修会等の報告、各種協議等を行っています。

(2) 選定会議

サービス担当リーダーを長とし、一般図書担当は毎週水曜日、児童図書担当は毎月第2・4木曜日に実施しています。図書館資料選定会議設置要領に基づき、リクエスト図書の検討や出版情報等を交換しています。

(3) 担当委員会

図書館運営上の課題について、適宜、委員会を設け、解決のための取組みを行っています。

7 令和元年度予算

1 市の予算

(単位：千円)

会 計 区 分	令和元年度当初予算	平成 30 年度当初予算	前 年 比
一 般 会 計	134,260,000	124,460,000	9,800,000
特 別 会 計	73,725,000	72,998,000	727,000

2 教育費

(単位：千円)

款 ・ 目	令和元年度当初予算	平成 30 年度当初予算	前 年 比
教 育 費	17,601,209 (一般会計の 13.1%)	12,851,642 (一般会計の 10.3%)	4,749,567
図 書 館 費	273,964 (教育費の 1.6%)	307,999 (教育費の 2.4%)	△34,035

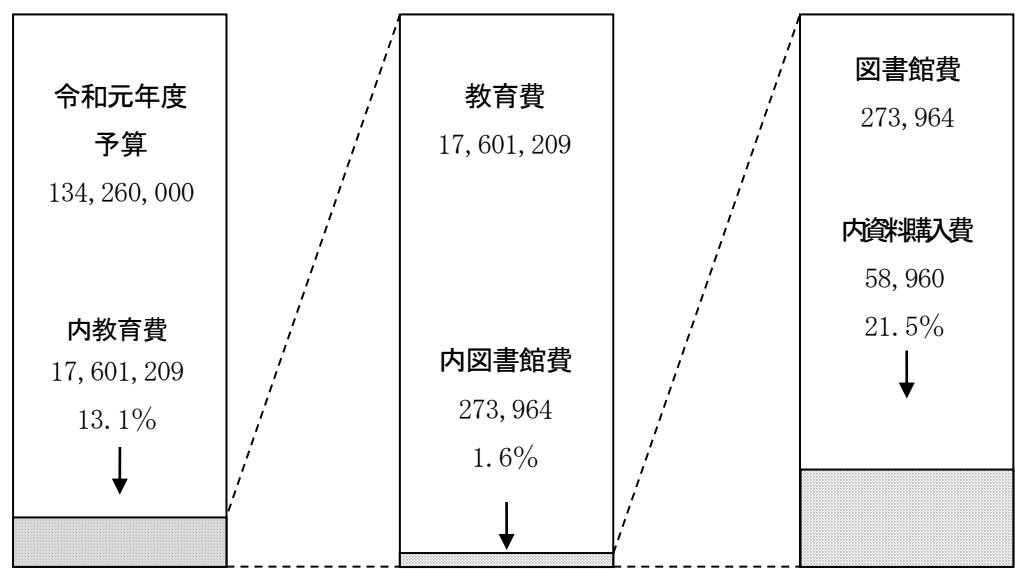
3 図書館費

(単位：千円)

節	令和元年度 当初予算	説 明	平成 30 年度 当初予算
1 報酬	248	◎図書館協議会委員報酬	248
7 賃金	126,886	◎臨時職員賃金	123,961
8 報償費	601	◎講演会講座講師謝礼他	335
9 旅費	472	◎研修会, 会議参加旅費他	141
11 需用費	24,776	◎消耗品費 ◎燃料費 ◎印刷製本費 ◎光熱水費 ◎修繕料他	25,397
12 役務費	3,503	◎郵便料 ◎電話料 ◎損害保険料他	3,737
13 委託料	39,632	◎電算システム等保守管理委託 ◎清掃・機械設備保守点検業務委託 ◎警備委託他	36,485
14 使用料及び 賃借料	12,412	◎電算システム借上料 他	18,204
15 工事請負費	0	◎本館空調設備改修工事	46,894
18 備品購入費	63,184	◎図書購入費 ◎視聴覚資料購入費 ◎事業用備品代	50,384
19 負担金補助 及び交付金	2,250	◎日本図書館協会等負担金 他	2,213
合 計	273,964		307,999

4 市の財政に占める図書館費

(単位：千円)



※その他、視聴覚教育費（教育費）1,222 千円（プラネタリウム管理、プラネタリウム事業）
児童福祉総務費（民生費）256 千円（ブックスタート事業 内図書館関係経費）

8 図書館の活動状況（平成30年度）

1 読書及び普及活動

■ イベント、講演会等

名称	内容	開催日	場所	参加者数
市民読書交流会	市民ボランティアグループ「くるる×本・話・会」がコーディネーターとなり、参加者が「おすすめ本」を紹介しあう。	4月21日 12月19日	本館 市立柏高等学校	延べ18人
図書館まつり	リサイクル本市・市立柏高等学校生徒によるおはなし会・歴史講演会等	10月27日	本館	約1,800人
市内大学図書館見学バスツアー及び知的書評合戦（ビブリオバトル）	市民を対象に、市内四大学図書館の見学バスツアーを開催。また、四大学代表によるビブリオバトルを開催。	11月10日 11月17日	本館 各大学	21人 23人
市内中学・高校生知的書評合戦（ビブリオバトル）	柏市内中学・高校生を対象としたビブリオバトルを開催。後日、図書館本館・分館にてチャンプ本等受賞者作成のPOPを展示。	11月4日	アミューゼ柏	170人
乳幼児読書講演会	「英語と日本語で語るフランさんと浩子さんのおはなし会」講師：フラン・ストーリーリングス氏 藤田浩子氏	11月6日	アミューゼ柏	190人
講演会	テーマ：「生きづらさの中で 貧困・格差を考える」講師：雨宮処凛氏	7月7日	アミューゼ柏	126人
歴史講演会	テーマ：「郷土柏の文化－衛星都市からのメッセージ」講師：佐藤毅氏	3月17日	アミューゼ柏	57人

■ 特別展示（図書館主催）

名称	内容	開催月 (開始月)	場所
<ul style="list-style-type: none"> ・「医療ミステリー」（新富） ・内田康夫追悼（本館・新富） ・入園・入学式（本館・藤心・こども・沼南・新田原） ・こいのぼり，こどもの日（新富・藤心・沼南） ・おかあさん，母の日の本（永楽台・増尾・田中） ・春の花（藤心） ・春休みのおでかけ（田中） ・春の本（増尾・新田原） ・遠足の本（新富） ・運動会（新富） ・角野栄子（新富） 	関連図書の展示	4月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館

<ul style="list-style-type: none"> ・新潮クレストブックス特集（新富） ・部活関連本（本館） ・おとうさん，父の日の本（永楽台・田中） ・こいのぼり・端午の節句（藤心・こども・本館・新田原） ・おかあさん・母の日の本（増尾・藤心・こども・本館・田中・永楽台・新富・新田原） ・運動会の本（増尾・本館・藤心） ・遠足，ピクニック（こども・本館） ・三歳からの絵本（新富） ・ブックスタート（沼南） ・かこさとし追悼（沼南） ・のりものの本（こども） 	関連図書の展示	5 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県にゆかりのある作家（新富） ・津本陽追悼（本館・新富） ・雨宮処凛の本（本館） ・沼南の魅力（本館） ・部活関連本（本館） ・雨の本（永楽台・増尾・新田原・藤心・こども） ・夏の本（永楽台） ・おとうさんの本（田中・永楽台・増尾・新富・藤心・こども） ・遠足，ピクニック（こども） ・課題図書，よんでみませんか（増尾・新田原・沼南） ・自由研究（新田原） ・歯の本（増尾・藤心） ・のりものの本（こども） ・ブックスタート（沼南） ・千葉にまつわる昔話（新富） 	関連図書の展示	6 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー・ワールドカップの本（本館） ・18 歳成人関連本（本館） ・夏を元気に乗り切るアイテム（新富） ・課題図書，よんでみませんか（本館・田中・永楽台・増尾・新富・藤心・沼南・こども） ・七夕の本（本館） ・自由研究の本（増尾・新富・こども・本館・田中） ・戦争，平和の本（本館・新田原） ・夏の本（藤心・本館・永楽台・新田原） ・雨の本（増尾） ・お化け・妖怪（藤心） ・忍者の本（新田原） ・海・山の本（本館・藤心） 	関連図書の展示	7～8 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館

<ul style="list-style-type: none"> ・絵画の世界を楽しむ（本館） ・夏の疲れを癒す本（新富） ・さくらもこ追悼（本館・新富） ・18歳成人関連本（本館） ・秋の本（永楽台・増尾・こども・沼南） ・運動会（藤心・本館・新田原） ・月，お月見の本（本館・新富・高田・藤心・こども） ・敬老の日の本（高田・新田原・こども） ・運動会の本（本館・こども） ・いもほり，彼岸花（藤心） ・ハロウィンの本（藤心） ・おばけと魔法の本（永楽台） ・おいしいものの本（増尾） ・雷，台風の本（新富） ・藤田浩子さんの本（沼南） ・柏駅周辺の今昔 Part2（本館） ・健康増進月間（本館） ・防災（本館・田中） 	関連図書の展示	9 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 高田分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・藤田浩子さんの本（本館・沼南） ・世界の図書館（本館） ・オリンピック，パラリンピック（新富） ・田中スタンダード（田中） ・子ども司書「おすすめの本」（本館・田中・増尾） ・ハロウィン（新富・藤心・こども・本館・田中・高田・新田原） ・落ち葉，りんご（藤心） ・運動会（こども） ・秋の本（本館・田中・永楽台・増尾・新富・高田・新田原・沼南・こども） ・お化け，魔法（永楽台） ・おいしいものの本（増尾） ・旧吉田邸・芹沢銈介・柏レイソル（本館） ・ライブラリーフェス（本館） ・北柏の今昔（本館） 	関連図書の展示	10 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 高田分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の芸術・日本の美術（新富） ・クリスマスの本（本館・永楽台・高田・沼南・こども） ・冬の本（こども・永楽台・高田・増尾） ・柏市子ども司書おすすめ本（本館・新田原） ・秋の本（本館・高田） ・田中スタンダード（田中） ・歯磨きの本（こども） ・どうよう，しりとり，かぞえうた，わらべうた（新富） ・おいしいものの本（増尾） ・子ども司書 POP 展（田中・新田原） 	関連図書の展示	11 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 高田分館 新田原分館 沼南分館 こども図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・科学の本（本館） ・市内四大学ビブリオバトル過去発表作品（本館） ・冬の本（本館・増尾・高田・藤心・こども） ・クリスマスの本（本館・田中・永楽台・増尾・新富・高田・新田原・沼南・こども） ・お正月の本（田中・新富・高田・藤心・沼南・こども） ・雪の本（本館・高田・藤心） 	関連図書の展示	12 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 高田分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館

<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年こんなことがありました（本館） ・市内四大学ビブリオバトル過去発表作品（本館） ・お正月の本（本館・増尾・沼南・藤心） ・干支の本（本館・こども） ・冬の本（本館・永楽台・増尾・高田・こども） ・鬼，節分の本（本館・田中・増尾・新富・高田・新田原・沼南・こども） ・チョコレート，バレンタイン（田中・高田・藤心） ・雪の本（新富・高田） ・インフルエンザの本（田中） ・宮川ひろの本（新富） ・過去に映像化された本（新富） 	関連図書の展示	1 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 高田分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・南部分館からの本（新富） ・「このライトノベルがすごい」過去入賞作品（本館） ・春の本（永楽台・増尾・新田原・沼南） ・冬の本（本館・こども） ・節分の本（本館・田中・高田） ・バレンタイン，チョコレートの本（田中・増尾・高田・藤心） ・ひな祭りの本（本館・田中・増尾・高田・新田原・沼南・藤心・こども） ・インフルエンザの本（田中） ・からだの本（新富） ・和歌山静子さんの本（藤心） ・図書館，博物館，美術館の本（新富） ・柏絵本の会・手作り絵本（本館） ・消費者教育（本館） ・ちばぎんカップ（本館） 	関連図書の展示	2 月	本館 田中分館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 高田分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館
<ul style="list-style-type: none"> ・柏の水道（本館） ・「このライトノベルがすごい」過去入賞作品（本館） ・南部分館からの本（新富） ・吉沢久子追悼（本館・新富） ・ひなまつり（こども） ・春の本（本館・永楽台・高田・新田原・沼南・こども） ・卒園，卒業，入園，入学の本（本館・藤心・こども・新田原） ・幼稚園・保育園（新富・高田・藤心） ・一年生，新生活（増尾） ・イースター（増尾） ・東日本大震災（本館） ・つくばエクスプレスと柏の葉地域（本館） 	関連図書の展示	3 月	本館 永楽台分館 増尾分館 新富分館 高田分館 新田原分館 藤心分館 沼南分館 こども図書館

■特別展示（他団体主催）

名称	内容	開催日	場所
柏えほんの会	手作り絵本展	2 月 21 日～ 3 月 7 日	本館
柏子どもの本を読む会	私が好きな本	3 月 8 日～ 3 月 21 日	本館

■おはなし会

名称	内容	開催日	場所	参加者数
夏休みおはなし会	すばなし，ビッグブック，手遊び等	8 月 2 日	本館	18 人
冬休みおはなし会	すばなし，ビッグブック，絵本，手遊び等	12 月 20 日	本館	12 人

※他に、以下の本館・分館で定期的におはなし会（絵本の読み聞かせ等）を開催

開催館	開催日	開催回数	参加者数	開催館	開催日	開催回数	参加者数
本館	毎週木曜日、 第3土曜日	60回	444人	新富分館	第1水曜日	12回	204人
豊四季台分館	毎週水曜日	47回	422人	高田分館	第3金曜日、 奇数月第2木曜日	19回	139人
田中分館	第3又は第4 木曜日	12回	225人	根戸分館	第1金曜日、 第3土曜日	23回	144人
南部分館	第3火曜日	7回	101人	新田原分館	毎週土曜日	49回	213人
西原分館	第3金曜日	11回	109人	松葉分館	第2水曜日	11回	72人
布施分館	第3土曜日	7回	33人	藤心分館	第2金曜日、 奇数月第3金曜日	17回	239人
増尾分館	第3木曜日	12回	239人	高柳分館	第1火曜日	10回	91人
光ヶ丘分館	第2火曜日	12回	187人	こども図書館	毎日	343回	10,447人

2 ブックスタート関連事業

■ブックスタート参加者数等

実施月	受診者数	図書 受取者数	ボランティア 参加者数	実施月	受診者数	図書 受取者数	ボランティア 参加者数
4月	287人	287人	57人	10月	240人	240人	44人
5月	304人	304人	50人	11月	280人	280人	38人
6月	259人	259人	52人	12月	268人	268人	41人
7月	266人	266人	43人	1月	282人	282人	45人
8月	277人	277人	42人	2月	292人	292人	37人
9月	280人	280人	46人	3月	307人	306人	45人
				計	3,342人	3,341人	540人

※受診者数…1歳6か月児健康診査の受診者数

■ブックリスト配付

名称	内容	開催回数	場所	参加者数
3歳児健康診査時ブックリスト配付	ブックスタート事業（1歳6か月児健康診査時）のフォローアップ事業として位置づけ、3歳児健康診査時に幼児向けブックリストを配付	月4回、 年48回開催	ウェルネス柏	3,464人

3 課題解決支援事業

■子育て支援関係（こども図書館関連）

名称	内容	開催日	場所	参加者数等
こども図書館 講演会・開館 10 周年記念行事・ 毎日おはなし会 等の開催	①読み聞かせボランティア による毎日おはなし会・ 音楽会等の開催 ②こども図書館開館 10 周 年記念行事(おはなし会) ③クリスマスおはなし会 ④山口マオさんおはなし会 &ワークショップ ⑤二松学舎大学附属柏中学 校・高等学校吹奏楽部「音 楽とおはなしの会」 ⑥柏歯科医師会「お子さ んのためのむし歯予防術 ！！」(地域保健課) ⑦「土器拓本しおりを作ろ う！」(文化課) ⑧「母と子のつどい」地域 健康推進員(地域保健課)	①4月1日 ～3月31日 ②7月28日・ 8月8日 ③12月23日 ④8月5日 ⑤12月22日 ⑥11月18日 ⑦12月26日 ⑧4月26日 5月29日 6月19日 7月31日 9月18日 10月30日 11月20日 12月18日 2月5日 3月19日	こども図書館	①10,447人 ②181人 ③275人 ④おはなし会 227人 ワークショップ 47人 ⑤136人 ⑥43人 ⑦69人 ⑧393人 ※こども図書館 年間来館者数等 ・来館者 80,645人 ・行事参加者 11,226人 ・ボランティア参加者 921人 ・イベント開催数 357回
図書館おはなし 会ボランティア 研修会・交流会	①分館読み聞かせボラン ティア意見交換会 ②図書館読み聞かせボラン ティア研修会	①11月22日 ②2月21日	①中央公民館 ②中央公民館	①14人 ②22人
ユニバーサルデ ザイン絵本コー ナーの設置	すべての子どもが利用でき るさわって遊ぶバリアフリ ー絵本等の提供		こども図書館	
こども図書館 運営検討会の 開催	保健所、子育て支援課、児 童センター、保育運営課等 関連部署担当職員と図書館 職員間での事業報告及び連 携事業の意見交換	3月28日	本館	関係部署職員7人

■行政向け課題解決支援事業

名称	内容	開催日	場所	担当課
「農と自然と歴史のまち 沼 南の魅力」パネル展示会	パネルと関連図書の展 示	6月19日～ 7月3日	本館	環境政策課
子ども司書POP展	こども司書が薦める本 とPOPの展示	7月21日～ 8月31日	本館	指導課・図書館
健康増進普及月間	関連図書の展示・啓発 用品の配架	9月1日～ 9月14日	本館	地域健康づくり 課

フランさんと藤田浩子さん乳幼児読書講演会関係展示	関連図書の展示	10月2日～10月14日	本館	地域健康づくり課・子育て支援課・図書館
四大学合同企画展「柏のお宝～旧吉田邸・芹沢銈介・柏レイソル～」	関連図書の展示 パネル展示	10月16日～11月11日	本館	市内四大学・図書館
市内中学・高校生知的書評合戦（ビブリオバトル）POP展示	ビブリオバトル参加者が薦める本とPOPの展示	12月14日～1月20日	本館	指導課・図書館
「成年年齢引き下げ」「消費者教育」「消費生活」	「調べる学習コンクール」に入賞した市内小中学生の作品と関連資料の展示	2月5日～2月20日	本館	消費生活センター
柏の水道に関する本の展示	関連図書の展示、水道部作成のパネル展示	3月22日～3月31日	本館	水道部

4 学校・大学との連携事業

■学校図書館支援事業

名称	内容	開催日	場所
柏市立図書館・学校図書館連絡検討会	①図書館・学校図書館との連携事業についての協議（委員11人出席） ②図書館・学校図書館との連携事業についての報告・協議（委員12人出席）	①7月24日 ②3月26日	本館
市内高等学校図書館担当者意見交換会	図書館・高等学校図書館との連携事業についての協議（委員16人出席）	8月3日	本館
子ども司書会議 （子ども司書養成講座）	指導課と共催、市内小・中学生333人が参加。 ・図書館司書による図書館ツアー ・「こんな図書館あったらいいな」の発表他	7月～8月	本館 他

■市内大学図書館市民開放支援事業

名称	内容	開催日	場所	参加者数
市内大学図書館意見交換会	大学図書館市民開放のPRを目的とした合同企画展及び関連講演会に関する実施報告及び事業計画打合せ	6月12日	本館	四大学図書館関係者・図書館職員計9人
柏市立図書館・柏市内大学図書館合同企画展	各大学図書館等の秘蔵資料公開及び関連講演会の開催 ①開智国際大学「日本の算数指導の礎～尋常小学算術（緑表紙教科書）を中心にして～」 ②麗澤大学「廣池千九郎とモラロジーの母・諸岡長蔵」 ③二松学舎大学「創業者 三島中洲の裁判官時代」 ④東京大学「ふね遺産『平賀讓文書』：東京帝大第13代総長・海軍造船中将 平賀讓の生涯を追う」 ⑤柏市立図書館「旧吉田邸、芹沢銈	①10月1日～10月28日 ②10月1日～11月30日 ③10月15日～11月30日 ④10月1日～12月27日（令和元年6月28日まで延長） ⑤10月16日～11月11日	①開智国際大学図書館展示台 ②麗澤大学図書館1階ロビー展示スペース ③二松学舎大学附属図書館（柏）3階法人資料室 ④東京大学柏図書館2階展示スペース ⑤本館	—

	介の作品、柏レイソル～今、見に行ける、柏市のお宝～			
柏市立図書館・柏市内大学図書館合同講演会	①開智国際大学「尋常小学算術にみられる算数指導」 ②麗澤大学「道経一体経営と諸岡長蔵ービジネスとモラルが会える時ー」 ③二松学舎大学「現代の親子の成立問題ー生殖補助医療（人工授精・体外受精）により生まれた子の法律上の親（父・母）は誰が良いかー」 ④東京大学「若き日の平賀譲」 ⑤柏市立図書館「大切に、大切に、～花野井・吉田家文書～」	①10月28日 ②10月18日 ③10月26日 ④12月5日 ⑤10月27日	①開智国際大学図書館棟2階612教室 ②麗澤大学図書館3階AVホール ③二松学舎大学柏校舎1号館2階205教室 ④東京大学柏図書館1階コンファレンスルーム ⑤本館	①9人 ②約60人 ③12人 ④24人 ⑤20人
市内四大学ビブリオバトル（知的書評合戦）	麗澤大学生・東京大学生・二松学舎大学生・開智国際大学生によるビブリオバトル（知的書評合戦）	11月10日	本館	21人
市内四大学図書館見学ツアー	市民を対象とした麗澤大学図書館・東京大学柏図書館・二松学舎大学附属図書館（柏）・開智国際大学図書館見学バスツアー	11月17日	麗澤大学図書館・東京大学柏図書館、二松学舎大学附属図書館（柏）・開智国際大学図書館	23人

5 その他事業

■地域アーカイブ支援

名称	内容	開催日	場所
歴史企画展 柏歴史写真展 ①「柏の記憶～受け継がれる柏の祭り～」 ②「柏駅周辺の今昔」 ③「柏駅周辺の今昔2」 ④「北柏の今昔」 ⑤「つくばエクスプレスと柏の葉地域」	市民団体「フォトアーカイブス柏」、文化課と連携した写真展	①4月3日 ～5月20日 ②5月22日 ～7月22日 ③7月24日 ～9月18日 ④9月19日 ～2月5日 ⑤3月1日 ～未定	本館

■プラネタリウム事業

図書館本館内にあるプラネタリウムの運営を、視聴覚教育の一環として、毎月、第2・第4土曜日とそれに続く日曜日に実施しています。夜空に輝く季節の星空とそれにまつわる神話や天文情報も交えて楽しく解説しながら、約1時間のプログラムを投影しています。

【プラネタリウム利用状況（平成30年度）】

区分	投影日数	投影回数	児童	学生	一般	利用者計
一般投影	46日	115回	441人	107人	989人	1,537人
団体投影	14日	26回	691人	0人	106人	797人

■郷土資料のデジタル化

内 容	点 数
絵はがき 他	2 点

■リサイクル本の有効活用

名 称	開催日	活用冊数
ひまわりプラザまつり	5 月 26 日	2,402 冊
図書館まつり	10 月 27 日	5,904 冊
他	随時	9,180 冊

6 図書館利用サービスの充実

名 称	内 容	実施日	場 所	備 考
祝日開館	旧沼南地区のみで実施していた祝日開館を本館・全分館で実施	19 年 4 月から	本館・全分館	
インターネット予約システムの稼働	自宅等のパソコンから柏市のホームページを介して図書予約ができるシステムを導入	1 次稼働 19 年 9 月から 2 次稼働 20 年 1 月から	本館・全分館	
図書館システムの見直し	新システムに変更しホームページ、インターネット予約等の利便性向上を図る	22 年 11 月～	本館・全分館	
本館増書対策等	①1階 CD 架 ②2階雑誌架・新聞棚等の増設（収納冊数約15,000冊増） ③2階参考資料室内の書架増設	24 年 1 月	本館	
本館リニューアル	①エントランス正面入口の段差解消 ②1階カウンターに登録・相談コーナー設置 ③児童室に出入口を新設 ④1階 LED 化 ⑤読書席増設 ⑥サインの見直し（28年度～）	25 年 2 月	本館	
貸出延長サービス	インターネット、OPAC（館内用蔵書検索機）で貸出延長手続きが可能となった。	26 年 10 月	本館・全分館	
本館読書席充実	2 階会議室の読書席一部開放	27 年 7 月	本館	
本館改修工事	外壁・防水改修工事の実施	28 年 12 月	本館	
ティーンズコーナー設置	こどものへや内に中高生世代を対象としたティーンズコーナーを設置	28 年 12 月	本館	

7 図書館協議会開催状況

開催日	内 容
平成 30 年 8 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度主要事業報告 ・平成 30 年度事業計画 ・平成 30 年度柏市教育行政重点化方針 ・柏市子ども読書活動推進計画（第三次）の進捗状況 ・南部近隣センターのリノベーション ・平成 30 年度の検討テーマ
平成 30 年 10 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「柏市図書館のあり方」策定に関する進捗報告 ・複本等について ・学校図書館との連携・支援の方向性について
平成 31 年 3 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度主要事業報告 ・「柏市図書館のあり方」策定について（報告） ・本館の館内表示について ・ティーンズサービスについて ・南部近隣センターのリノベーションについて ・防犯カメラの設置について

9 目で見る統計

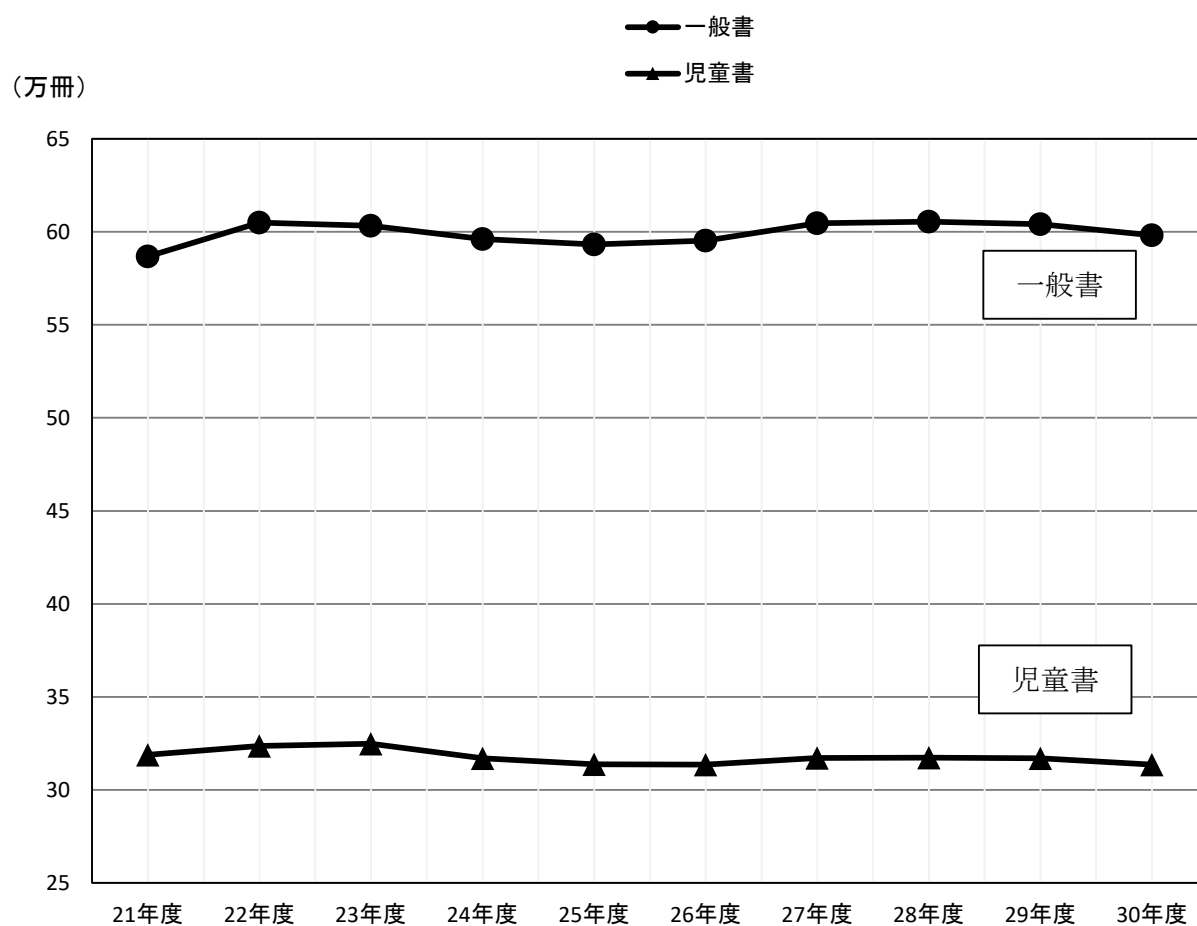
1 蔵書統計

一般書及び児童書の推移（10年間）

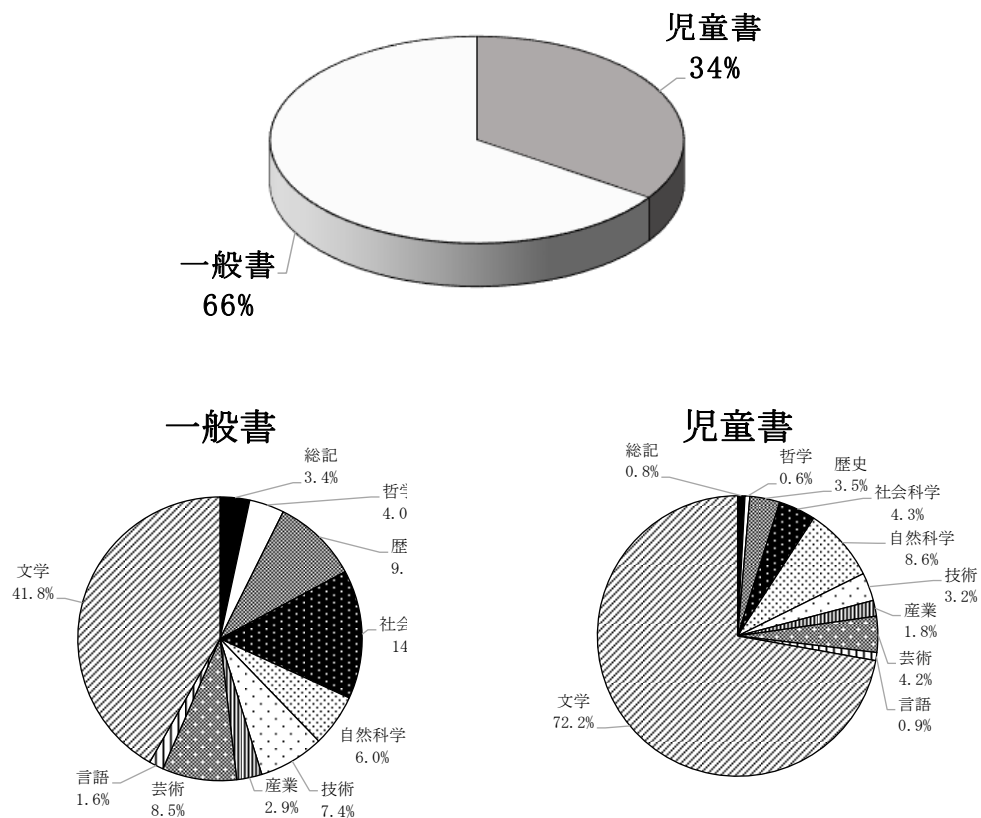
（冊）

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一般書	586,800	604,897	603,149	596,172	593,284	595,285	604,517	605,413	604,032	598,633
児童書	318,954	323,602	324,916	317,075	313,827	313,639	317,136	317,408	317,082	313,593
計	905,754	928,499	928,065	913,247	907,111	908,924	921,653	922,821	921,114	912,226

蔵書数の推移



分類別蔵書構成比(平成30年度)



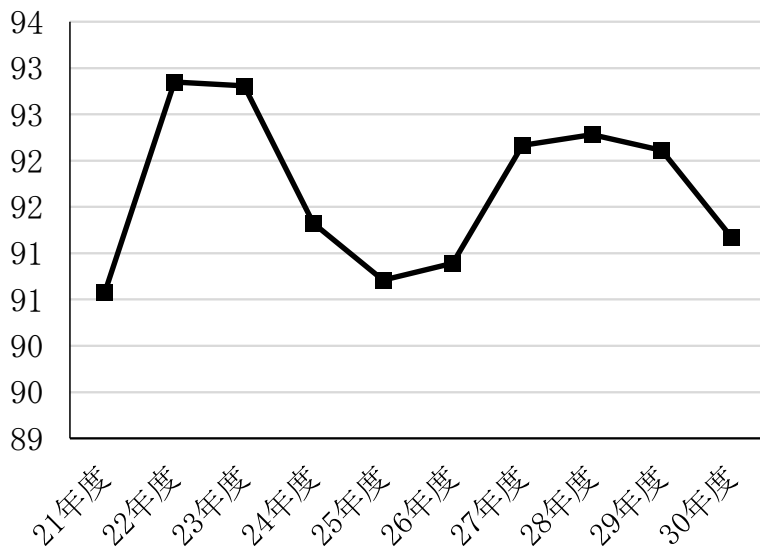
蔵書の推移(10年間)

(単位:冊)

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
前年度末	915,401	905,754	928,499	928,065	913,247	907,111	908,924	921,653	922,821	921,114
購入	39,750	34,461	31,906	29,945	31,695	30,743	28,957	30,201	29,931	28,448
寄贈	5,402	9,017	7,978	4,043	5,124	6,302	4,732	6,484	5,052	5,182
除籍	54,799	20,733	40,318	48,806	42,955	35,232	20,960	35,517	36,690	42,518
計	905,754	928,499	928,065	913,247	907,111	908,924	921,653	922,821	921,114	912,226

蔵書の推移

(万冊)

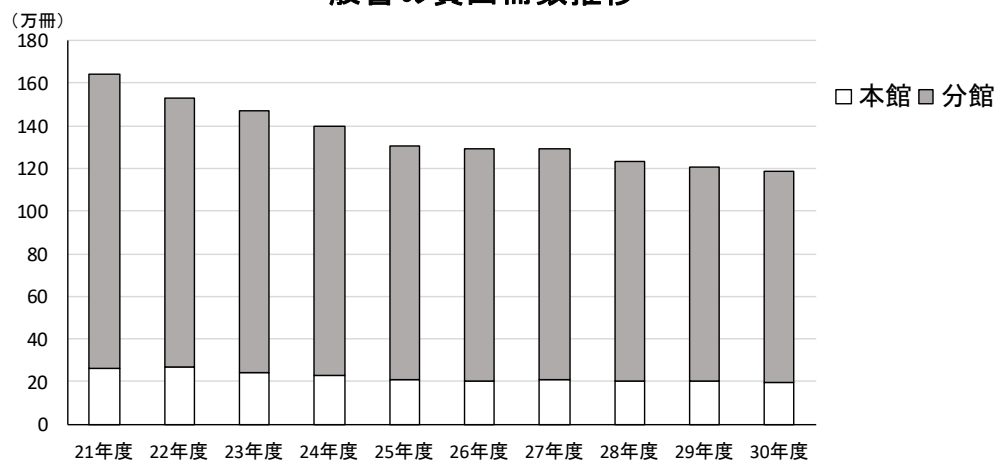


2 貸出冊数

一般書の貸出冊数推移(10年間)

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
本館	264,360	267,267	241,881	231,577	210,562	204,741	210,130	205,194	202,848	194,507
分館	1,379,768	1,263,671	1,226,234	1,165,603	1,095,292	1,090,057	1,082,473	1,028,872	1,002,301	990,030
計	1,644,128	1,530,938	1,468,115	1,397,180	1,305,854	1,294,798	1,292,603	1,234,066	1,234,066	1,184,537

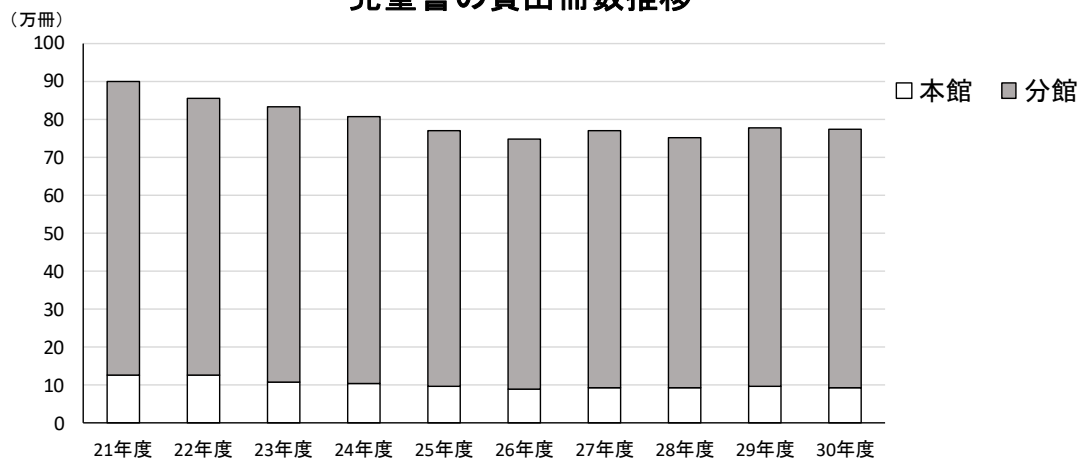
一般書の貸出冊数推移



児童書の貸出冊数推移(10年間)

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
本館	125,040	125,171	107,874	102,137	95,000	88,850	92,540	91,435	96,399	92,746
分館	773,088	729,985	723,525	703,484	673,816	657,431	674,826	660,603	679,851	681,087
計	852,925	898,128	855,156	831,399	805,621	768,816	746,281	767,366	752,038	773,833

児童書の貸出冊数推移

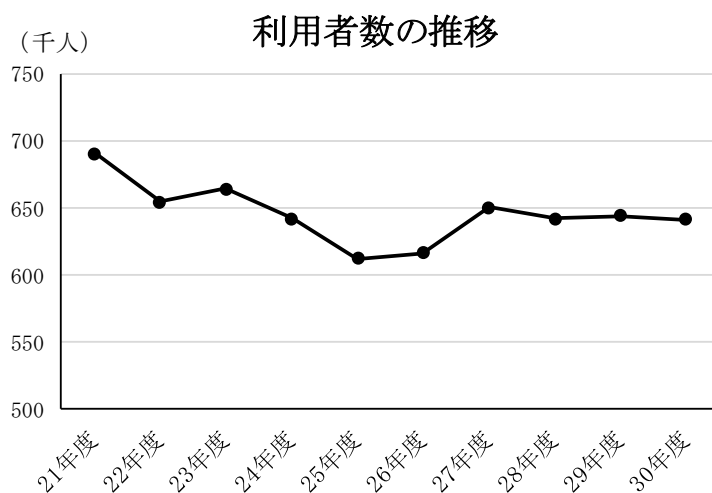


3 利用者数

利用者数の推移（10年間）

（単位：人）

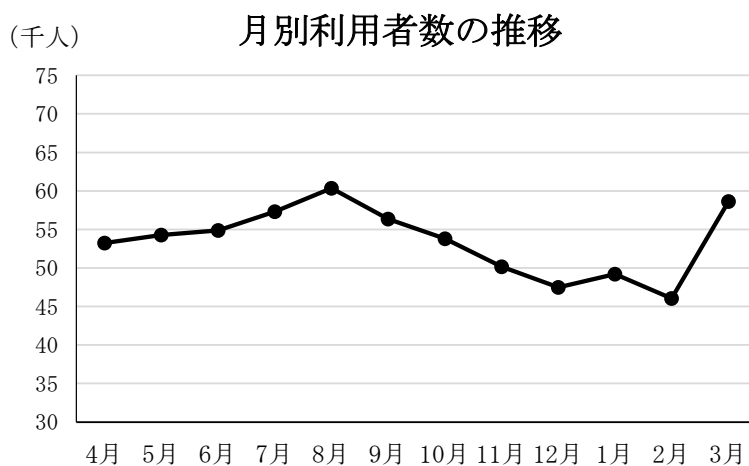
年 度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者数	690,593	654,787	664,224	642,547	612,472	616,604	650,568	641,983	644,053	641,685



月別利用者数の推移（平成30年度）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	53,217	54,257	54,866	57,323	60,365	56,336	53,790	50,147	47,503	49,221	46,040	58,620	641,685

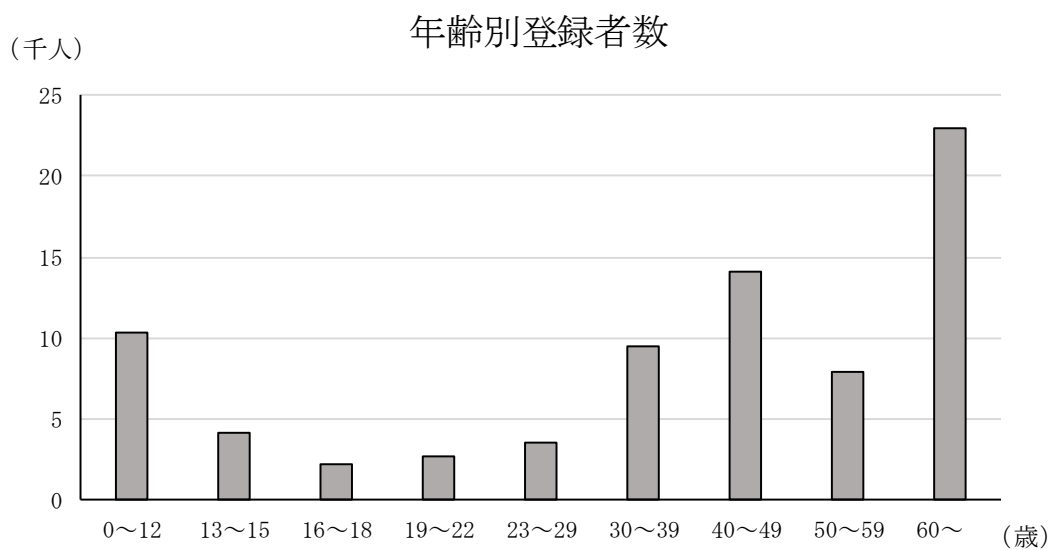


年齢別登録者数（平成30年度）

（単位：人）

年 齢	0～12	13～15	16～18	19～22	23～29	30～39	40～49	50～59	60～	計
登録者数	10,286	4,134	2,140	2,605	3,535	9,514	14,098	7,850	23,017	77,179

（団体含まず）



10 統計表一覽

1 蔵書冊数

平成30年度 分類別蔵書冊数(単位：冊)

館名 分類		本 館	豊四季台	田 中	南 部	西 原	永楽台	布 施	増 尾	光ヶ丘	新 富
総 記	一般書	4,876	352	295	289	305	377	259	342	453	391
	児童書	363	71	207	78	84	196	89	136	128	130
	計	5,239	423	502	367	389	573	348	478	581	521
哲 学	一般書	4,924	839	497	471	565	858	468	929	912	609
	児童書	256	77	74	81	50	92	78	72	84	110
	計	5,180	916	571	552	615	950	546	1,001	996	719
歴 史	一般書	11,335	1,995	1,907	1,365	1,675	1,842	1,835	2,360	2,075	1,645
	児童書	1,397	413	546	432	477	542	485	487	482	581
	計	12,732	2,408	2,453	1,797	2,152	2,384	2,320	2,847	2,557	2,226
社会科学	一般書	17,151	2,363	2,365	2,125	2,028	2,459	2,346	3,050	2,824	2,239
	児童書	1,834	420	608	386	501	638	915	794	601	628
	計	18,985	2,783	2,973	2,511	2,529	3,097	3,261	3,844	3,425	2,867
自然科学	一般書	7,442	1,244	1,025	923	1,046	1,467	1,057	1,679	1,351	1,156
	児童書	3,014	1,050	1,262	947	1,337	1,601	1,295	1,233	1,344	1,266
	計	10,456	2,294	2,287	1,870	2,383	3,068	2,352	2,912	2,695	2,422
技 術	一般書	6,295	1,687	1,854	1,277	1,836	2,376	1,890	2,332	2,059	1,815
	児童書	1,069	437	504	382	477	614	553	573	433	564
	計	7,364	2,124	2,358	1,659	2,313	2,990	2,443	2,905	2,492	2,379
産 業	一般書	3,197	508	518	454	662	722	634	806	581	554
	児童書	687	238	327	210	265	364	325	301	235	332
	計	3,884	746	845	664	927	1,086	959	1,107	816	886
芸 術	一般書	8,347	1,621	1,727	1,397	1,392	1,444	1,519	2,050	1,627	1,400
	児童書	1,542	538	695	453	709	752	789	630	568	599
	計	9,889	2,159	2,422	1,850	2,101	2,196	2,308	2,680	2,195	1,999
言 語	一般書	2,241	340	298	261	321	326	279	415	365	293
	児童書	446	191	136	83	115	143	175	118	173	137
	計	2,687	531	434	344	436	469	454	533	538	430
文 学	一般書	27,345	11,377	9,195	6,931	7,565	7,273	8,319	8,799	9,367	9,281
	児童書	17,039	8,856	10,218	7,954	9,445	11,591	9,190	9,547	10,844	10,075
	計	44,384	20,233	19,413	14,885	17,010	18,864	17,509	18,346	20,211	19,356
合 計	一般書	93,153	22,326	19,681	15,493	17,395	19,144	18,606	22,762	21,614	19,383
	児童書	27,647	12,291	14,577	11,006	13,460	16,533	13,894	13,891	14,892	14,422
	計	120,800	34,617	34,258	26,499	30,855	35,677	32,500	36,653	36,506	33,805
館別比率 (%)		13.2	3.8	3.8	2.9	3.4	3.9	3.6	4.0	4.0	3.7

館名 分類		高 田	根 戸	新田原	松 葉	藤 心	沼 南	高 柳	こども	保存庫	合 計
総 記	一般書	408	419	344	514	323	666	198	182	9,148	20,141
	児童書	142	93	83	144	76	89	64	31	424	2,628
	計	550	512	427	658	399	755	262	213	9,572	22,769
哲 学	一般書	442	637	501	886	607	1,520	695	28	7,372	23,760
	児童書	54	76	57	98	87	100	38	13	260	1,757
	計	496	713	558	984	694	1,620	733	41	7,632	25,517
歴 史	一般書	1,646	1,744	1,427	2,396	1,597	3,619	1,302	236	16,667	58,668
	児童書	621	386	400	676	371	509	280	70	1,689	10,844
	計	2,267	2,130	1,827	3,072	1,968	4,128	1,582	306	18,356	69,512
社会科学	一般書	1,766	2,609	1,924	3,157	2,084	4,397	1,698	973	30,316	87,874
	児童書	708	584	560	822	608	552	338	279	1,598	13,374
	計	2,474	3,193	2,484	3,979	2,692	4,949	2,036	1,252	31,914	101,248
自然科学	一般書	1,106	1,382	1,065	1,810	1,116	2,117	895	436	7,349	35,666
	児童書	1,534	1,214	1,107	1,763	984	1,304	556	1,200	2,812	26,823
	計	2,640	2,596	2,172	3,573	2,100	3,421	1,451	1,636	10,161	62,489
技 術	一般書	1,887	1,796	1,629	2,265	1,996	2,612	1,580	1,132	6,219	44,537
	児童書	540	473	465	607	452	496	306	315	910	10,170
	計	2,427	2,269	2,094	2,872	2,448	3,108	1,886	1,447	7,129	54,707
産 業	一般書	442	607	552	755	646	1,254	507	20	3,733	17,152
	児童書	304	298	210	381	246	255	225	97	402	5,702
	計	746	905	762	1,136	892	1,509	732	117	4,135	22,854
芸 術	一般書	1,425	1,491	1,296	1,948	1,652	4,851	1,950	193	13,323	50,653
	児童書	721	546	555	854	443	400	236	535	1,450	13,015
	計	2,146	2,037	1,851	2,802	2,095	5,251	2,186	728	14,773	63,668
言 語	一般書	254	424	254	562	367	770	197	1	1,894	9,862
	児童書	137	115	123	188	114	185	70	42	220	2,911
	計	391	539	377	750	481	955	267	43	2,114	12,773
文 学	一般書	8,671	7,279	6,303	11,345	8,299	14,360	6,779	139	81,693	250,320
	児童書	11,222	8,714	8,522	12,757	9,274	9,695	7,984	16,529	36,913	226,369
	計	19,893	15,993	14,825	24,102	17,573	24,055	14,763	16,668	118,606	476,689
合 計	一般書	18,047	18,388	15,295	25,638	18,687	36,166	15,801	3,340	177,714	598,633
	児童書	15,983	12,499	12,082	18,290	12,655	13,585	10,097	19,111	46,678	313,593
	計	34,030	30,887	27,377	43,928	31,342	49,751	25,898	22,451	224,392	912,226
館別比率 (%)		3.7	3.4	3.0	4.8	3.4	5.5	2.8	2.5	24.6	100.0

※館名の「保存庫」は，本館・布施分館・沼南分館・こども図書館の保存庫の合計冊数

2 図書貸出状況

平成30年度 月別貸出冊数(単位：冊)

館名 分類		本 館	豊四季台	田 中	南 部	西 原	永楽台	布 施	増 尾	光ヶ丘	新 富
4 月	一般書	17,228	8,638	4,389	4,440	4,523	5,807	2,210	5,688	9,622	4,433
	児童書	7,294	3,825	4,537	1,993	2,215	3,478	927	2,837	4,550	2,681
	計	24,522	12,463	8,926	6,433	6,738	9,285	3,137	8,525	14,172	7,114
5 月	一般書	16,874	8,840	4,613	4,494	4,458	5,937	2,331	6,130	9,827	4,519
	児童書	7,162	4,025	4,721	2,095	2,070	3,558	853	2,821	4,227	2,829
	計	24,036	12,865	9,334	6,589	6,528	9,495	3,184	8,951	14,054	7,348
6 月	一般書	16,713	8,980	4,796	4,382	4,559	5,863	2,002	6,084	9,395	4,275
	児童書	8,173	4,125	5,160	2,307	2,348	3,977	953	3,175	4,587	2,928
	計	24,886	13,105	9,956	6,689	6,907	9,840	2,955	9,259	13,982	7,203
7 月	一般書	17,743	8,816	4,502	4,315	4,610	5,641	2,248	5,961	9,295	4,397
	児童書	10,490	5,305	5,494	2,483	2,605	3,662	1,282	3,341	5,638	3,456
	計	28,233	14,121	9,996	6,798	7,215	9,303	3,530	9,302	14,933	7,853
8 月	一般書	18,334	9,496	4,810	4,581	4,686	5,870	2,315	6,330	9,754	4,511
	児童書	10,806	5,258	5,626	3,185	2,670	3,889	1,385	3,748	6,220	3,676
	計	29,140	14,754	10,436	7,766	7,356	9,759	3,700	10,078	15,974	8,187
9 月	一般書	17,334	9,626	4,981	4,506	4,798	6,227	2,502	6,078	9,822	4,396
	児童書	8,064	4,451	5,097	2,248	2,421	3,513	782	3,147	4,367	2,915
	計	25,398	14,077	10,078	6,754	7,219	9,740	3,284	9,225	14,189	7,311
10月	一般書	17,178	5,998	4,773	4,354	4,628	5,767	2,419	5,860	9,330	4,568
	児童書	7,958	2,449	4,982	2,192	2,471	3,448	797	2,870	4,179	2,924
	計	25,136	8,447	9,755	6,546	7,099	9,215	3,216	8,730	13,509	7,492
11月	一般書	8,513	8,557	4,539	3,939	4,533	5,952	2,346	5,719	9,010	4,525
	児童書	3,434	4,341	5,228	1,930	2,307	3,774	983	2,925	3,777	3,149
	計	11,947	12,898	9,767	5,869	6,840	9,726	3,329	8,644	12,787	7,674
12月	一般書	14,161	7,909	4,450	2,757	4,404	5,564	2,176	6,032	8,810	4,032
	児童書	5,856	4,239	5,521	961	2,318	3,176	965	3,168	3,945	2,895
	計	20,017	12,148	9,971	3,718	6,722	8,740	3,141	9,200	12,755	6,927
1 月	一般書	16,140	7,469	4,774	1,557	4,184	5,573	2,140	5,880	9,187	4,136
	児童書	7,282	3,612	5,671	434	2,101	3,461	732	2,942	4,243	2,801
	計	23,422	11,081	10,445	1,991	6,285	9,034	2,872	8,822	13,430	6,937
2 月	一般書	16,167	7,568	3,958	1,403	4,085	4,760	2,337	6,029	7,976	3,513
	児童書	7,743	3,476	4,486	336	2,092	2,452	793	2,890	2,971	2,145
	計	23,910	11,044	8,444	1,739	6,177	7,212	3,130	8,919	10,947	5,658
3 月	一般書	18,122	8,869	5,630	1,603	5,153	6,572	2,543	7,073	10,718	4,938
	児童書	8,484	4,415	6,222	380	2,466	3,522	887	3,294	4,551	3,355
	計	26,606	13,284	11,852	1,983	7,619	10,094	3,430	10,367	15,269	8,293
合 計	一般書	194,507	100,766	56,215	42,331	54,621	69,533	27,569	72,864	112,746	52,243
	児童書	92,746	49,521	62,745	20,544	28,084	41,910	11,339	37,158	53,255	35,754
	計	287,253	150,287	118,960	62,875	82,705	111,443	38,908	110,022	166,001	87,997
館別比率(%)		14.6	7.7	6.1	3.2	4.2	5.7	1.9	5.6	8.5	4.5

館名 分類		高 田	根 戸	新田原	松 葉	藤 心	沼 南	高 柳	こども	合 計	構成比率 (%)
4 月	一般書	3,498	3,735	3,327	9,309	4,854	4,402	3,993	1,071	101,167	8.3
	児童書	2,288	1,702	2,050	4,568	1,773	1,063	2,436	10,476	60,693	
	計	5,786	5,437	5,377	13,877	6,627	5,465	6,429	11,547	161,860	
5 月	一般書	3,522	3,869	3,348	9,183	4,699	4,403	3,988	1,047	102,082	8.3
	児童書	2,280	1,552	2,129	4,523	1,800	1,097	2,412	10,234	60,388	
	計	5,802	5,421	5,477	13,706	6,499	5,500	6,400	11,281	162,470	
6 月	一般書	3,485	3,724	3,296	9,080	4,802	4,271	3,974	1,381	101,062	8.6
	児童書	2,388	1,957	2,392	4,726	2,003	1,079	2,523	12,086	66,887	
	計	5,873	5,681	5,688	13,806	6,805	5,350	6,497	13,467	167,949	
7 月	一般書	3,552	3,538	3,168	9,041	4,552	4,491	3,879	1,688	101,437	9.2
	児童書	2,829	2,068	2,434	5,746	2,232	1,449	2,942	15,171	78,627	
	計	6,381	5,606	5,602	14,787	6,784	5,940	6,821	16,859	180,064	
8 月	一般書	3,661	3,647	3,349	9,593	4,727	4,704	4,114	1,477	105,959	9.6
	児童書	3,018	2,039	2,507	6,258	2,364	1,717	3,019	15,105	82,490	
	計	6,679	5,686	5,856	15,851	7,091	6,421	7,133	16,582	188,449	
9 月	一般書	3,726	3,457	3,544	9,374	4,870	4,660	3,946	1,459	105,306	8.7
	児童書	2,469	1,629	1,950	4,661	1,758	1,031	2,302	13,104	65,909	
	計	6,195	5,086	5,494	14,035	6,628	5,691	6,248	14,563	171,215	
10月	一般書	3,898	3,528	3,305	9,241	4,609	4,238	4,052	1,390	99,136	8.2
	児童書	2,615	1,525	2,011	4,305	1,651	839	2,329	11,434	60,979	
	計	6,513	5,053	5,316	13,546	6,260	5,077	6,381	12,824	160,115	
11月	一般書	3,721	3,743	3,375	9,111	4,383	4,460	3,527	1,303	91,256	7.7
	児童書	2,473	1,808	2,190	4,628	1,703	844	2,459	11,394	59,347	
	計	6,194	5,551	5,565	13,739	6,086	5,304	5,986	12,697	150,603	
12月	一般書	3,240	3,365	3,046	8,560	2,868	4,000	3,360	1,128	89,862	7.6
	児童書	1,984	1,695	2,045	4,441	1,108	954	2,243	11,136	58,650	
	計	5,224	5,060	5,091	13,001	3,976	4,954	5,603	12,264	148,512	
1 月	一般書	3,389	3,263	2,728	7,754	4,361	4,354	3,677	1,301	91,867	7.7
	児童書	2,442	1,735	1,688	3,628	1,765	1,137	2,011	11,074	58,759	
	計	5,831	4,998	4,416	11,382	6,126	5,491	5,688	12,375	150,626	
2 月	一般書	2,842	2,876	2,778	8,453	3,793	3,716	3,563	1,165	86,982	7.1
	児童書	2,157	1,500	1,735	3,737	1,417	938	2,252	9,827	52,947	
	計	4,999	4,376	4,513	12,190	5,210	4,654	5,815	10,992	139,929	
3 月	一般書	4,117	3,984	3,337	9,957	4,862	4,902	4,489	1,552	108,421	9.0
	児童書	2,728	1,968	2,368	4,767	1,876	1,379	2,847	12,648	68,157	
	計	6,845	5,952	5,705	14,724	6,738	6,281	7,336	14,200	176,578	
合 計	一般書	42,651	42,729	38,601	108,656	53,380	52,601	46,562	15,962	1,184,537	100.0
	児童書	29,671	21,178	25,499	55,988	21,450	13,527	29,775	143,689	773,833	
	計	72,322	63,907	64,100	164,644	74,830	66,128	76,337	159,651	1,958,370	
館別比率 (%)		3.7	3.3	3.3	8.4	3.8	3.4	3.9	8.2	100.0	

3 平成30年度 月別利用者状況

月 館名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
本館	8,582	8,532	8,675	9,482	9,912	8,739	9,042	4,002
豊四季台	4,380	4,559	4,662	4,849	5,133	4,967	2,888	4,664
田中	2,441	2,462	2,654	2,732	2,862	2,814	2,740	2,767
南部	2,158	2,219	2,238	2,249	2,425	2,237	2,163	2,025
西原	2,257	2,273	2,348	2,357	2,399	2,404	2,430	2,317
永楽台	3,094	3,132	3,238	3,123	3,270	3,233	3,152	3,259
布施	1,226	1,226	1,105	1,218	1,351	1,281	1,253	1,214
増尾	2,842	3,014	2,989	3,084	3,309	3,026	2,956	2,853
光ヶ丘	4,924	5,044	4,925	5,073	5,330	5,031	4,852	4,744
新富	2,221	2,311	2,328	2,429	2,611	2,345	2,432	2,435
高田	1,906	1,972	1,929	2,010	2,117	1,968	2,176	2,065
根戸	1,952	2,053	2,042	1,984	2,037	1,897	1,906	2,039
新田原	1,787	1,904	1,867	1,915	2,034	1,944	1,860	1,958
松葉	4,985	5,048	5,001	5,125	5,554	5,129	5,058	5,044
藤心	2,399	2,382	2,429	2,440	2,492	2,475	2,413	2,349
沼南	1,918	1,985	1,973	2,082	2,214	2,068	1,976	2,029
高柳	2,026	2,079	2,008	2,126	2,237	2,092	2,056	1,932
こども	2,119	2,062	2,455	3,045	3,078	2,686	2,437	2,451
合計	53,217	54,257	54,866	57,323	60,365	56,336	53,790	50,147
月別比率(%)	8.3	8.5	8.6	8.9	9.4	8.8	8.4	7.8

4 平成30年度 月別登録状況(個人)

月 館名	H30年3月末 累計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
本館	20,645	244	213	249	374	368	196	178	81
豊四季台	4,384	42	40	24	69	63	27	23	46
田中	2,822	49	40	48	45	62	49	40	41
南部	3,670	30	34	27	49	60	16	24	27
西原	2,870	15	25	18	34	31	28	30	26
永楽台	3,230	39	34	21	39	38	21	18	32
布施	1,543	14	11	9	16	18	9	11	18
増尾	3,171	34	26	23	27	36	26	23	18
光ヶ丘	5,832	40	56	46	82	106	33	38	44
新富	3,087	30	31	23	30	41	27	20	29
高田	2,581	13	32	22	44	30	20	25	17
根戸	2,063	7	19	15	24	24	19	19	23
新田原	1,799	20	17	13	20	29	14	12	10
松葉	6,102	54	44	62	71	67	50	48	43
藤心	2,849	25	20	19	33	27	16	19	16
沼南	2,998	21	18	20	35	33	29	15	16
高柳	2,891	23	32	23	40	39	19	26	28
こども	6,712	63	59	92	144	133	78	83	82
合計	79,249	763	751	754	1,176	1,205	677	652	597

月 館名	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	月 平均	館別比率(%)
本 館	6,635	8,240	8,297	9,371	99,509	8,292	15.5
豊四季台	4,228	3,877	3,919	4,839	52,965	4,414	8.3
田 中	2,681	2,857	2,246	3,301	32,557	2,713	5.1
南 部	1,409	984	894	1,012	22,013	1,834	3.4
西 原	2,126	1,983	2,111	2,607	27,612	2,301	4.3
永 楽 台	2,837	2,919	2,369	3,381	37,007	3,084	5.8
布 施	1,137	1,064	1,159	1,341	14,575	1,215	2.3
増 尾	2,770	2,694	2,775	3,390	35,702	2,975	5.6
光 ケ 丘	4,395	4,695	3,871	5,350	58,234	4,853	9.1
新 富	2,140	2,241	1,820	2,562	27,875	2,323	4.3
高 田	1,724	1,873	1,532	2,226	23,498	1,958	3.7
根 戸	1,874	1,810	1,580	2,087	23,261	1,938	3.6
新 田 原	1,743	1,537	1,538	1,981	22,068	1,839	3.4
松 葉	4,642	4,190	4,498	5,462	59,736	4,978	9.3
藤 心	1,350	2,191	1,862	2,474	27,256	2,271	4.2
沼 南	1,806	1,975	1,692	2,259	23,977	1,998	3.7
高 柳	1,780	1,796	1,834	2,345	24,311	2,026	3.8
こ ど も	2,226	2,295	2,043	2,632	29,529	2,461	4.6
合 計	47,503	49,221	46,040	58,620	641,685	53,474	100.0
月別比率(%)	7.4	7.7	7.2	9.0	100.0		

月 館名	1 2 月	1 月	2 月	3 月	新規登録 合計	除籍	H31年3月末 累計	館別登録者 比率(%)	月 平均
本 館	181	214	182	204	2,684	3,209	20,120	26.0	224
豊四季台	19	26	41	34	454	542	4,296	5.6	38
田 中	33	35	36	49	527	355	2,994	3.9	44
南 部	12	6	2	0	287	563	3,394	4.4	24
西 原	20	12	20	23	282	422	2,730	3.5	24
永 楽 台	25	21	19	26	333	424	3,139	4.0	28
布 施	8	8	6	6	134	183	1,494	1.9	11
増 尾	20	16	18	33	300	390	3,081	4.0	25
光 ケ 丘	34	40	32	44	595	742	5,685	7.4	50
新 富	18	26	21	31	327	431	2,983	3.9	27
高 田	7	19	18	30	277	373	2,485	3.2	23
根 戸	12	9	13	23	207	272	1,998	2.6	17
新 田 原	8	2	11	15	171	225	1,745	2.3	14
松 葉	37	29	35	65	605	721	5,986	7.8	50
藤 心	5	20	10	16	226	321	2,754	3.6	19
沼 南	17	22	18	29	273	460	2,811	3.6	23
高 柳	18	15	24	21	308	519	2,680	3.5	26
こ ど も	46	58	59	87	984	892	6,804	8.8	82
合 計	520	578	565	736	8,974	11,044	77,179	100.0	748

5 団体利用状況（平成30年度）

団体区分（一般）

（単位：点）

No.	団 体 名	貸出点数	No.	団 体 名	貸出点数
1	(特) N P O 権利擁護あさひ 地域活動支援センターピアセンターあかり	117	51	ぐるーぷりん	14
2	医療法人社団 葵会 葵の園・柏たなか	41	52	グループホーム 遊宴柏	4
3	旭小子どもルーム	1,156	53	けやき文庫	8
4	旭東小こどもルーム	1,000	54	巻石堂さくら保育園	317
5	一声の会千代田	10	55	子どもの本をよむ会こあら	246
6	市立柏病院内 ひまわり保育室	158	56	こどもプラス柏の葉教室	10
7	イリーゼかしわ豊四季文庫	9	57	こぼんはうすさくら 大津ヶ丘教室	19
8	永楽台児童センター	35	58	こびとのへや	129
9	S L P 柏	18	59	酒井根小子どもルーム	282
10	N P O 法人 希望の虹	3	60	酒井根西小ルーム	1
11	大津ヶ丘第一小学校子どもルーム	374	61	酒井根東小子どもルーム	870
12	大津ヶ丘二小子どもルーム	145	62	逆井小子どもルーム	37
13	おはなし広場 いないないばあ	56	63	咲さく良保育園	102
14	おはなしや	5	64	咲保育園	90
15	お昼の読書会	57	65	社会福祉法人 童心会 柏中央保育園	67
16	かがみ読書会	53	66	社会福祉法人柏市社会福祉協議会	247
17	風早南部小こどもルーム	274	67	沼風の友	6
18	風早北部小こどもルーム第二保育	302	68	新田原近隣センター	4
19	風早北部小学校こどもルーム	51	69	真和会ケアハウス四季の里	117
20	柏 E C E C 保育園	38	70	ステップアップなつつ	2
21	柏・この本だいすきの会	104	71	ぞうさんのしっぽ	125
22	柏子どもの本を読む会	281	72	高田小子どもルーム	512
23	柏市教育委員会 学校保健課	2	73	高柳小学校読み聞かせボランティア	220
24	柏市こども部子育て支援課	3	74	高柳小こどもルーム	460
25	柏市しこだ児童センター	21	75	高柳児童センター	48
26	柏市消費生活センター	131	76	高柳西小こどもルーム	219
27	柏市豊四季台児童センター	11	77	高柳保育園	105
28	柏市民健康づくり推進員	6	78	田中小こどもルーム	33
29	柏市立中央公民館	4	79	チコル☆アクターズスクール	137
30	柏市立東町保育園	64	80	千葉県柏市児童相談所	2,482
31	柏市立田中北小学校こどもルーム	660	81	土小おはなしひろば	33
32	柏市立田中保育園	153	82	土南部小子どもルーム	803
33	柏市立手賀西小こどもルーム	404	83	東大柏どんぐり保育園	77
34	柏市立豊四季保育園	42	84	富勢子どもルーム	101
35	柏市立若葉保育園	120	85	富勢小こどもルーム	993
36	柏しんとみ保育園	17	86	富勢西小こどもルーム	496
37	柏第一小子どもルーム	1,170	87	富勢東小こどもルーム	729
38	柏第五小子どもルーム	2,319	88	十余二こどもルーム	3
39	柏第七小子どもルーム	1,378	89	中原小こどもルーム	940
40	柏第二小子どもルーム	602	90	名戸ヶ谷小子どもルーム	578
41	柏第四小子どもルーム	123	91	南部みんなの広場	55
42	かしわのはこころ保育園	617	92	西原小こどもルーム	998
43	柏の葉小こどもルーム	2,387	93	西原幼稚園	172
44	柏八小子どもルーム	976	94	ニチイキッズ逆井みなみ保育園	105
45	柏六小こどもルーム	1,103	95	花野井小子どもルーム	1,055
46	かたくり 読書会	36	96	花の井保育園	25
47	株式会社 free style	40	97	光ヶ丘近隣センター内遊戯室	10
48	カンガルークラブ	205	98	光ヶ丘小子どもルーム	1,281
49	北柏駅前保育園わらび	246	99	東葛飾地区母親読書センター	147
50	北柏リハビリ総合病院ひまわり保育園	289	100	福祉朗読ハルの会	66
			101	藤心小子どもルーム	105

No.	団 体 名	貸出点数
102	布施近隣センター遊戯室	75
103	文月会	7
104	ぶるーむクラブ（こども食堂）	741
105	保育所 ちびっこランドまつば園	29
106	放課後等ディサービス こどもプラス柏教室	117
107	放課後等ディサービス一寸ぼうし	14
108	ポレポレ（NPOこどもすぺーす柏）	472
109	松葉第一小子どもルーム	1,438
110	松葉読書会 れもん	45
111	松葉二小こどもルーム	1,247
112	美南園	676
113	もじずり読書会	49
114	豊小こどもルーム	286
115	よつばのクローバー	64
116	ら・くれしゅ柏駅前保育園	85
	一般 合計	38,446

団体区分（読み聞かせ）（単位：点）

No.	団 体 名	貸出点数
1	ありえっぺい	66
2	育児サークルほしの子	709
3	おかあさんのおはなし会	4
4	おはなし あのね	134
5	おはなしおはなしグーチョキパー	46
6	おはなし会 松ぼっくり	25
7	おはなしジャングル	70
8	おはなし宝箱	5
9	おはなしたまてばこ	217
10	お話ダンボ	14
11	おはなしのへや	19
12	おはなしピンポンパン（親と子のおはなし会）	549
13	おはなしランド	4
14	キラキラおはなし会	16
15	そらいろのたね（中原小読み聞かせグループ）	19
16	たかちゃんのおはなし会	49
17	高柳西小学校絵本の会	235
18	富勢小おはなしのへや	80
19	読書サークル「いこいのそよ風」	41
20	西原小学校読み聞かせの会	299
21	にじいろ おはなしかい	85
22	ねどちゃん	17
23	光ヶ丘小学校読み聞かせグループ	23
24	藤心小学校図書ボランティア「おはなし会きらきら」	366
25	ブックスタート田中保育園	1,296
26	増尾西小図書ボランティア「ひなたぼっこ」	3
27	松葉第二小学校お母さんのお話し会	13
28	ミニシアター はらぺこくん	147
	読み聞かせ 合計	4,551

団体区分（学校支援）（単位：点）

No.	団 体 名	貸出点数
1	市立柏高等学校	405
2	柏市立柏第六小学校司書教諭	22
3	柏市立旭小学校司書教諭	6
4	柏市立旭東小学校司書教諭	3
5	柏市立大津ヶ丘第一小学校	139
6	柏市立大津ヶ丘第一小学校司書教諭	44
7	柏市立大津ヶ丘第二小学校司書教諭	8
8	柏市立大津ヶ丘中学校	34
9	柏市立風早中学校司書教諭	108
10	柏市立風早中学校	34
11	柏市立風早北部小学校司書教諭	39
12	柏市立柏第一小学校司書教諭	247
13	柏市立柏第五小学校司書教諭	157
14	柏市立柏第五中学校	4
15	柏市立柏第五中学校司書教諭	6
16	柏市立柏第三小学校	462
17	柏市立柏第三中学校	23
18	柏市立柏第七小学校司書教諭	16
19	柏市立柏第二小学校	14
20	柏市立柏第二小学校司書教諭	34
21	柏市立柏第二中学校	8
22	柏市立柏第二中学校司書教諭	11
23	柏市立柏第八小学校	20
24	柏市立柏第八小学校司書教諭	301
25	柏市立柏第四小学校	112
26	柏市立柏第四小学校司書教諭	123
27	柏市立柏第四中学校	95
28	柏市立柏第四中学校司書教諭	109
29	柏市立柏中学校司書教諭	113
30	柏市立柏中学校	32
31	柏市立柏の葉小学校	166
32	柏市立柏の葉中学校	69
33	柏市立柏の葉中学校司書教諭	109
34	柏市立酒井根小学校司書教諭	140
35	柏市立酒井根中学校	77
36	柏市立酒井根中学校司書教諭	60
37	柏市立酒井根西小学校司書教諭	77
38	柏市立酒井根東小学校	57
39	柏市立酒井根東小学校司書教諭	179
40	柏市立逆井小学校司書教諭	54
41	柏市立逆井中学校	57
42	柏市立逆井中学校司書教諭	2
43	柏市立高田小学校	87
44	柏市立高田小学校司書教諭	280
45	柏市立高柳小学校司書教諭	5
46	柏市立高柳中学校	14
47	柏市立高柳中学校司書教諭	117
48	柏市立高柳西小学校	24
49	柏市立高柳西小学校司書教諭	94
50	柏市立田中北小学校	98
51	柏市立田中北小学校司書教諭	164
52	柏市立田中小学校	97
53	柏市立田中小学校司書教諭	202

No.	団 体 名	貸出点数
54	柏市立田中中学校	105
55	柏市立田中中学校司書教諭	135
56	柏市立土小学校	16
57	柏市立土小学校司書教諭	100
58	柏市立土中学校司書教諭	45
59	柏市立土南部小学校司書教諭	113
60	柏市立手賀中学校	46
61	柏市立手賀中学校司書教諭	96
62	柏市立手賀西小学校司書教諭	58
63	柏市立手賀東小学校司書教諭	13
64	柏市立富勢小学校	40
65	柏市立富勢小学校司書教諭	10
66	柏市立富勢中学校司書教諭	85
67	柏市立富勢西小学校司書教諭	76
68	柏市立富勢西小学校	36
69	柏市立富勢東小学校	33
70	柏市立富勢東小学校司書教諭	73
71	柏市立十余二小学校	30
72	柏市立十余二小学校司書教諭	2
73	柏市立中原小学校	1
74	柏市立中原小学校司書教諭	27
75	柏市立中原中学校	18
76	柏市立中原中学校司書教諭	163
77	柏市立名戸ヶ谷小学校	74
78	柏市立名戸ヶ谷小学校司書教諭	112
79	柏市立南部中学校司書教諭	24
80	柏市立西原小学校	19
81	柏市立西原中学校	98
82	柏市立光ヶ丘小学校	41
83	柏市立光ヶ丘中学校	26
84	柏市立光ヶ丘中学校司書教諭	48
85	柏市立藤心小学校司書教諭	484
86	柏市立増尾西小学校	209
87	柏市立増尾西小学校司書教諭	85
88	柏市立松葉第一小学校司書教諭	54
89	柏市立松葉第二小学校	25
90	柏市立松葉第二小学校司書教諭	33
91	柏市立松葉中学校司書教諭	19
92	麗澤中・高等学校	65
	学校支援 合計	7,695

団体区分（相互協力）（単位：点）

No.	団 体 名	貸出点数
1	県立西部図書館	108
2	県立中央図書館	8
3	県立東部図書館	24
4	我孫子市民図書館	442
5	市川市中央図書館	361
6	印西市立図書館	190
7	浦安市立図書館	365
8	鎌ヶ谷市立図書館	208
9	白井市立図書館	107
10	流山市立図書館	161
11	流山市立森の図書館	101
12	流山市立木の図書館	46
13	野田市立興風図書館	277
14	船橋市立中央図書館	153
15	船橋市立西図書館	134
16	船橋市立北図書館	90
17	船橋市立東図書館	206
18	松戸市立図書館	330
19	市原市立図書館	35
20	大多喜町立図書館	1
21	香取市立佐原中央図書館	32
22	香取市立小見川図書館	11
23	木更津市立図書館	68
24	君津市立図書館	80
25	佐倉市立佐倉図書館	19
26	佐倉市立志津図書館	74
27	佐倉市立佐倉南図書館	9
28	山武市成東図書館	36
29	山武市松尾図書館	16
30	山武市さんぶの森図書館	24
31	酒々井町立図書館	29
32	匝瑳市八日市場図書館	8
33	袖ヶ浦市立図書館	62
34	千葉市立中央図書館	87
35	千葉市立花見川図書館	1
36	千葉市立みやこ図書館	6
37	千葉市立稲毛図書館	55
38	千葉市立若葉図書館	21
39	千葉市立緑図書館	19
40	千葉市立美浜図書館	40
41	千葉市みずほハスの花図書館	4
42	銚子市立公正図書館	26
43	東庄町立図書館	8
44	富里市立図書館	6
45	習志野市立図書館	242
46	成田市立図書館	30
47	茂原市立図書館	26
48	八街市立図書館	22
49	八千代市立八千代台図書館	23
50	八千代市立大和田図書館	36
51	八千代市立勝田台図書館	76
52	八千代市立緑が丘図書館	33

No.	団 体 名	貸出点数
53	横芝光町立図書館	54
54	四街道市立図書館	51
55	勝浦市立図書館	6
56	鴨川市立図書館	27
57	館山市立図書館	9
58	東金市立図書館	19
59	南房総市千倉図書館	18
60	大網白里市立図書室	7
62	相互貸借 県内	93
63	相互貸借 県外	21
	相互協力 合計	4,881

6 視聴覚資料利用状況（平成30年度）

視聴覚資料所蔵点数

（単位：点）

CD	テープ	DVD	ビデオ	合計
4,911	462	995	252	6,620

視聴覚資料貸出状況

（単位：点）

CD	テープ	DVD	ビデオ	合計
16,149	244	4,790	77	21,260

7 障がい者サービス

項目 月	利用者数 (人)	登録状況(人)			貸出状況		
		新規	除籍	累計	図書(冊)	視聴覚資料 (点)	合計
4月	19			61	38	1	39
5月	11	1		62	32	2	34
6月	14			62	57		57
7月	10	1		63	39		39
8月	11			63	31		31
9月	9			63	50		50
10月	18			63	49		49
11月	14	1		64	39		39
12月	20	1		65	67		67
1月	22			65	56		56
2月	26			65	47		47
3月	26			65	57		57
合計	200	4	0		562	3	565

8 リサイクル図書

利用者数 (人)	冊数 (冊)
4, 146	9, 180

* この他に、「リサイクル本市」等で、約6, 000冊のリサイクル本を頒布。

9 コピー利用状況

件数 (件)	枚数 (枚)
2, 207	15, 004

10 ベストリーダー

(一般書)

順位	書名	著者名	出版社	回数	複本冊数
1	コンビニ人間	村田 沙耶香／著	文藝春秋	562	29
2	おらおらでひとりいぐも	若竹 千佐子／著	河出書房新社	516	27
3	九十歳。何がめでたい	佐藤 愛子／著	小学館	510	25
4	素敵な日本人 東野圭吾短編集	東野 圭吾／著	光文社	444	21
5	恋のゴンドラ	東野 圭吾／著	実業之日本社	443	22
6	蜜蜂と遠雷	恩田 陸／著	幻冬舎	434	28
7	危険なビーナス	東野 圭吾／著	講談社	430	23
8	羊と鋼の森	宮下 奈都／著	文藝春秋	427	26
9	ラプラスの魔女	東野 圭吾／著	KADOKAWA	426	22
10	希望荘 [杉村三郎シリーズ]	宮部 みゆき／著	小学館	422	22
11	この世の春 上	宮部 みゆき／著	新潮社	406	20
12	屍人荘の殺人	今村 昌弘／著	東京創元社	403	22
12	火花	又吉 直樹／著	文藝春秋	403	34
14	人魚の眠る家	東野 圭吾／著	幻冬舎	401	24
15	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和／著	サンマーク出版	397	24
16	三鬼 三島屋変調百物語四之続	宮部 みゆき／著	日本経済新聞出版社	396	21
17	この世の春 下	宮部 みゆき／著	新潮社	393	20
18	終わった人	内館 牧子／著	講談社	392	20
19	かがみの孤城	辻村 深月／著	ポプラ社	383	26
20	アキラとあきら (徳間文庫)	池井戸 潤／著	徳間書店	367	20
20	みかづき	森 絵都／著	集英社	367	23

(児童書)

順位	書名	著者名	出版社	回数	複本冊数
1	ぴょーん	まつおか たつひで／作・	ポプラ社	785	149
2	ねないこだれだ	せな けいこ／さく え	福音館書店	783	142
3	わにわにのおふろ	小風 さち／ぶん	福音館書店	766	82
4	しろくまちゃんのおとけーき	わかやま けん／著	こぐま社	761	114
5	がたんごとんがたんごとん	安西 水丸／さく	福音館書店	746	134
6	かおかおどんなかお	柳原 良平／作・絵	こぐま社	718	73
7	だるまさんが	かがくい ひろし／さく	ブロンズ新社	708	90
8	だるまさんの	かがくい ひろし／さく	ブロンズ新社	705	74
9	だるまさんと	かがくい ひろし／さく	ブロンズ新社	696	78
10	そらめくんのベッド	なかや みわ／さく・え	福音館書店	683	74
11	ぐりとぐら	中川 李枝子／さく	福音館書店	679	91
12	はらぺこあおむし	エリック＝カール／作 絵	偕成社	661	100
13	おぼけのてんぷら	せな けいこ／作 絵	ポプラ社	659	73
14	おおきなかぶ ロシアの昔話	A. トルストイ／再話	福音館書店	639	84
15	わたしのワンピース	にしまさ かやこ／えと	こぐま社	632	74
16	きんぎょが にげた	五味 太郎／作	福音館書店	606	105
17	バムとケロのそらのたび	島田 ゆか／作 絵	文溪堂	599	58
18	ノタンおやすみなさい	キヨノ サチコ／作絵	偕成社	598	61
19	うずらちゃんのかくれんぼ	きもと ももこ／さく	福音館書店	586	106
20	ぼくのくれよん	長 新太／おはなし・え	講談社	582	76

1 1 予約受付件数・処理件数（平成30年度）

(単位:件)

館名	項目	受付件数	貸出処理						提供不能	取消処理	
			自館処理	他館処理							合計
				県立	県内	国会	その他	合計			
本館		69,281	61,510	237	356	32	10	635	62,145	48	7,051
豊四季台		41,082	37,504	274	161	0	8	443	37,947	16	2,776
田中		30,258	27,687	47	51	0	0	98	27,785	6	2,157
南部		18,856	17,629	34	138	0	3	175	17,804	9	1,252
西原		24,049	22,536	24	68	0	2	94	22,630	1	1,549
永楽台		30,669	28,151	38	85	0	2	125	28,276	11	2,382
布施		8,917	8,178	8	39	0	0	47	8,225	3	679
増尾		27,070	25,152	113	166	0	5	284	25,436	19	1,697
光ヶ丘		43,993	40,330	60	166	0	0	226	40,556	28	3,538
新富		22,260	20,391	74	77	0	1	152	20,543	14	1,789
高田		16,747	15,193	6	33	0	3	42	15,235	2	1,519
根戸		19,357	18,107	63	69	0	1	133	18,240	7	1,247
新田原		18,320	17,220	27	56	0	0	83	17,303	3	1,113
松葉		43,362	40,240	160	184	0	4	348	40,588	45	2,669
藤心		21,042	19,737	52	111	0	2	165	19,902	24	1,225
沼南		13,616	12,475	20	65	0	1	86	12,561	3	992
高柳		19,367	17,876	15	69	0	1	85	17,961	4	1,365
こども		11,435	10,041	17	24	0	0	41	10,082	2	1,276
合計		479,681	439,957	1,269	1,918	32	43	3,262	443,219	245	36,276
									479,740		

1 1 本館・分館所蔵雑誌・新聞一覧（令和元年度）

1 雑誌

※誌名は、令和元年10月1日現在、継続して受け入れを予定しているもの。

※誌名に『月刊』『週刊』が付く場合は誌名扱いとし、誌名の五十音順に配列。

※表中《休刊》とあるものは、年度途中に休刊となったものであり、所蔵は継続している。

No.	雑誌名	刊行頻度	所蔵										館						
			本館	光ヶ丘	新富	高田	根戸	新田原	松葉	藤心	豊四季台	田中	南部	西原	永楽台	布施	増尾	沼南	高柳
1	愛犬の友	偶数月刊					○												
2	AERA（アエラ）	週刊	○													○			
3	AERA with Kids	季刊								○									
4	アサヒカメラ	月刊														○			
5	明日の友	偶数月刊	○																
6	アニメージュ	月刊	○																
7	安心	月刊				○													
8	&Premium	月刊													○		○		
9	家の光	月刊								○									
10	囲碁未来	月刊	○																
11	一枚の繪	月刊															○		
12	一個人	月刊														○		○	
13	医道の日本	月刊	○																
14	ENGLISH JOURNAL	月刊	○																
15	Will	月刊									○								
16	潮	月刊	○																
17	美しいキモノ	季刊										○							
18	VERY（ヴェリィ）	月刊		○															
19	Yell sports千葉	奇数月刊	○																
20	英語教育	月刊	○																
21	栄養と料理	月刊	○																
22	エクステリア&ガーデン	季刊														○			
23	SFマガジン	偶数月刊	○																
24	ESTRELA（エストレーラ）	月刊	○																
25	ESSE（エッセ）	月刊	○		○					○		○			○				○
26	NHK 囲碁講座	月刊											○						
27	NHK ガッテン	季刊									○	○							
28	NHK きょうの健康	月刊	○	○		○					○	○	○			○		○	
29	NHK きょうの料理	月刊	○	○	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	
30	NHK きょうの料理ビギナーズ	月刊																	○
31	NHK 趣味の園芸	月刊	○		○		○		○	○		○	○	○	○		○	○	
32	NHK 趣味の園芸 やさいの時間	偶数月刊																	○
33	NHK 将棋講座	月刊														○			
34	NHK すてきにハンドメイド	月刊	○	○	○		○	○		○			○						○
35	エネルギーレビュー	月刊	○																
36	EMAC（エマック）	季刊	○																
37	MJ 無線と実験	月刊	○																
38	ELLE DECOR（エルデコ）	偶数月刊	○																
39	園芸ガイド	季刊		○															
40	園芸JAPAN	月刊							○										
41	演劇界	月刊	○																
42	えんぶ	奇数月刊	○																
43	OCEANS	月刊																	○
44	オール讀物	月刊	○		○	○						○							
45	男の隠れ家	月刊				○													
46	おとなの週末	月刊													○				
47	オレンジページ	月2回刊	○																
48	音楽の友	月刊	○								○			○					
49	音楽と人	月刊						○											
50	Cut	月刊															○		
51	CAR and DRIVER （カーアンドドライバー）	月刊													○				
52	Casa BRUTUS（カーサブルータス）	月刊																	○
53	かがやき	季刊	○																
54	かぞくのじかん	季刊								○									○
55	家庭画報	月刊									○							○	
56	カメラマン	その他																○	
57	かりん	月刊	○																
58	岳人	月刊																○	
59	學鐙	その他	○																
60	学校図書館	月刊	○																
61	ガバナンス	月刊	○																
62	季刊ichiko	季刊	○																
63	季刊 環境研究	季刊	○																
64	季刊 情報ステーション	季刊	○																
65	企業診断	月刊	○																
66	キネマ旬報	月2回刊	○																
67	近代盆栽	月刊	○																

No.	雑 誌 名	刊行頻度	所 蔵 館																
			本館	光ケ丘	新富	高田	根戸	新田原	松葉	藤心	豊四季台	田中	南部	西原	永楽台	布施	増尾	沼南	高柳
68	ku : ne l (クウネル)	奇数月刊							○					○					
69	暮らしの手帖	奇数月刊	○			○		○		○		○		○					
70	クラッシー	月刊	○																
71	CREA (クレア)	その他											○						
72	クロワゼ	季刊										○							
73	クロワッサン	月2回刊	○				○			○				○				○	
74	Goods Press (グッズプレス)	月刊															○		
75	ぐるっと千葉	月刊	○																
76	群像	月刊	○																
77	経済セミナー	奇数月刊	○																
78	健康	月刊											○	○					
79	健康365	月刊	○																
80	GOETHE (ゲーテ)	月刊												○					
81	月刊新聞ダイジェスト	月刊	○																
82	月刊Newsがわかる	月刊	○																
83	月刊 バスケットボール	月刊														○			
84	芸術新潮	月刊	○																
85	月刊 京都	月刊	○																
86	月刊 クーヨン	月刊																	○
87	月刊 基ワールド	月刊									○								
88	月刊 社会教育	月刊	○																
89	月刊 自家用車	月刊																	
90	月刊 天文ガイド	月刊	○															○	
91	月刊 ナーシング	月刊	○																
92	月刊 福祉	月刊	○																
93	月刊 武道	月刊	○																
94	月刊 星ナビ	月刊	○																
95	月刊 MOE	月刊	○																
96	月刊 UP (ユーピー)	月刊	○																
97	月刊 リベラルタイム	月刊	○																
98	現代の図書館	季刊	○																
99	現代詩手帖	月刊	○																
100	鴻	月刊	○																
101	航空ファン	月刊	○																
102	皇室	季刊	○																
103	国鉄時代	季刊	○																
104	国立国会図書館月報	月刊	○																
105	コットンフレンド	季刊												○					
106	子どもと読書	奇数月刊	○																
107	子どもと昔話	季刊	○																
108	子供の科学	月刊	○																
109	子どもの本棚	月刊	○																
110	k o d o m o e	奇数月刊					○												○
111	この本読んで!	季刊																	○
112	コピライト	月刊	○																
113	コミュニティ	その他	○																
114	GO Journal	その他	○																
115	GOLF DIGEST (ゴルフダイジェスト)	月刊																○	
116	サッカーダイジェスト	月2回刊																	○
117	Science Window	季刊	○																
118	s a i t a (咲いた)	月刊																	○
119	サンキュ!	月刊										○	○						○
120	サンデー毎日	週刊											○						
121	散歩の達人	月刊							○								○		
122	THE 21	月刊					○												
123	出版ニュース	その他	○																
124	終活読本ソナエ	季刊					○												
125	週刊アスキー	週刊					○												
126	週刊 エコノミスト	週刊	○																
127	週刊新刊全点案内	週刊	○																
128	週刊 ダイヤモンド	週刊	○																
129	小説推理	月刊															○		
130	小説野性時代	月刊	○																
131	CD Journal	月刊	○																
132	市政	月刊	○																
133	自然と人間	月刊	○																
134	思想	月刊	○																
135	city & life	季刊	○																
136	週刊 朝日	週刊		○						○	○				○				
137	週刊金曜日	週刊	○																
138	週刊 新潮	週刊	○			○													
139	週刊 東洋経済	週刊	○																
140	週刊 文春	週刊	○				○	○			○					○		○	
141	週刊 ベースボール	週刊	○																
142	春秋	月刊	○																
143	将棋世界	月刊	○				○												

No.	雑 誌 名	刊行頻度	所 蔵 館																	
			本館	光ヶ丘	新富	高田	根戸	新田原	松葉	藤心	豊四季台	田中	南部	西原	永楽台	布施	増尾	沼南	高柳	いじも
144	商業界	月刊	○																	
145	小説新潮	月刊	○												○					
146	小説宝石	月刊										○								
147	書齋の窓	奇数月刊	○									○								
148	新幼児と保育	偶数月刊	○																	
149	新建築	月刊	○																	
150	新潮	月刊	○																	
151	新潮45	月刊	○																	
152	JTB時刻表	月刊	○	○		○	○	○	○	○		○		○	○					
153	JJ（ジェイジェイ）	月刊										○								
154	JR時刻表	月刊			○						○		○			○			○	
155	児童心理	月刊	○																	
156	児童文芸	偶数月刊	○																	
157	ジュリスト	月刊	○																	
158	女性情報	月刊	○																	
159	数学セミナー	月刊	○																	
160	スクリーン	月刊																	○	
161	STORY（ストーリイ）	月刊			○						○									
162	すばる	月刊	○																	
163	Sports Graphic Number	月2回刊						○						○	○					
164	住まいの設計	奇数月刊								○				○	○					
165	スマッシュ	月刊		○																
166	住む	季刊									○									
167	相撲	月刊	○																	
168	青春と読書	月刊	○																	
169	声優アニメディア	月刊	○																	
170	正論	月刊	○																	
171	世界	月刊	○																	
172	世界の艦船	月刊	○																	
173	Seventeen	月刊	○																	
174	self doctor	季刊	○																	
175	壮快	月刊			○															
176	創文	月刊	○																	
177	蕎麦春秋	季刊	○																	
178	TIME（タイム）	週刊	○																	
179	旅と鉄道	奇数月刊										○								
180	旅の手帖	月刊	○							○			○			○		○		
181	たまごクラブ	月刊																		○
182	タラの木	その他	○																	
183	短歌	月刊	○																	
184	淡青	その他	○																	
185	大法輪	月刊	○																	
186	Diamond ZAi（ザイ）	月刊										○		○				○		
187	DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー	月刊	○																	
188	ダ・ヴィンチ	月刊														○				
189	ダンスマガジン	月刊	○																	
190	dancyu（ダンチュウ）	月刊																		○
191	ちいさいなかま	月刊																		○
192	地方自治	月刊	○																	
193	チャイルドヘルス	月刊																		○
194	中央公論	月刊	○																	
195	チルチンびと	その他																○		
196	つり人	月刊	○																	
197	鉄道ジャーナル	月刊	○										○	○						
198	鉄道ダイヤ情報	月刊															○			
199	鉄道ビクトリアル	月刊	○																	
200	鉄道ファン	月刊	○						○	○		○						○		
201	天然生活	月刊		○	○						○									
202	Discover Japan	月刊	○																	
203	ディズニーフアン	月刊								○									○	
204	陶工房	季刊				○														
205	投資手帖	月刊	○																	
206	特選街	月刊					○													
207	tocotoco（トコトコ）	季刊																		○
208	図書	月刊	○																	
209	図書館雑誌	月刊	○																	
210	DOS/V POWER REPORT	月刊					○													
211	Domani	月刊																○		
212	NATIONAL GEOGRAPHIC（ナショナルジオグラフィック）	月刊	○																	
213	Newtype（ニュータイプ）	月刊	○																	
214	日経コンピュータ	隔週	○																	
215	日経Woman	月刊	○									○								
216	日経エンタテインメント	月刊						○												
217	日経おとなのOFF	月刊										○						○		○
218	日経会社情報《休刊》	季刊															○			

No.	雑 誌 名	刊行頻度	所 蔵 館																
			本館	光ケ丘	新富	高田	根戸	新田原	松葉	藤心	豊四季台	田中	南部	西原	永楽台	布施	増尾	沼南	高柳
219	日経サイエンス	月刊	○																
220	日経トップリーダー	月刊	○																
221	日経TRENDY	月刊	○						○		○								
222	日経パソコン	隔週	○																
223	日経ビジネス	週刊	○																
224	日経ビーシー21	月刊		○	○				○									○	
225	日経ヘルス	月刊					○								○	○			
226	日経マネー	月刊		○						○					○				
227	n i n a ' s	奇数月刊		○															
228	日本カメラ	月刊	○																
229	日本児童文学	偶数月刊	○																
230	Newsweek 日本版	週刊	○																
231	Newton (ニュートン)	月刊	○																
232	ぬかる道	月刊	○																
233	ねこ	季刊											○						
234	n o n - n o (ノンノ)	月刊					○												
235	HERS	月刊					○												
236	俳句	月刊	○																
237	俳句界	月刊	○																
238	母の友	月刊																	○
239	h a r u - m i	季刊										○						○	
240	ハルメク	月刊	○						○	○									
241	判例時報	旬刊	○																
242	B i C Y C L E C L U B	月刊	○																
243	Band Journal	月刊												○					
244	ひよこクラブ	月刊				○	○						○						○
245	H i r @ g a n a T i m e s (ヒラガナタイムス)	月刊	○																
246	B E - P A L (ビーパル)	月刊													○				
247	美術手帖	月刊	○																
248	p i c c o l o	月刊																	○
249	ファイナンス	月刊	○																
250	F i s h i n g C a f e	季刊	○							○			○						
251	婦人画報	月刊													○			○	
252	婦人公論	月2回刊	○	○							○	○							
253	婦人之友	月刊	○									○		○					
254	H U L A L e ' a (フラレア)	季刊															○		
255	F L I X (フリックス)	偶数月刊															○		
256	文藝界	月刊	○																
257	文藝	季刊	○																
258	文藝春秋	月刊	○	○	○		○	○	○			○		○		○	○	○	
259	プラス1 リビング	季刊					○									○		○	
260	P r e c i o u s	月刊											○						
261	プレジデント	月2回刊							○										
262	P R E S I D E N T W O M A N	月刊						○											
263	P R E S I D E N T W O M A N P R E M I E	季刊						○											
264	プレジデント F a m i r y	季刊											○			○			○
265	P r e - m o (プレモ)	月刊																	○
266	B E S T F L O W E R A R R A N G E M	季刊											○						
267	B a b y - m o [ベビモ]	季刊	○								○								○
268	法学教室	月刊	○																
269	法学セミナー	月刊	○																
270	訪問看護と介護	月刊	○																
271	本の雑誌	月刊	○																
272	本郷	奇数月刊	○																
273	V o i c e (ボイス)	月刊	○																
274	M a r t (マート)	月刊						○	○			○						○	
275	M y G A R D E N (マイガーデン)	季刊										○							
276	M a c F a n	月刊	○																
277	MAMOR	月刊	○																
278	みずず	月刊	○																
279	M r . P C	月刊												○					
280	ミステリマガジン	奇数月刊	○																
281	ミセス	月刊	○								○								
282	ミセスのスタイルブック	季刊			○														
283	未来	季刊	○																
284	みんなの図書館	月刊	○																
285	M e n ' s n o n - n o	月刊									○								
286	M e n ' s E x (メンズイーエックス)	月刊	○																
287	M o t o r c y c l i s t	月刊														○			
288	文字の大きな時刻表	季刊															○	○	
289	M o d e l G r a p h i x (モデルグラフィックス)	月刊																○	
290	やさしい畑	季刊														○			
291	山と溪谷	月刊	○																
292	ユーアールプレス	季刊									○								
293	ゆうゆう	月刊			○												○		

NO.	雑 誌 名	刊行頻度	所 蔵 館																
			本館	光ヶ丘	新富	高田	根戸	新田原	松葉	藤心	豊四季台	田中	南部	西原	永楽台	布施	増尾	沼南	高柳
294	ユリイカ	月刊	○																
295	ラジオ深夜便	月刊								○									
296	L A M E R	奇数月刊	○																
297	ランナーズ	月刊															○		
298	L E E （リー）	月刊							○	○								○	
299	月刊 旅行読売	月刊		○															
300	歴史街道	月刊						○			○								
301	歴史群像	奇数月刊										○							
302	歴史読本 《休刊》	月刊	○																
303	レタスクラブ	月刊			○														○
304	わかさ	月刊						○											
305	私のカントリー	季刊											○						
306	和楽	偶数月刊											○						
307	ワンダーフォーゲル	季刊										○							

2 新聞

一般紙

紙 名	所蔵館
朝日新聞	本館，田中，高田，松葉，新富，新田原，藤心
産経新聞	本館，布施，南部
東京新聞	本館，田中，高田，永楽台
日本経済新聞	本館，松葉，光ヶ丘，沼南
毎日新聞	本館，西原，布施，永楽台，増尾，沼南，高柳
読売新聞	本館，豊四季台，根戸，南部，光ヶ丘

専門紙

紙 名	所蔵館
日刊工業新聞	本館
日経産業新聞	本館
日経流通新聞	本館
週刊読書人	本館
中小企業振興	本館

地方紙

紙 名	所蔵館
柏市民新聞	全館（こどもを除く）
千葉日報	本館，西原，新田原
東葛まいにち	本館

外国語紙

紙 名	所蔵館
The Japan Times	本館
The Japan News	本館

スポーツ紙

紙 名	所蔵館
スポーツニッポン	豊四季台，増尾
日刊スポーツ	本館，根戸，藤心
スポーツ報知	新富，高柳

その他

紙 名	所蔵館
官報	本館

※分館の購入新聞は，年度によって変更。

※分館は朝刊のみ購入。

3 オンラインデータベース

名 称	提供館
聞蔵Ⅱビジュアル（朝日新聞）	本館
ヨミダス歴史館（読売新聞）	本館
日経テレコン21（日本経済新聞）	本館
官報情報検索サービス	本館

4 縮刷版、マイクロフィルム等各種資料所蔵状況

資 料 名		所 蔵
官報		昭和 39 年(欠あり), 昭和 40 年～昭和 57 年(マイクロフィルム) 昭和 22 年 5 月～(データベース) 3 年間現物あり
千葉県報		2 年保存
新聞縮刷版	朝日新聞	明治 35 年 5 月～ 欠号：昭和 35 年 5 月, 昭和 37 年 2 月・10 月, 昭和 40 年 3～6 月, 昭和 44 年 8 月
	毎日新聞	昭和 48 年 3 月～ 欠号：昭和 60 年 9 月～12 月
	読売新聞	昭和 37 年 10・11 月, 昭和 38 年 6 月, 昭和 48 年 3 月～
	日本経済新聞	昭和 48 年 3 月～ 欠号：平成 9 年 4 月
	千葉日報	昭和 51 年 7 月, 昭和 52 年 4 月～平成 16 年 3 月 平成 16 年 4 月～(CD-ROM 及び DVD-ROM)
朝日新聞(全国版)		昭和 35 年 5 月, 昭和 37 年 2 月, 昭和 40 年 3～6 月, 昭和 44 年 8 月(マイクロフィルム)
毎日新聞(全国版)		昭和 60 年 9 月～12 月(マイクロフィルム)
朝日新聞(千葉版)		昭和 28 年～平成 22 年 4 月(マイクロフィルム)
毎日新聞(全地方版)		平成 27 年～29 年(DVD-ROM)
毎日新聞(千葉版)		昭和 2 年～平成 23 年 4 月(マイクロフィルム) 平成 24 年～25 年(DVD-ROM)
読売新聞(千葉版)		昭和 41 年～平成 22 年 12 月(マイクロフィルム) 平成 24 年～28 年(DVD-ROM)
柏市民新聞		昭和 31 年～平成 13 年 (マイクロフィルム) 昭和 31 年～63 年 (現物 閲覧不可) 平成 14 年・15 年欠号 平成 16 年～ (現物) 欠号 (昭和 63 年 4 月～平成 3 年 3 月まで休刊)
電話帳		全国版 (欠号あり) 最新版のみ
(柏市及び隣接市の住宅地図を所蔵)	柏市	1959(昭和 34)年～(欠あり)
	松戸市	1980(昭和 55)年～(欠あり)
	流山市	1973(昭和 48)年～(欠あり)
	我孫子市	1973(昭和 48)年～(欠あり)
	野田市	1981(昭和 56)年～(欠あり)
	白井市	2004(平成 16)年～(欠あり)
	鎌ヶ谷市	1985(昭和 60)年, 2004(平成 16)年～(欠あり)
	印西市	2005(平成 17)年～(欠あり)
	沼南町	1980(昭和 55)年～2003(平成 15)年(欠あり), 2007(平成 19)年から, 合併により柏市版に収録

5 永年保存雑誌所蔵状況

雑 誌 名	所 蔵
「あうる」(旧誌名：図書館の学校)	【合冊製本】 2000年1月(通巻1号)～2004年12月(通巻60号) 欠号あり
	2005年1月(通巻61号)～2011年2月(通巻99号) 欠号あり
朝日ジャーナル	【合冊製本】 1959年3.15(1巻1号通巻1号)～1992年5.29(34巻22号通巻1750号)欠号あり
医道の日本	【合冊製本】 1983年7月(通巻467号)～1998年8月(通巻650号)
学校図書館	【合冊製本】 1988年5月(通巻451号)～2006年12月(通巻674号)欠号あり
	2007年1月(通巻675号)～継続
葛飾文藝	2002年7.10(54号)～継続 欠号あり
かりん	2010年1月(33巻1号通巻381号)～継続
暮らしの手帖	【合冊製本】 ・一世紀 1949年10月(通巻5号)～1969年4月(通巻100号)欠号あり ・二世紀 1969年7月(通巻1号)～1986年2月(通巻100号) ・三世紀 1986年3・4月(通巻1号)～2002年11月(通巻100号) ・四世紀 2002年12月(通巻1号)～2005年1月(通巻13号)
	2005年2月(通巻14号)～継続 欠号あり
群像	1961年6月(16巻6号)～継続 欠号あり
現代の図書館	【合冊製本】 1970年1月(8巻1号)～2004年12月(42巻4号)
	2005年3月(43巻1号)～継続
鴻	2010年9月(5巻9号通巻51号)～継続 欠号あり
江南文学	【合冊製本】 1973年6月(創刊号)～2007年12月(通巻55号)欠号あり
	2008年6月(通巻56号)～継続 欠号あり
国文学 解釈と鑑賞	1979年7月(44巻8号通巻569号)～2011年10月(76巻10号通巻965号)欠号あり
国立国会図書館月報	1979年1.20(通巻214号)～継続 欠号あり
子どもと読書	【合冊製本】 1988年5月(18巻5号通巻201号)～2005年(通巻354号)
	2006年1月(通巻355号)～継続
こどもとしょかん	2001年春(通巻89号)～継続
子どもの本棚	【合冊製本】 1971年1号～2006年12月(35巻12号通巻458号)欠号あり
	2007年1月(36巻1号通巻459号)～継続

雑 誌 名	所 蔵
子どもと昔話	【合冊製本】 2000 年 4 月(通巻 3 号)～2005 年(通巻 25 号) 欠号あり 2006 年 1 月 (通巻 26 号) ～継続
子どもの館	1974 年 4 月(2 巻 4 号通巻 11 号)～1983 年 3 月(11 巻 3 号通巻 118 号)
月刊社会教育	【合冊製本】 1974 年 4 月(18 巻 4 号通巻 197 号)～2006 年 12 月(通巻 614 号)欠号あり 2009 年 1 月(通巻 639 号)～継続 欠号あり
ジュリスト	【合冊製本】 1953 年 6.1(通巻 35 号)～1966 年 12 月 15 日(通巻 360 号)欠号あり 1967 年 1 月(通巻 361 号)～継続 欠号あり
週刊金曜日	【合冊製本】 1993 年 11.5(通巻 1 号)～1997 年 12 月 19 日(通巻 204 号)欠号あり 2006 年 3.3(通巻 596 号)～継続 欠号あり
新潮	1977 年 4 月(74 巻 4 号通巻 866 号)～継続 欠号あり
ずいひつ流星	2006 年 1 月～継続 欠号あり
太陽の舟	2010 年 1 月(32 巻 1 号)～継続 欠号あり
タラの木	1994 年 6 月(2 号)～継続 欠号あり
地方自治	【合冊製本】 1983 年 8 月 (通巻 429 号) ～2011 年 12 月 (通巻 769 号)欠号あり 2012 年 1 月(通巻 770 号)～継続 欠号あり
図書館雑誌	復刻版 1907 年 10.17(通巻 1 号)～1944 年 8.15(通巻 294 号) 【合冊製本】 1965 年 1 月(59 巻 1 号通巻 59 号)～2006 年 12 月(100 巻 12 号通巻 997 号) 2007 年 1 月(101 巻 1 号通巻 998 号)～継続
日本児童文学	1971 年 8(17 巻 8 号通巻 178 号)～継続 欠号あり
野田文学	2002 年(3 号)～継続 欠号あり
判例時報	1977 年 7.21(通巻 852 号)～継続 欠号あり
法学教室	1980 年 10(通巻 1 号)～継続 欠号あり
ぼらん	【合冊製本】 1983 年(通巻 1 号)～2009 年(通巻 54 号)欠号あり 2010 年(通巻 55 号, 56 号)
みんなの図書館	【合冊製本】 1978 年 12 月(通巻 17 号)～2010 年 12 月(通巻 404 号)欠号あり 2005 年 1 月(通巻 333 号)～継続
れいろう	2011 年 1 月(通巻 648 号)～継続 欠号あり
歴史読本	1973 年 4 月(18 巻 4 号)～2015 年秋(60 巻 6 号)欠号あり

1 2 法規関係

1 社会教育法

昭和24年6月10日

法律第207号

最終改正 令和元年6月7日

法律第26号

第1章 総則

(この法律の目的)

第1条 この法律は、教育基本法（平成十八年法律第百二十号）の精神に則り、社会教育に関する国及び地方公共団体の任務を明らかにすることを目的とする。

(社会教育の定義)

第2条 この法律において「社会教育」とは、学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号）に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう。

(国及び地方公共団体の任務)

第3条 国及び地方公共団体は、この法律及び他の法令の定めるところにより、社会教育の奨励に必要な施設の設置及び運営、集会の開催、資料の作製、頒布その他の方法により、すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら实际生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。

2 国及び地方公共団体は、前項の任務を行うに当たっては、国民の学習に対する多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与することとなるよう努めるものとする。

3 国及び地方公共団体は、第一項の任務を行うに当たっては、社会教育が学校教育及び家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ、学校教育との連携の確保に努め、及び家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮をするとともに、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資することとなるよう努めるものとする。

(国の地方公共団体に対する援助)

第4条 前条第一項の任務を達成するために、国は、この法律及び他の法令の定めるところにより、地方公共団体に対し、予算の範囲内において、財政的援助並びに物資の提供及びそのあつせんを行う。

(市町村の教育委員会の事務)

第5条 市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会は、社会教育に関し、当該地方の必要に応じ、予算の範囲内において、次の事務を行う。

- 一 社会教育に必要な援助を行うこと。
- 二 社会教育委員の委嘱に関すること。
- 三 公民館の設置及び管理に関すること。
- 四 所管に属する図書館、博物館、青年の家その他の社会教育施設の設置及び管理に関すること。
- 五 所管に属する学校の行う社会教育のための講座の開設及びその奨励に関すること。

- 六 講座の開設及び討論会、講習会、講演会、展示会その他の集会の開催並びにこれらの奨励に関すること。
- 七 家庭教育に関する学習の機会を提供するための講座の開設及び集会の開催並びに家庭教育に関する情報の提供並びにこれらの奨励に関すること。
- 八 職業教育及び産業に関する科学技術指導のための集会の開催並びにその奨励に関すること。
- 九 生活の科学化の指導のための集会の開催及びその奨励に関すること。
- 十 情報化の進展に対応して情報の収集及び利用を円滑かつ適正に行うために必要な知識又は技能に関する学習の機会を提供するための講座の開設及び集会の開催並びにこれらの奨励に関すること。
- 十一 運動会、競技会その他体育指導のための集会の開催及びその奨励に関すること。
- 十二 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会等の開催及びその奨励に関すること。
- 十三 主として学齢児童及び学齢生徒（それぞれ学校教育法第十八条に規定する学齢児童及び学齢生徒をいう。）に対し、学校の授業の終了後又は休業日において学校、社会教育施設その他適切な施設を利用して行う学習その他の活動の機会を提供する事業の実施並びにその奨励に関すること。
- 十四 青少年に対しボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動その他の体験活動の機会を提供する事業の実施及びその奨励に関すること。
- 十五 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して学校、社会教育施設その他地域において行う教育活動その他の活動の機会を提供する事業の実施及びその奨励に関すること。
- 十六 社会教育に関する情報の収集、整理及び提供に関すること。
- 十七 視聴覚教育、体育及びレクリエーションに必要な設備、器材及び資料の提供に関すること。
- 十八 情報の交換及び調査研究に関すること。
- 十九 その他第三条第一項の任務を達成するために必要な事務

2 市町村の教育委員会は、前項第十三号から第十五号までに規定する活動であつて地域住民その他の関係者（以下この項及び第九条の七第二項において「地域住民等」という。）が学校と協働して行うもの（以下「地域学校協働活動」という。）の機会を提供する事業を実施するに当たっては、地域住民等の積極的な参加を得て当該地域学校協働活動が学校との適切な連携の下に円滑かつ効果的に実施されるよう、地域住民等と学校との連携協力体制の整備、地域学校協働活動に関する普及啓発その他の必要な措置を講ずるものとする。

3 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長が同項第一号に掲げる事務（以下「特定事務」という。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）である市町村にあつては、第一項の規定にかかわらず、同項第三号及び第四号の事務のうち特定事務に関するものは、その長が行うものとする。

（都道府県の教育委員会の事務）

第6条 都道府県の教育委員会は、社会教育に関し、当該地方の必要に応じ、予算の範囲内において、前条第一項各号の事務（同項第三号の事務を除く。）を行うほか、次の事務を行う。

- 一 公民館及び図書館の設置及び管理に関し、必要な指導及び調査を行うこと。
- 二 社会教育を行う者の研修に必要な施設の設置及び運営、講習会の開催、資料の配布等に関すること。
- 三 社会教育施設の設置及び運営に必要な物資の提供及びそのあつせんに関すること。
- 四 市町村の教育委員会との連絡に関すること。
- 五 その他法令によりその職務権限に属する事項

- 2 前条第二項の規定は、都道府県の教育委員会が地域学校協働活動の機会を提供する事業を実施する場合に準用する。
- 3 特定地方公共団体である都道府県にあつては、第一項の規定にかかわらず、前条第一項第四号の事務のうち特定事務に関するものは、その長が行うものとする。

(教育委員会と地方公共団体の長との関係)

第7条 地方公共団体の長は、その所掌に関する必要な広報宣伝で視聴覚教育の手段を利用することその他教育の施設及び手段によることを適当とするものにつき、教育委員会に対し、その実施を依頼し、又は実施の協力を求めることができる。

- 2 前項の規定は、他の行政庁がその所掌に関する必要な広報宣伝につき、教育委員会（特定地方公共団体にあつては、その長又は教育委員会）に対し、その実施を依頼し、又は実施の協力を求める場合に準用する。

第8条 教育委員会は、社会教育に関する事務を行うために必要があるときは、当該地方公共団体の長及び関係行政庁に対し、必要な資料の提供その他の協力を求めることができる。

第8条の2 特定地方公共団体の長は、特定事務のうち当該特定地方公共団体の教育委員会の所管に属する学校、社会教育施設その他の施設における教育活動と密接な関連を有するものとして当該特定地方公共団体の規則で定めるものを管理し、及び執行するに当たっては、当該教育委員会の意見を聴かなければならない。

- 2 特定地方公共団体の長は、前項の規則を制定し、又は改廃しようとするときは、あらかじめ、当該特定地方公共団体の教育委員会の意見を聴かなければならない。

第8条の3 特定地方公共団体の教育委員会は、特定事務の管理及び執行について、その職務に関して必要と認めるときは、当該特定地方公共団体の長に対し、意見を述べることができる。

(図書館及び博物館)

第9条 図書館及び博物館は、社会教育のための機関とする。

- 2 図書館及び博物館に関し必要な事項は、別に法律をもつて定める。

第2章 社会教育主事等

(社会教育主事及び社会教育主事補の設置)

第9条の2 都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に、社会教育主事を置く。

- 2 都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に、社会教育主事補を置くことができる。

(社会教育主事及び社会教育主事補の職務)

第9条の3 社会教育主事は、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。ただし、命令及び監督をしてはならない。

- 2 社会教育主事は、学校が社会教育関係団体、地域住民その他の関係者の協力を得て教育活動を行う場合には、その求めに応じて、必要な助言を行うことができる。

- 3 社会教育主事補は、社会教育主事の職務を助ける。

(社会教育主事の資格)

第9条の4 次の各号のいずれかに該当する者は、社会教育主事となる資格を有する。

- 一 大学に二年以上在学して六十二単位以上を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ、次に掲げる期間を通算した期間が三年以上になる者で、次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの

- イ 社会教育主事補の職にあつた期間

- ロ 官公署，学校，社会教育施設又は社会教育関係団体における職で司書，学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものにあつた期間
- ハ 官公署，学校，社会教育施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であつて，社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）
- 二 教育職員の普通免許状を有し，かつ，五年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあつた者で，次条の規定による社会教育主事の講習を修了したもの
- 三 大学に二年以上在学して，六十二単位以上を修得し，かつ，大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で，第一号イからハまでに掲げる期間を通算した期間が一年以上になるもの
- 四 次条の規定による社会教育主事の講習を修了した者（第一号及び第二号に掲げる者を除く。）で，社会教育に関する専門的事項について前三号に掲げる者に相当する教養と経験があると都道府県教育委員会が認定したもの
(社会教育主事の講習)

第9条の5 社会教育主事の講習は，文部科学大臣の委嘱を受けた大学その他の教育機関が行う。

- 2 受講資格その他社会教育主事の講習に関し必要な事項は，文部科学省令で定める。

(社会教育主事及び社会教育主事補の研修)

第9条の6 社会教育主事及び社会教育主事補の研修は，任命権者が行うもののほか，文部科学大臣及び都道府県が行う。

(地域学校協働活動推進員)

第9条の7 教育委員会は，地域学校協働活動の円滑かつ効果的な実施を図るため，社会的信望があり，かつ，地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者のうちから，地域学校協働活動推進員を委嘱することができる。

- 2 地域学校協働活動推進員は，地域学校協働活動に関する事項につき，教育委員会の施策に協力して，地域住民等と学校との間の情報の共有を図るとともに，地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言その他の援助を行う。

第3章 社会教育関係団体

(社会教育関係団体の定義)

第10条 この法律で「社会教育関係団体」とは，法人であると否とを問わず，公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

(文部科学大臣及び教育委員会との関係)

第11条 文部科学大臣及び教育委員会は，社会教育関係団体の求めに応じ，これに対し，専門的技術的指導又は助言を与えることができる。

- 2 文部科学大臣及び教育委員会は，社会教育関係団体の求めに応じ，これに対し，社会教育に関する事業に必要な物資の確保につき援助を行う。

(国及び地方公共団体との関係)

第12条 国及び地方公共団体は，社会教育関係団体に対し，いかなる方法によつても，不当に統制的支配を及ぼし，又はその事業に干渉を加えてはならない。

(審議会等への諮問)

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和二十三年法律第百二十号）第八条に規定する機関をいう。第五十一条第三項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

（報告）

第14条 文部科学大臣及び教育委員会は、社会教育関係団体に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

第4章 社会教育委員

（社会教育委員の設置）

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、教育委員会が委嘱する。

第16条 削除

（社会教育委員の職務）

第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

一 社会教育に関する諸計画を立案すること。

二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

（社会教育委員の委嘱の基準等）

第18条 社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期その他社会教育委員に関し必要な事項は、当該地方公共団体の条例で定める。この場合において、社会教育委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

第19条 削除

第5章 公民館

（目的）

第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

（公民館の設置者）

第21条 公民館は、市町村が設置する。

2 前項の場合を除くほか、公民館は、公民館の設置を目的とする一般社団法人又は一般財団法人（以下この章において「法人」という。）でなければ設置することができない。

3 公民館の事業の運営上必要があるときは、公民館に分館を設けることができる。

（公民館の事業）

第22条 公民館は、第二十条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によつて禁じられたものは、この限りでない。

- 一 定期講座を開設すること。
- 二 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

(公民館の運営方針)

第23条 公民館は、次の行為を行ってはならない。

- 一 もっぱら営利を目的として事業を行い、特定の営利事務に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること。
- 二 特定の政党の利害に関する事業を行い、又は公私の選挙に関し、特定の候補者を支持すること。

2 市町村の設置する公民館は、特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支援してはならない。

(公民館の基準)

第23条の2 文部科学大臣は、公民館の健全な発達を図るために、公民館の設置及び運営上必要な基準を定めるものとする。

2 文部科学大臣及び都道府県教育委員会は、市町村の設置する公民館が前項の基準に従って設置され及び運営されるように、当該市町村に対し、指導、助言その他の援助に努めるものとする。

(公民館の設置)

第24条 市町村が公民館を設置しようとするときは、条例で、公民館の設置及び管理に関する事項を定めなければならない。

第25条 削除

第26条 削除

(公民館の職員)

第27条 公民館に館長を置き、主事その他必要な職員を置くことができる。

2 館長は、公民館の行う各種の事業の企画実施その他必要な事務を行い、所属職員を監督する。

3 主事は、館長の命を受け、公民館の事業の実施にあたる。

第28条 市町村の設置する公民館の館長、主事その他必要な職員は、当該市町村の教育委員会（特定地方公共団体である市町村の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた公民館（第三十条第一項及び第四十条第一項において「特定公民館」という。）の館長、主事その他必要な職員にあつては、当該市町村の長）が任命する。

(公民館の職員の研修)

第28条の2 第九条の六の規定は、公民館の職員の研修について準用する。

(公民館運営審議会)

第29条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第30条 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、当該市町村の教育委員会（特定公民館に置く公民館運営審議会の委員にあつては、当該市町村の長）が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の委嘱の基準，定数及び任期その他当該公民館運営審議会に関し必要な事項は，当該市町村の条例で定める。この場合において，委員の委嘱の基準については，文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

第31条 法人の設置する公民館に公民館運営審議会を置く場合にあつては，その委員は，当該法人の役員をもつて充てるものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第32条 公民館は，当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに，その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第32条の2 公民館は，当該公民館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに，これらの者との連携及び協力の推進に資するため，当該公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（基金）

第33条 公民館を設置する市町村にあつては，公民館の維持運営のために，地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十一条の基金を設けることができる。

（特別会計）

第34条 公民館を設置する市町村にあつては，公民館の維持運営のために，特別会計を設けることができる。

（公民館の補助）

第35条 国は，公民館を設置する市町村に対し，予算の範囲内において，公民館の施設，設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は，政令で定める。

第36条 削除

第37条 都道府県が地方自治法第二百三十二条の二の規定により，公民館の運営に要する経費を補助する場合において，文部科学大臣は，政令の定めるところにより，その補助金の額，補助の比率，補助の方法その他必要な事項につき報告を求めることができる。

第38条 国庫の補助を受けた市町村は，左に掲げる場合においては，その受けた補助金を国庫に返還しなければならない。

一 公民館がこの法律若しくはこの法律に基く命令又はこれらに基いてした処分に違反したとき。

二 公民館がその事業の全部若しくは一部を廃止し，又は第二十条に掲げる目的以外の用途に利用されるようになったとき。

三 補助金交付の条件に違反したとき。

四 虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

（法人の設置する公民館の指導）

第39条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は，法人の設置する公民館の運営その他に関し，その求めに応じて，必要な指導及び助言を与えることができる。

（公民館の事業又は行為の停止）

第40条 公民館が第二十三条の規定に違反する行為を行つたときは，市町村の設置する公民館にあつては当該市町村の教育委員会（特定公民館にあつては，当該市町村の長），法人の設置する公民館にあつては都道府県の教育委員会は，その事業又は行為の停止を命ずることができる。

2 前項の規定による法人の設置する公民館の事業又は行為の停止命令に関し必要な事項は、都道府県の条例で定めることができる。

(罰則)

第41条 前条第一項の規定による公民館の事業又は行為の停止命令に違反する行為をした者は、一年以下の懲役若しくは禁錮 又は三万円以下の罰金に処する。

(公民館類似施設)

第42条 公民館に類似する施設は、何人もこれを設置することができる。

2 前項の施設の運営その他に関しては、第三十九条の規定を準用する。

第6章 学校施設の利用

(適用範囲)

第43条 社会教育のためにする国立学校（学校教育法第一条に規定する学校（以下この条において「第一条学校」という。）及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第二条第七項に規定する幼保連携型認定こども園（以下「幼保連携型認定こども園」という。）であつて国（国立大学法人法（平成十五年法律第百十二号）第二条第一項に規定する国立大学法人（次条第二項において「国立大学法人」という。）及び独立行政法人国立高等専門学校機構を含む。）が設置するものをいう。以下同じ。）又は公立学校（第一条学校及び幼保連携型認定こども園であつて地方公共団体（地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第六十八条第一項に規定する公立大学法人（次条第二項及び第四十八条第一項において「公立大学法人」という。）を含む。）が設置するものをいう。以下同じ。）の施設の利用に関しては、この章の定めるところによる。

(学校施設の利用)

第44条 学校（国立学校又は公立学校をいう。以下この章において同じ。）の管理機関は、学校教育上支障がないと認める限り、その管理する学校の施設を社会教育のために利用に供するように努めなければならない。

2 前項において「学校の管理機関」とは、国立学校にあつては設置者である国立大学法人の学長又は独立行政法人国立高等専門学校機構の理事長、公立学校のうち、大学及び幼保連携型認定こども園にあつては設置者である地方公共団体の長又は公立大学法人の理事長、大学及び幼保連携型認定こども園以外の公立学校にあつては設置者である地方公共団体に設置されている教育委員会又は公立大学法人の理事長をいう。

(学校施設利用の許可)

第45条 社会教育のために学校の施設を利用しようとする者は、当該学校の管理機関の許可を受けなければならない。

2 前項の規定により、学校の管理機関が学校施設の利用を許可しようとするときは、あらかじめ、学校の長の意見を聞かなければならない。

第46条 国又は地方公共団体が社会教育のために、学校の施設を利用しようとするときは、前条の規定にかかわらず、当該学校の管理機関と協議するものとする。

第47条 第四十五条の規定による学校施設の利用が一時的である場合には、学校の管理機関は、同条第一項の許可に関する権限を学校の長に委任することができる。

2 前項の権限の委任その他学校施設の利用に関し必要な事項は、学校の管理機関が定める。

(社会教育の講座)

第48条 文部科学大臣は国立学校に対し、地方公共団体の長は当該地方公共団体が設置する大学若しくは
幼保連携型認定こども園又は当該地方公共団体が設立する公立大学法人が設置する公立学校に対し、地方
公共団体に設置されている教育委員会は当該地方公共団体が設置する大学及び幼保連携型認定こども園
以外の公立学校に対し、その教育組織及び学校の施設の状況に応じ、文化講座、専門講座、夏期講座、社
会学級講座等学校施設の利用による社会教育のための講座の開設を求めることができる。

2 文化講座は、成人の一般的教養に関し、専門講座は、成人の専門的学術知識に関し、夏期講座は、夏期
休暇中、成人の一般的教養又は専門的学術知識に関し、それぞれ大学、高等専門学校又は高等学校におい
て開設する。

3 社会学級講座は、成人の一般的教養に関し、小学校、中学校又は義務教育学校において開設する。

4 第一項の規定する講座を担当する講師の報酬その他必要な経費は、予算の範囲内において、国又は地方
公共団体が負担する。

第七章 通信教育

(適用範囲)

第49条 学校教育法第五十四条、第七十条第一項、第八十二条及び第八十四条の規定により行うものを除
き、通信による教育に関しては、この章の定めるところによる。

(通信教育の定義)

第50条 この法律において「通信教育」とは、通信の方法により一定の教育計画の下に、教材、補助教材
等を受講者に送付し、これに基き、設問解答、添削指導、質疑応答等を行う教育をいう。

2 通信教育を行う者は、その計画実現のために、必要な指導者を置かなければならない。

(通信教育の認定)

第51条 文部科学大臣は、学校又は一般社団法人若しくは一般財団法人の行う通信教育で社会教育上奨励
すべきものについて、通信教育の認定（以下「認定」という。）を与えることができる。

2 認定を受けようとする者は、文部科学大臣の定めるところにより、文部科学大臣に申請しなければならない。

3 文部科学大臣が、第一項の規定により、認定を与えようとするときは、あらかじめ、第十三条の政令で
定める審議会等に諮問しなければならない。

(認定手数料)

第52条 文部科学大臣は、認定を申請する者から実費の範囲内において文部科学省令で定める額の手数料
を徴収することができる。ただし、国立学校又は公立学校が行う通信教育に関しては、この限りでない。

第53条 削除

(郵便料金の特別取扱)

第54条 認定を受けた通信教育に要する郵便料金については、郵便法（昭和二十二年法律第百六十五号）
の定めるところにより、特別の取扱を受けるものとする。

(通信教育の廃止)

第55条 認定を受けた通信教育を廃止しようとするとき、又はその条件を変更しようとするときは、文部
科学大臣の定めるところにより、その許可を受けなければならない。

2 前項の許可に関しては、第五十一条第三項の規定を準用する。

(報告及び措置)

第56条 文部科学大臣は、認定を受けた者に対し、必要な報告を求め、又は必要な措置を命ずることがで
きる。

(認定の取消)

第57条 認定を受けた者がこの法律若しくはこの法律に基く命令又はこれらに基いてした処分に違反したときは、文部科学大臣は、認定を取り消すことができる。

2 前項の認定の取消に関しては、第五十一条第三項の規定を準用する。

附則（略）

2 図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 令和元年6月7日

法律第26号

第1章 総則

(この法律の目的)

第1条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に
関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的
とする。

(定義)

第2条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一
般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方
公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館
又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団
法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第3条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及
び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければなら
ない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視
聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によつては認
識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、
一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにするこ
と。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は
図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機
会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第4条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

- 一 大学を卒業した者（専門職大学の前期課程を修了した者を含む。次号において同じ。）で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの
- 二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
- 三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの
 - イ 司書補の職
 - ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの
 - ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

- 一 司書の資格を有する者
 - 二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの
- (司書及び司書補の講習)

第6条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

(司書及び司書補の研修)

第7条 文部科学大臣及び都道府県教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

(設置及び運営上望ましい基準)

第7条の2 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

(運営の状況に関する評価等)

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第7条の4 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するように努めなければならない。

(協力の依頼)

第8条 都道府県教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長が図書館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（第十三条第一項において「特定地方公共団体」という。）

である市町村にあつては、その長又は教育委員会) に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

(公の出版物の収集)

第9条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第2章 公立図書館

(設置)

第10条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第11条及び第12条 削除

(職員)

第13条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた図書館（第十五条において「特定図書館」という。）にあつては、当該特定地方公共団体の長）が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

(図書館協議会)

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会（特定図書館に置く図書館協議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長）が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第17条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第18条及び第19条 削除

(図書館の補助)

第20条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第21条及び第22条 削除

第23条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第3章 私立図書館

第24条 削除

(都道府県の教育委員会との関係)

第25条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第26条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第27条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

(入館料等)

第28条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

(図書館同種施設)

第29条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

附則 (略)

3 図書館法施行令

昭和34年4月30日

政令第158号

内閣は、図書館法（昭和25年法律第118号）第20条第2項の規定に基づき図書館法施行令（昭和25年政令第293号）の全部を改正するこの政令を制定する。

図書館法第20条第1項に規定する図書館の施設、設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。

- 一 施設費 施設の建築に要する本工事費附帯工事費及び事務費
- 二 設備費 図書館に備え付ける図書館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費

附則（略）

4 図書館法施行規則

昭和25年9月6日

文部省令第27号

最終改正：平成23年12月1日

文部科学省令第43号

図書館法（昭和25年法律第118号）第6条第2項、第19条及び附則第10項の規定に基き、図書館法施行規則を次のように定める。

第1章 図書館に関する科目

第1条 図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第5条第1項第1号に規定する図書館に関する科目は、次の表に掲げるものとし、司書となる資格を得ようとする者は、甲群に掲げるすべての科目及び乙群に掲げる科目のうち2以上の科目について、それぞれ単位数の欄に掲げる単位を修得しなければならない。

群	科目	単位数	群	科目	単位数
甲群	生涯学習概論	2	乙群	図書館基礎特論	1
〃	図書館概論	2	〃	図書館サービス特論	1
〃	図書館制度・経営論	2	〃	図書館情報資源特論	1
〃	図書館情報技術論	2	〃	図書・図書館史	1
〃	図書館サービス概論	2	〃	図書館施設論	1
〃	情報サービス論	2	〃	図書館総合演習	1
〃	児童サービス論	2	〃	図書館実習	1
〃	情報サービス演習	2			
〃	図書館情報資源概論	2			
〃	情報資源組織論	2			
〃	情報資源組織演習	2			

2 前項の規定により修得すべき科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位は、これをもって、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

第2章 司書及び司書補の講習

（趣旨）

第2条 法第6条に規定する司書及び司書補の講習については、この章の定めるところによる。

（司書の講習の受講資格者）

第3条 司書の講習を受けることができる者は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- 1 大学に2年以上在学して、62単位以上を修得した者又は高等専門学校若しくは法附則第10項の規定により大学に含まれる学校を卒業したもの
- 2 法第5条第1項第3号イからハまでに掲げる職にあつた期間が通算して2年以上になる者

3 法附則第8項の規定に該当する者

4 その他文部科学大臣が前3号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者
(司書補の講習の受講資格者)

第4条 司書補の講習を受けることができる者は、学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者（法附則第10項の規定により大学に入学することのできる者に含まれる者を含む。）とする。

(司書の講習の科目の単位)

第5条 司書の講習において司書となる資格を得ようとする者は、次の表の甲群に掲げるすべての科目及び乙群に掲げる科目のうち2以上の科目について、それぞれ単位数の欄に掲げる単位を修得しなければならない。

群	科 目	単位数	群	科 目	単位数
甲群	生涯学習論	2	乙群	図書館基礎特論	1
〃	図書館概論	2	〃	図書館サービス特論	1
〃	図書館制度・経営論	2	〃	図書館情報資源特論	1
〃	図書館情報技術論	2	〃	図書・図書館史	1
〃	図書館サービス概論	2	〃	図書館施設論	1
〃	情報サービス論	2	〃	図書館総合演習	1
〃	児童サービス論	2	〃	図書館実習	1
〃	情報サービス演習	2			
〃	図書館情報資源概論	2			
〃	情報資源組織論	2			
〃	情報資源組織演習	2			

2 司書の講習を受ける者がすでに大学（法附則第10項の規定により大学に含まれる学校を含む。）において修得した科目の単位であつて、前項の科目の単位に相当するものとして文部科学大臣が認めたものは、これをもつて前項の規定により修得した科目の単位とみなす。

3 司書の講習を受ける者がすでに文部科学大臣が別に定める学修で第1項に規定する科目の履修に相当するものを修了していると文部科学大臣が認めた場合には、当該学修をもつてこれに相当する科目の単位を修得したものとみなす。

(司書補の講習の科目の単位)

第6条 司書補の講習において司書補となる資格を得ようとする者は、次の表に掲げるすべての科目について、それぞれ単位数の欄に掲げる単位を修得しなければならない。

科目	単位数	科目	単位数
生涯学習概論	1	図書館の資料	2
図書館の基礎	2	資料の整理	2
図書館サービスの基礎	2	資料の整理演習	1
レファレンスサービス	1	児童サービスの基礎	1
レファレンス資料の解題	1	図書館特講	1
情報検索サービス	1		

2 司書補の講習を受ける者がすでに大学（法附則第10項の規定により大学に含まれる学校を含む。）において修得した科目の単位であつて、前項の科目の単位に相当するものとして文部科学大臣が認めたものは、これをもつて前項の規定により修得した科目の単位とみなす。

3 司書補の講習を受ける者がすでに文部科学大臣が別に定める学修で第1項に規定する科目の履修に相当するものを修了していると文部科学大臣が認めた場合には、当該学修をもつてこれに相当する科目の単位を修得したものとみなす。

（単位の計算方法）

第7条 講習における単位の計算方法は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第21条第2項各号及び大学通信教育設置基準（昭和56年文部省令第33号）第5条第1項第3号に定める基準によるものとする。

（単位修得の認定）

第8条 単位習得の認定は、講習を行う大学が、試験、論文、報告書その他による成績審査に合格した受講者に対して行う。

（修了証書の授与）

第9条 講習を行う大学の長は、第5条又は第6条の規定により、司書の講習又は司書補の講習について、所定の単位を修得した者に対して、それぞれの修了証書を与えるものとする。

2 講習を行う大学の長は、前項の規定により修了証書を与えたときは、修了者の氏名等を文部科学大臣に報告しなければならない。

（講習の委嘱）

第10条 法第5条第1項第1号の規定により文部科学大臣が大学に講習を委嘱する場合には、その職員組織、施設及び設備の状況等を勘案し、講習を委嘱するのに適当と認められるものについて、講習の科目、期間その他必要な事項を指定して行うものとする。

（実施細目）

第11条 受講者の人数、選定の方法、講習を行う大学、講習の期間その他講習実施の細目については、毎年官報で公告する。ただし、特別の事情がある場合には、適宜な方法によつて公示するものとする。

第3章 図書館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準

第12条 法第16条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

第4章 準ずる学校

（大学に準ずる学校）

第13条 法附則第10項の規定による大学に準ずる学校は、次の各号に掲げるものとする。

- 1 大正7年旧文部省令第3号第2条第2号により指定した学校
- 2 その他文部科学大臣が大学と同等以上と認めた学校

（高等学校に準ずる学校）

第14条 法附則第10項の規定による中等学校、高等学校専修科又は青年学校本科に準ずる学校は、次の各号に掲げるものとする。

- 1 旧専門学校入学者検定規定（大正 12 年文部省令第 22 号）第 11 条の規定により指定した学校
- 2 大正 7 年旧文部省令第 3 号第 1 条第 5 号により指定した学校
- 3 その他文部科学大臣が高等学校と同等以上と認めた学校

附則（略）

5 子どもの読書活動の推進に関する法律

公布 平成13年12月12日

法律第154号

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則（略）

6 文字・活字文化振興法

平成17年7月29日

法律第91号

(目的)

第1条 この法律は、文字・活字文化が、人類が長い歴史の中で蓄積してきた知識及び知恵の継承及び向上、豊かな人間性の涵養並びに健全な民主主義の発達に欠くことのできないものであることにかんがみ、文字・活字文化の振興に関する基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、文字・活字文化の振興に関する必要な事項を定めることにより、我が国における文字・活字文化の振興に関する施策の総合的な推進を図り、もって知的で心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この法律において「文字・活字文化」とは、活字その他の文字を用いて表現されたもの（以下この条において「文章」という。）を読み、及び書くことを中心として行われる精神的な活動、出版活動その他の文章を人に提供するための活動並びに出版物その他のこれらの活動の文化的所産をいう。

(基本理念)

第3条 文字・活字文化の振興に関する施策の推進は、すべての国民が、その自主性を尊重されつつ、生涯にわたり、地域、学校、家庭その他の様々な場において、居住する地域、身体的な条件その他の要因にかかわらず、等しく豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できる環境を整備することを旨として、行われなければならない。

2 文字・活字文化の振興に当たっては、国語が日本文化の基盤であることに十分配慮されなければならない。

3 学校教育においては、すべての国民が文字・活字文化の恵沢を享受することができるようにするため、その教育の課程の全体を通じて、読む力及び書く力並びにこれらの力を基礎とする言語に関する能力（以下「言語力」という。）の涵養に十分配慮されなければならない。

(国の責務)

第4条 国は、前条の基本理念（次条において「基本理念」という。）にのっとり、文字・活字文化の振興に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第5条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、文字・活字文化の振興に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(関係機関等との連携強化)

第6条 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策が円滑に実施されるよう、図書館、教育機関その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(地域における文字・活字文化の振興)

第7条 市町村は、図書館奉仕に対する住民の需要に適切に対応できるようにするため、必要な数の公立図書館を設置し、及び適切に配置するよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、公立図書館が住民に対して適切な図書館奉仕を提供することができるよう、司書の充実等の人的体制の整備、図書館資料の充実、情報化の推進等の物的条件の整備その他の公立図書館の運営の改善及び向上のために必要な施策を講ずるものとする。

3 国及び地方公共団体は、大学その他の教育機関が行う図書館の一般公衆への開放、文字・活字文化に係る公開講座の開設その他の地域における文字・活字文化の振興に貢献する活動を促進するため、必要な施策を講ずるよう努めるものとする。

4 前3項に定めるもののほか、国及び地方公共団体は、地域における文字・活字文化の振興を図るため、文字・活字文化の振興に資する活動を行う民間団体の支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

(学校教育における言語力の涵養)

第8条 国及び地方公共団体は、学校教育において言語力の涵養が十分に図られるよう、効果的な手法の普及その他の教育方法の改善のために必要な施策を講ずるとともに、教育職員の養成及び研修の内容の充実その他のその資質の向上のために必要な施策を講ずるものとする。

2 国及び地方公共団体は、学校教育における言語力の涵養に資する環境の整備充実を図るため、司書教諭及び学校図書館に関する業務を担当するその他の職員の充実等の人的体制の整備、学校図書館の図書館資料の充実及び情報化の推進等の物的条件の整備等に関し必要な施策を講ずるものとする。

(文字・活字文化の国際交流)

第9条 国は、できる限り多様な国の文字・活字文化が国民に提供されるようにするとともに我が国の文字・活字文化の海外への発信を促進するため、我が国においてその文化が広く知られていない外国の出版物の日本語への翻訳の支援、日本語の出版物の外国語への翻訳の支援その他の文字・活字文化の国際交流を促進するために必要な施策を講ずるものとする。

(学術的出版物の普及)

第10条 国は、学術的出版物の普及が一般に困難であることにかんがみ、学術研究の成果についての出版の支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

(文字・活字文化の日)

第11条 国民の間に広く文字・活字文化についての関心と理解を深めるようにするため、文字・活字文化の日を設ける。

2 文字・活字文化の日は、10月27日とする。

3 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の日には、その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めるものとする。

(財政上の措置等)

第12条 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則 (略)

7 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律

公布 令和元年6月28日
法律第49号

第1章 総則

(目的)

第1条 この法律は、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務を明らかにするとともに、基本計画の策定その他の視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策の基本となる事項を定めること等により、視覚障害者等の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進し、もって障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化（文字・活字文化振興法（平成十七年法律第九十一号）第二条に規定する文字・活字文化をいう。）の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この法律において「視覚障害者等」とは、視覚障害、発達障害、肢体不自由その他の障害により、書籍（雑誌、新聞その他の刊行物を含む。以下同じ。）について、視覚による表現の認識が困難な者をいう。

2 この法律において「視覚障害者等が利用しやすい書籍」とは、点字図書、拡大図書その他の視覚障害者等がその内容を容易に認識することができる書籍をいう。

3 この法律において「視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等」とは、電子書籍その他の書籍に相当する文字、音声、点字等の電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録をいう。第十一条第二項及び第十二条第二項において同じ。）であって、電子計算機等を利用して視覚障害者等がその内容を容易に認識することができるものをいう。

(基本理念)

第3条 視覚障害者等の読書環境の整備の推進は、次に掲げる事項を旨として行われなければならない。

- 一 視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等が視覚障害者等の読書に係る利便性の向上に著しく資する特性を有することに鑑み、情報通信その他の分野における先端的な技術等を活用して視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等の普及が図られるとともに、視覚障害者等の需要を踏まえ、引き続き、視覚障害者等が利用しやすい書籍が提供されること。
- 二 視覚障害者等が利用しやすい書籍及び視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等（以下「視覚障害者等が利用しやすい書籍等」という。）の量的拡充及び質の向上が図られること。
- 三 視覚障害者等の障害の種類及び程度に応じた配慮がなされること。

(国の責務)

第4条 国は、前条の基本理念にのっとり、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第5条 地方公共団体は、第三条の基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(財政上の措置等)

第6条 政府は、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講じなければならない。

第2章 基本計画等

(基本計画)

第7条 文部科学大臣及び厚生労働大臣は、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画（以下この章において「基本計画」という。）を定めなければならない。

2 基本計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

- 一 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策についての基本的な方針
- 二 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関し政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策
- 三 前二号に掲げるもののほか、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

3 文部科学大臣及び厚生労働大臣は、基本計画を策定しようとするときは、あらかじめ、経済産業大臣、総務大臣その他の関係行政機関の長に協議しなければならない。

4 文部科学大臣及び厚生労働大臣は、基本計画を策定しようとするときは、あらかじめ、視覚障害者等その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

5 文部科学大臣及び厚生労働大臣は、基本計画を策定したときは、遅滞なく、これをインターネットの利用その他適切な方法により公表しなければならない。

6 前三項の規定は、基本計画の変更について準用する。

(地方公共団体の計画)

第8条 地方公共団体は、基本計画を勘案して、当該地方公共団体における視覚障害者等の読書環境の整備の状況等を踏まえ、当該地方公共団体における視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画を定めるよう努めなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を定めようとするときは、あらかじめ、視覚障害者等その他の関係者の見を反映させるために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

3 地方公共団体は、第一項の計画を定めたときは、遅滞なく、これを公表するよう努めなければならない。

4 前二項の規定は、第一項の計画の変更について準用する。

第3章 基本的施策

(視覚障害者等による図書館の利用に係る体制の整備等)

第9条 国及び地方公共団体は、公立図書館、大学及び高等専門学校の附属図書館並びに学校図書館（以下「公立図書館等」という。）並びに国立国会図書館について、各々の果たすべき役割に応じ、点字図書館とも連携して、視覚障害者等が利用しやすい書籍等の充実、視覚障害者等が利用しやすい書籍等の円滑な利用のための支援の充実その他の視覚障害者等によるこれらの図書館の利用に係る体制の整備が行われるよう、必要な施策を講ずるものとする。

2 国及び地方公共団体は、点字図書館について、視覚障害者等が利用しやすい書籍等の充実、公立図書館等に対する視覚障害者等が利用しやすい書籍等の利用に関する情報提供その他の視覚障害者等が利用しやすい書籍等を視覚障害者が十分かつ円滑に利用することができるようにするための取組の促進に必要な施策を講ずるものとする。

(インターネットを利用したサービスの提供体制の強化)

第10条 国及び地方公共団体は、視覚障害者等がインターネットを利用して全国各地に存する視覚障害者等が利用しやすい書籍等を十分かつ円滑に利用することができるようにするため、次に掲げる施策その他の必要な施策を講ずるものとする。

一 点字図書館等から著作権法（昭和四十五年法律第四十八号）第三十七条第二項又は第三項本文の規定により製作される視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等（以下「特定電子書籍等」という。）であってインターネットにより送信することができるもの及び当該点字図書館等の有する視覚障害者等が利用しやすい書籍等に関する情報の提供を受け、これらをインターネットにより視覚障害者等に提供する全国的なネットワークの運営に対する支援二 視覚障害者等が利用しやすい書籍等に係るインターネットを利用したサービスの提供についての国立国会図書館、前号のネットワークを運営する者、公立図書館等、点字図書館及び特定電子書籍等の製作を行う者の間の連携の強化（特定書籍及び特定電子書籍等の製作の支援）

第11条 国及び地方公共団体は、著作権法第三十七条第一項又は第三項本文の規定により製作される視覚障害者等が利用しやすい書籍（以下「特定書籍」という。）及び特定電子書籍等の製作を支援するため、製作に係る基準の作成等のこれらの質の向上を図るための取組に対する支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

2 国は、特定書籍及び特定電子書籍等の効率的な製作を促進するため、出版を行う者（次条及び第十八条において「出版者」という。）からの特定書籍又は特定電子書籍等の製作を行う者に対する書籍に係る電磁的記録の提供を促進するための環境の整備に必要な支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

（視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等の販売等の促進等）

第12条 国は、視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等の販売等が促進されるよう、技術の進歩を適切に反映した規格等の普及の促進、著作権者と出版者との契約に関する情報提供その他の必要な施策を講ずるものとする。

2 国は、書籍を購入した視覚障害者等からの求めに応じて出版者が当該書籍に係る電磁的記録の提供を行うことその他の出版者からの視覚障害者等に対する書籍に係る電磁的記録の提供を促進するため、その環境の整備に関する関係者間における検討に対する支援その他の必要な施策を講ずるものとする。

（外国からの視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等の入手のための環境の整備）

第13条 国は、視覚障害者等が、盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約の枠組みに基づき、視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等であってインターネットにより送信することができるものを外国から十分かつ円滑に入手することができるよう、その入手に関する相談体制の整備その他のその入手のための環境の整備について必要な施策を講ずるものとする。

（端末機器等及びこれに関する情報の入手の支援）

第14条 国及び地方公共団体は、視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等を利用するための端末機器等及びこれに関する情報を視覚障害者等が入手することを支援するため、必要な施策を講ずるものとする。

（情報通信技術の習得支援）

第15条 国及び地方公共団体は、視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等を利用するに当たって必要となる情報通信技術を視覚障害者等が習得することを支援するため、講習会及び巡回指導の実施の推進その他の必要な施策を講ずるものとする。

（研究開発の推進等）

第16条 国は、視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等及びこれを利用するための端末機器等について、視覚障害者等の利便性の一層の向上を図るため、これらに係る先端的な技術等に関する研究開発の推進及びその成果の普及に必要な施策を講ずるものとする。

（人材の育成等）

第17条 国及び地方公共団体は、特定書籍及び特定電子書籍等の製作並びに公立図書館等、国立国会図書館及び点字図書館における視覚障害者等が利用しやすい書籍等の円滑な利用のための支援に係る人材の育成、資質の向上及び確保を図るため、研修の実施の推進、広報活動の充実その他の必要な施策を講ずるものとする。

第4章 協議の場等

第18条 国は、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策の効果的な推進を図るため、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、総務省その他の関係行政機関の職員、国立国会図書館、公立図書館等、点字図書館、第十条第一号のネットワークを運営する者、特定書籍又は特定電子書籍等の製作を行う者、出版者、視覚障害者等その他の関係者による協議の場を設けることその他関係者の連携協力に関し必要な措置を講ずるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

8 図書館の自由に関する宣言

日本図書館協会

1954年 採択

1979年 改訂

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

第1 図書館は資料収集の自由を有する。

第2 図書館は資料提供の自由を有する。

第3 図書館は利用者の秘密を守る。

第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る

(1979年5月30日 総会決議)

9 図書館員の倫理綱領

日本図書館協会
1980年 採択

この倫理綱領は、「図書館の自由に関する宣言」によって示された図書館の社会的責任を自覚し、自らの職責を遂行していくための図書館員としての自律的規範である。

(図書館員の基本的態度)

第1 図書館員は、社会の期待と利用者の要求を基本的なよりどころとして職務を遂行する。

(利用者に対する責任)

第2 図書館員は利用者を差別しない。

第3 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。

(資料に関する責任)

第4 図書館員は図書館の自由を守り、資料の収集、保存および提供につとめる。

第5 図書館員は常に資料を知ることにつとめる。

(研修につとめる責任)

第6 図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。

(組織体の一員として)

第7 図書館員は、自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する。

第8 図書館員は、相互の協力を密にして、集団としての専門的能力の向上につとめる。

第9 図書館員は、図書館奉仕のため適正な労働条件の確保につとめる。

(図書館間の協力)

第10 図書館員は図書館間の理解と協力につとめる。

(文化の創造への寄与)

第11 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。

第12 図書館員は、読者の立場に立って出版文化の発展に寄与するようつとめる。

(1980年6月4日 総会決議)

10 柏市立図書館条例

昭和29年9月16日

条例第12号

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定により、図書館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
柏市立図書館	柏市柏五丁目8番12号

2 図書館に次の分館を置く。

名 称	位 置
柏市立図書館 豊四季台分館	柏市豊四季台一丁目1番111号
柏市立図書館 田 中 分 館	柏市大室249番地の1
柏市立図書館 西 原 分 館	柏市西原三丁目2番48号
柏市立図書館 南 部 分 館	柏市新逆井二丁目5番13号
柏市立図書館 布 施 分 館	柏市布施1196番地の5
柏市立図書館 永 楽 台 分 館	柏市永楽台二丁目11番25号
柏市立図書館 増 尾 分 館	柏市増尾三丁目1番1号
柏市立図書館 光ヶ丘分館	柏市光ヶ丘団地200番5号
柏市立図書館 新 富 分 館	柏市豊四季945番地の1
柏市立図書館 高 田 分 館	柏市高田693番地の2
柏市立図書館 根 戸 分 館	柏市根戸467番地
柏市立図書館 新田原分館	柏市東柏二丁目2番15号
柏市立図書館 松 葉 分 館	柏市松葉町四丁目11番地
柏市立図書館 藤 心 分 館	柏市藤心四丁目1番11号
柏市立図書館 沼 南 分 館	柏市大島田440番地1
柏市立図書館 高 柳 分 館	柏市高柳1,652番地10
柏市立図書館 こども図書館	柏市大島田48番地1

(職員)

第3条 図書館に館長、司書、司書補その他必要な職員を置く。

(図書館協議会)

第4条 図書館法第14条第1項の規定により、図書館に図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は15人以内とし、協議会の委員の任命の基準は次に掲げる者の中から任命することとする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者

- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

3 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

4 前3項に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、規則で定める。

(委任)

第5条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則抄

附則（平成24年条例第9号）

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に図書館協議会の委員に任命されている者は、改正後の第4条第2項の基準により図書館協議会の委員に任命された者とみなし、その任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成25年5月31日までとする。

1 1 柏市立図書館条例施行規則

昭和57年11月20日

(教)規則第14号

(趣旨)

第1条 この規則は、柏市立図書館条例（昭和29年柏市条例第12号。以下「条例」という。）の施行に
関し必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第2条 柏市立図書館（以下「図書館」という。）は、図書館法（昭和25年法律第118号）第3条に規
定する業務を行う。

(開館時間)

第3条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更
することができる。

区 分	開 館 時 間
図書館	午前9時30分から午後5時まで。ただし、水曜日、木曜日又は金曜日であって国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たらない日は、午前9時30分から午後7時まで
図書館分館（沼南分館、高柳分館及びこども図書館を除く。）	午前10時から午後5時まで
図書館分館（沼南分館、高柳分館及びこども図書館に限る。）	午前9時30分から午後5時まで

(休館日)

第4条 図書館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、
又は臨時に休館することができる。

区 分	休 館 日
図書館及び図書館分館（豊四季台分館及びこども図書館に限る。）	1 月曜日(月曜日が休日に当たるときを除く。)
	2 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで
	3 特別整理期間(年間14日以内で教育委員会が別に定める日をいう。以下同じ。)
図書館分館（豊四季台分館及びこども図書館を除く。）	1 月曜日(月曜日が休日に当たるときは、第3月曜日に限る。)
	2 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで
	3 特別整理期間

(図書館資料の紛失等の届出及び賠償)

第5条 図書館を利用する者(以下「利用者」という。)は、図書及び視聴覚資料(以下「図書館資料」という。)を紛失し、汚損し、又は破損したときは、図書館資料紛失等届を教育委員会に提出するとともに、当該紛失し、汚損し、又は破損した図書館資料と同種の物(同種の物によることができない場合にあつては、当該図書館資料に相当する物又は相当の代価)により賠償しなければならない。

(館内利用)

第6条 利用者は、係員の指示に従うとともに、所定の場所において利用しなければならない。

(個人貸出し)

第7条 図書館資料の個人貸出し(第11条に規定する団体貸出し以外のものをいう。)を受けようとする者は、教育委員会に利用者登録申込書を提出するとともに、本人であることを証明する書類を提示し、利用カードの交付を受けなければならない。

2 利用カードは、市内に居住し、通勤し、又は通学している者に対して交付する。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(利用カードの失効等)

第8条 利用カードは、交付の日以降利用しない日が引き続き3年に達したときは、その日限り失効するものとする。

2 利用カードの交付を受けた者は、利用者登録申込書の記載事項に変更があつたとき又は利用カードを紛失し、若しくは破損したときは、速やかにその旨を教育委員会に届け出なければならない。

3 利用カードの交付を受けた者は、利用カードを他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

(貸出冊数及び期間)

第9条 図書の貸出しは1人につき10冊以内とし、視聴覚資料の貸出しは1人につき2点以内とする。

2 図書館資料の貸出期間は、2週間とする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

3 教育委員会は、図書館資料の貸出しを受けた者から当該図書館資料の貸出期間の末日までに貸出期間の延長の申出があつた場合で、当該図書館資料について他に貸出しを希望している者がいないときは、当該申出のあつた日から2週間を限度として貸出期間を延長することができる。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

4 第1項及び前項の規定にかかわらず、教育委員会は、第2項に規定する貸出期間(前項の規定による貸出期間の延長をした場合は、当該延長後の貸出期間)の末日後相当の期間を経過しても図書館資料を返却しない者に対しては、当該図書館資料を返却するまでは、新たな図書館資料の貸出し及び貸出期間の延長を行わないことができる。

(貸出しの制限)

第10条 教育委員会は、館外への貸出しを行わない図書館資料を指定することができる。

2 前項に規定する図書館資料の貸出しを希望する者は、教育委員会に特別貸出申込書を提出し、承諾を受けなければならない。

(団体貸出し)

第11条 教育委員会は、市内の官公署、学校、社会教育関係団体その他の団体に対する貸出し(以下「団体貸出し」という。)をすることができる。

2 団体貸出しを利用しようとする者は、教育委員会に団体貸出利用申込書を提出し、承諾を受けなければならない。

3 団体貸出しの貸出冊数は1団体につき200冊以内とし、その貸出期間は1か月とする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(宅配等による貸出し)

第12条 教育委員会は、身体障害、ねたきりの状態その他の理由で来館できない者に対し、図書館資料を宅配又は郵送により貸し出すことができる。

(寄贈の手続)

第13条 図書館は、図書館資料の寄贈を受け、一般の利用に供することができる。

2 図書館資料を寄贈しようとする者は、教育委員会に寄贈申込書を提出し、承諾を得なければならない。

(図書館協議会)

第14条 条例第4条に規定する図書館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第15条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の定数の半数以上の委員が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(庶務)

第16条 協議会の庶務は、図書館において処理する。

(委任)

第17条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附則抄

附則（平成27年教育委員会規則第13号）

(施行期日)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

1 2 柏市立図書館資料等複製物提供要領

制定 平成24年6月1日

施行 平成24年6月1日

1 趣旨

この要領は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条第1号の規定により市立図書館が行う図書館資料の複製物（以下「複製物」という。）の提供に関し必要な事項を定めるものとする。

2 複製

この要領において複製できるものは、次に掲げるものとする。

- (1) 著作権法第31条第1項に規定する図書館資料
- (2) 著作権法第2条第1項第10号の3に規定するデータベース
- (3) 「図書館間協力における現物貸借で借り受けた図書の複製に関するガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）で位置づけたもの。
- (4) 国立国会図書館及びガイドラインに準拠しない図書館等の複製については、該当館の規定による。

3 複製作業

複製にあたっては、著作権法第31条に基づき、職員が作業または監督にあたる。

4 申込書の提出

複製物の提供を受けようとする者は、申込書を教育委員会に提出するものとする。

5 実費徴収

複製物の提供に当たっては、1枚（A3判、B4判、A4判及びB5判）につき白黒10円、カラー40円の実費を徴収する。

6 補則

この要領に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附則

この要領は、平成25年12月1日から施行する。

1 3 柏市身体障害者等資料貸出要領

制定 平成26年11月1日

施行 平成26年11月1日

1 趣旨

この要領は、柏市立図書館条例施行規則（昭和57年柏市教育委員会規則第14号。以下「規則」という。）第12条の規定による身体障害、ねたきりの状態その他の理由で来館できない者に対する図書及び視聴覚資料（以下「図書館資料」という。）の貸出しに関し必要な事項を定めるものとする。

2 対象者

規則第12条の規定による図書館資料の貸出しを受けることができる者は、本市に居住している者で次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 重度身体障害者（公職選挙法（昭和25年法律第100号）に基づく郵便の在宅投票が認められる程度の障害を有する者をいう。）
- (2) ねたきりの状態が続いており、介添えがなければ日常生活に著しく困難を来す者
- (3) 教育委員会が特に必要と認める者

3 利用者の登録

図書館資料の貸出しを受けようとする者は、教育委員会に次に掲げる事項を届け出て、その登録を受けなければならない。

- (1) 住所
- (2) 氏名
- (3) 生年月日
- (4) 電話番号
- (5) その他必要な事項

4 利用の申込

前項の規定による登録を受けた者は、図書館資料の貸出しを受けようとするときは、電話、ファクシミリ又は郵便等により申し込まなければならない。

5 経費の負担

図書館資料の貸出し及び返却に要する経費は柏市立図書館において負担する。

6 貸出冊数及び期間

図書館資料の貸出しは、1人につき図書は10冊以内、視聴覚資料ごとにそれぞれ3点以内とし、貸出期間は1か月以内とする。

7 補則

この要領に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附則

この要領は、平成26年11月1日から施行する。

1 4 図書館資料選定会議設置要領

制定 平成20年9月10日

施行 平成20年9月10日

1 目的

この要領は、柏市立図書館における図書館資料の選定業務の円滑化を図るため、図書館資料選定会議（以下「選定会議」という。）の設置に関し必要な事項を定めるものとする。

2 選定会議

(1) 選定会議は、図書館サービス担当リーダーを長とし、一般図書、児童図書の各担当で図書館長が指名した職員により開催する。

(2) 選定会議の開催日を一般図書担当は毎週水曜日、児童図書担当は毎月第2・4木曜日とする。

3 選定資料

選定会議で行う図書館資料の内容は、次のとおりとする。

(1) 一般図書担当

- ・一般図書全般
- ・障がい者用資料
- ・参考図書
- ・郷土・行政資料
- ・逐次刊行物（新聞及び雑誌）
- ・視聴覚資料

(2) 児童図書担当

- ・児童図書全般
- ・参考図書
- ・郷土・行政資料
- ・逐次刊行物（雑誌）
- ・視聴覚資料

4 選定方針

図書館資料の選定方針は、別に定める「柏市立図書館資料収集方針」に基づき行うものとする。

5 資料の購入

図書館資料の購入は、選定会議で選定し、館長がこれを決定する。

6 補則

この要領に定めるもののほか、選定会議の運営に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附則

この要領は、平成20年9月10日より施行する。

附則

この要領は、平成25年4月1日より施行する。

1 5 柏市立図書館団体貸出取扱要領

制定 平成28年 4月 1日

施行 平成28年 4月 1日

1 趣旨

この要領は、柏市立図書館条例施行規則第11条の規定による団体貸出し（以下「団体貸出し」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

2 対象

団体貸出しは、市内の官公署、学校、社会教育団体、その他の団体を対象とする。

3 利用カードの交付等

(1) 団体貸出しを利用しようとする者は、教育委員会に団体貸出利用申込書を提出し、承諾を得て、利用カードの交付を受けることができる。

(2) 団体の代表者が交替又は申込内容に変更が生じた場合は、団体貸出利用変更届を提出するものとする。

4 図書の貸出

(1) 利用する団体が図書の貸出しを受ける場合は、事前に団体貸出利用申請書を提出するものとする。

(2) 図書の貸出しは、原則として、土曜日、日曜日、祝日及び休館日を除く日とする。

5 貸出冊数及び期間

団体貸出しの貸出冊数は、1団体につき200冊以内（視聴覚資料は除く）とし、利用期間は1か月以内とする。ただし、教育委員会が認めたときはこの限りではない。

6 図書の管理等

(1) 団体貸出しを受ける者は、教育委員会の指示に従い、代表者は、図書の保管及び運用についてその責任を負うものとする。

(2) 図書の運搬は、登録団体が行い、運搬に要する箱等は、団体が用意することとする。

7 補則

この要領に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から施行する。

1 6 柏市立図書館寄贈資料に関する取扱い基準

制定 平成26年7月1日

施行 平成26年7月1日

1 趣旨

この基準は、柏市立図書館に寄贈申出があった資料の取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

2 取扱い方針

取扱いに際しては、次に規定する項目に基づき行うものとする。

- (1) 受領の際には、柏市立図書館資料収集方針（以下「収集方針」という。）に準拠したもののみを受領する。
- (2) 受領の際には、受領後の処理判断を館長に一任することを寄贈申出者が了承したうえで受領する。

3 受領することができる資料

- (1) 「収集方針」に準拠し、原則として出版後、5年以内のものを受領する。
- (2) 郷土に関する図書・古文書・パンフレット類・雑誌等は、出版年に関わらず受領することを原則とする。
- (3) その他、館長が必要と認める資料

4 受領しない資料

「収集方針」に準拠するものであっても、次の資料は受領しない。

- (1) 政治・宗教の布教及び特定の企業の営業等を目的とした内容の資料
- (2) 既に蔵書として登録してあるものと同一資料で、複本として受領する必要性を持たない資料
- (3) 新聞・雑誌・パンフレット等で資料的価値を持たない資料
- (4) 汚損、毀損又は書き込みのある資料
- (5) 時間の経過により内容が古くなり、資料的価値の無くなった資料
- (6) 視聴覚資料及び視聴覚資料が附属資料として附いている資料。

ただし、地域資料として収集・保存する価値のあるもの及び官公庁が刊行する公共的価値のあるものは除く。

- (7) その他、館長が必要と認めない資料

5 受領の条件

次に掲げる項目を条件として受領する。

- (1) 2 (2) の条件が了承できない場合には、受領しないで返却する。
- (2) 図書館に予告なく郵送等により寄贈された場合には、寄贈の意思が確認できる書類等があるか、または取扱いの条件がないか確認し受領する。
- (3) 寄贈資料の取扱い上の条件（蔵書としない場合は寄贈しない等）がある場合には、受領しないで返却する。

6 受領の手続き

「図書館資料等寄贈申込書」に記入のうえ資料とともに提出されたものを受領する。ただし、大量に資

料がある場合には、事前にリストの提出を求めることができる。

7 受領後の取扱い

- (1) 受領した寄贈資料は、「収集方針」「柏市立図書館資料除籍基準」に照らし合わせ、選定会議で蔵書とするものを選択し、館長の決裁により決定する。
- (2) 蔵書とする資料について、必要のあるものは寄贈礼状を送付する。
- (3) 蔵書とする資料は、資料コード、分類ラベル等を貼付し、寄贈受入登録をする。
- (4) 蔵書としない資料は、リサイクル資料または廃棄処分とする。
- (5) 「図書館資料等寄贈申込書」及び寄贈資料の添付文書は別に5ヶ年保存する。

附則

この基準は、平成26年7月1日から施行する。

1 7 柏市立図書館貸出停止基準

制定 平成26年10月1日

施行 平成26年10月1日

1 趣旨

この基準は、柏市立図書館条例施行規則（昭和57年柏市教育委員会規則第14号。以下「規則」という。）第9条第4項に規定する図書館資料の貸出停止について、必要な事項を定めるものとする。

2 貸出停止の対象者

柏市教育委員会（以下教育委員会という）は、柏市立図書館（以下「図書館」という。）利用者のうち、図書館資料を貸出期間の末日から4週間経過しても返却しない利用者に対し、貸出しを停止することができる。

3 貸出停止の例外

教育委員会が、貸出停止の対象外とすることに相当の理由があると認めた場合は、貸出しの停止を行わないものとする。

4 貸出停止の解除

次の各号のいずれかに該当したときは、教育委員会は貸出停止を解除するものとする。

- （1）貸出停止を受けることになった資料を賠償したとき。
- （2）その他、教育委員会が貸出停止を解除することを適当と認めたとき。

5 督促

教育委員会は貸出期間を過ぎても返却しない利用者及び図書館資料を亡失又は毀損し、賠償する旨の届出をしたにもかかわらず、賠償をしない利用者に対し、資料の返却及び賠償を求めるために督促を行なう。

6 補則

この基準に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附則

この基準は、平成26年10月1日から施行する。

1 8 柏市立図書館利用者用インターネットパソコン利用規約

制定 平成20年10月1日

施行 平成20年10月1日

1 趣旨

この規約は、柏市立図書館（以下「図書館」という。）が利用者用に設置するインターネットパソコン（以下「パソコン」という。）の利用に関し必要な事項を定める。

2 目的

端末は、出版・流通情報及びインターネット上にある各種データベースのうち調査研究に資する情報にアクセスできる環境を利用者に提供することにより、学習支援をすることを目的とする。

3 利用の範囲

利用の範囲は次のとおりとする。

- (1) 柏市ホームページの閲覧（柏市が開設する全てのサイトを含む。）
- (2) 図書館の蔵書検索
- (3) 図書館が選定した情報サイトの閲覧
- (4) その他調査研究のために必要なホームページの閲覧
- (5) 図書館所蔵の視聴覚資料の視聴

4 利用者

利用者は、図書館の利用カードの交付を受けた小学生以上の者とする。

5 利用時間

パソコンの利用時間は、図書館の開館時間内において利用者一人につき1回当たり30分以内とする。ただし、次の利用者が待機していない場合は、利用時間を30分を限度として延長することができる。

6 利用手続

パソコンを利用しようとする者は、利用しようとする日に、受付カウンターに利用カードを提示して申し出なければならない。

7 職員の補助

図書館の職員は、必要に応じて、パソコンの利用者に対し、操作方法の説明その他必要な補助をするものとする。ただし、当該利用者の依頼を受け、情報を検索することはしない。

8 利用料

パソコンの利用に係る費用は、無料とする。

9 利用制限

利用者は、パソコンの利用に際して次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) E-MAILの送受信、掲示板等への書き込み、ショッピング、ゲームなど、閲覧以外の行為
- (2) 画面のプリントアウト
- (3) 3項の(5)に挙げたものを除く映像資料、録音資料の視聴
- (4) 画像やソフトウェア等のダウンロード
- (5) 外部記憶メディアの接続
- (6) カメラによる画面の複写

(7) 有料サイトや公序良俗に反すると判断されるホームページへの接続

(8) 図書館のパソコンへのデータ保存，設定の変更等ハードディスクへの書き込み行為

1 0 利用者の責任

利用者が不正な操作等により，機器やデータ等に損害を与えた場合には，利用者はその責任を負うものとする。

1 1 利用の中止

図書館長は，利用者がこの規約に違反した場合には，利用を中止させることができる。

1 2 その他

この規約に定めるもののほか，パソコンの利用について必要な事項は，図書館長が別に定める。

附則

この規約は，平成20年10月1日から施行する。

附則

この規約は，平成25年11月1日から施行する。

附則

この規約は，平成27年6月1日から施行する。

1 9 柏市立図書館資料収集方針

制定 平成20年10月16日

施行 平成20年10月16日

1 資料収集方針の設定にあたって

(1) 図書館とは何か

蔵書構成を考えるにあたり、「図書館とは何か」という事柄を図書館職員が常に意識し、市民の前に明らかにしていくことが必要である。今までに以下のような位置付けがなされていることを確認したい。

① 「社会教育法」第9条

図書館及び博物館は、社会教育のための機関とする。

② 「図書館法」第2条

この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、(以下省略)

③ 「新しい時代に向けての公共図書館の在り方について」(中間報告)

ア 図書館は、市民生活のあらゆる面に関わる資料を収集し、生涯学習を支援する上できわめて大きな責務を負っている。生涯学習のための機関としての色彩をいっそう強く打ち出すべきである。

イ 一般書、専門書、地域資料、視聴覚資料など多種多様な資料の充実をめざす。図書館は地域社会の情報拠点・学習拠点である。

ウ 多様な学習機会を提供することが必要である。読書普及とりわけ児童に対するサービスは重要である。学校との連携により充実した学習機会の提供が望まれている。

(2) 日本の図書館の軌跡

蔵書構成を考える上で、今まで日本の公共図書館が辿ってきた流れを確認することも重要である。

① 発展期

戦後日本の図書館活動は、新憲法に端を発し、昭和24年の社会教育法の施行、昭和25年の図書館法の施行に始まるが、それからしばらくは、図書館の存在は広く市民生活に取り入れられることなく、一部研究者の利用や学生の勉強部屋代わりに利用されるに留まっていた。

昭和40年代に入り、東京都日野市が、「買い物カゴを下げて図書館へ」「ポストの数ほど図書館を」「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」というスローガンを掲げてまず移動図書館からサービスを始め、ほとんど全ての図書を開架とし、自習席を一掃して、現在は当たり前となっている「貸し出し中心」の図書館活動を開始した。この動きは高度経済成長とあいまって全国へと広まっていった。

図書館は市民のためのものであり、市民の求める資料を提供していくといったそれまでの「図書館は市民を教育するための施設である。」という考え方から、「市民の要求が蔵書をつくる」という考え方へ大転換が図られ、市民の支持を勝ち取っていった。

日野市のこの活動がなければ、今日の日本の図書館界は存在しえなかったと思われるほど全国に大きな影響を与え、中小公共図書館の発展こそ図書館活動の基盤となるとした『中小都市における

公共図書館の運営』（※注1）とその理念を具体化した当時の日野市立図書館長前川恒雄氏らの『市民の図書館』（※注2）は、図書館員のバイブルとされてきた。

この流れは柏市にも波及し、昭和46年に日野市を手本に移動図書館をスタートさせている。

② 転換期

産業の空洞化、景気の低迷、リストラ、失業率の増加・・・バブル崩壊後続いている不況の中で、図書館界も資料費削減、民間委託など厳しい状況にさらされる一方、図書館によるベストセラーの大量購入が出版不況の原因の一つではないかと問題視された。また、電子図書館の登場や、ビジネス支援を標榜する図書館が注目されるなど、社会の中での図書館に対する役割・評価が高まるにつれて、図書館界に大きな変化の兆しが現れている。

日野市から始まった貸し出しを中心とした図書館運営を基盤に、平成18年3月に『これからの図書館像』（※注3）で提言されたように、地域情報やビジネス情報の拠点としての図書館等、新しい図書館の在り方が模索され、変革を求められている。

※注1 『中小都市における公共図書館の運営』（通称「中小レポート」）

日本図書館協会 1963年

※注2 『市民の図書館』 日本図書館協会 1970年

※注3 『これからの図書館像』 文部科学省 2006年

(3) 柏市立図書館の蔵書構成を考える

① 基本的考え方

図書館の蔵書構成は館種によって異なり、どのような資料を収集するかは、その館の目的、性格等によって収書方針が決まり、収集計画が立てられ、それに基づいて収書が行われる。

公共図書館においては、基本図書（一般成人向け図書・児童書）、参考図書及び地域住民の要求度に応じて実用書・専門書等を網羅的に収集すべきであり、地域の行政資料・郷土資料も収集する必要がある。また、蔵書構成を考える場合、資料の種類(図書とその他の資料の比率)、一般向け図書と専門書のバランス、その図書館で重点収集したい資料などを考えなければならない。

以上のような原則を踏まえ、長期的展望に立った図書館計画のもとに、現実的には財政状況・収容スペースを考慮して収集方針及び年次的な収集計画が決定される。その決定に際しては、県立図書館や県内のほかの図書館との相互利用・分担収集も考慮されなければならない。

② 求められる資料と必要な資料

図書館の蔵書は、基本的には市民の求めに応じて収集すべきものである。過去の良書厳選主義が、市民を図書館から遠ざけていたという反省のもとに、図書館は誰のものを常に意識し、市民の要求を基本に蔵書が構築されるべきであるという考え方は、「(2)日本の図書館の軌跡」で触れたように日野市の図書館活動から始まった現在の図書館活動の出発点である。

それを前提としながら、要求の多い図書だけでなく、公共図書館として当然所蔵すべき基本図書や、地域資料、重点資料をどう収集していくのか、収集方針を市民の前に提示し、明らかにすることで理

解を得ていく必要がある。

③ 柏市立図書館の蔵書構成

柏市立図書館の特色は、本館と17分館の多くのサービス拠点をもち、さらにそれぞれが相互貸借することで、市内のどこに住んでいても柏市立図書館全体の蔵書が利用でき、多くの貸し出しを行っていることである。

しかし、個々の分館の蔵書は3万8千冊程度で、面積は平均170㎡と市民生活の情報源を標榜するには規模が小さく、貸し出し中心のサービスにならざるを得ない。この規模の分館で特色を出そうとすると偏りが生じ、かえって利用しにくいものとなる。各館による資料の重複を抑え、同一主題の資料を収集する際は、各館で異なったタイトルの資料を購入することにより、本館と17分館からなる柏市立図書館の蔵書をより効果的に利用することができる。

このような特色を踏まえ、柏市立図書館の収集方針として次のような方向性を市民に対して明らかにしていきたい。

- ア 市民が学習する上で必要となる各ジャンルの基本的及び最新の資料を収集する。
- イ 市民の自己実現、多様な趣味に資する資料、時事問題など市民が現在知りたい事柄に関する資料を収集する。
- ウ 各近隣センターを中心に活動している学習グループや趣味のサークルを支援する資料を収集する。
- エ ボランティア活動やNPO活動、子ども会、福祉団体、まちづくりに関わるさまざまな団体を支援するための資料を収集する。
- オ 国際化に対応した外国語の資料及び、国際交流室と連携し、柏市に関する外国語の資料を収集する。
- カ 高齢者やその他図書館の利用に障害のある市民に配慮した資料を収集する。
- キ 地域の学校との連携により、総合学習等、学校図書支援に対応した資料を収集する。
- ク 行政等の課題解決支援に配慮した資料を収集する。

2 具体的な資料収集にあたっての留意点

(1) 資料の収集にあたっては、「図書館の自由に関する宣言」「図書館員の倫理綱領」の精神を遵守する。

- ① 市民からのリクエストについては、以下の③に述べる形態上の問題に該当しない限り、購入・相互貸借などの手段により可能な限り提供する。
- ② リクエストの多い資料の複本購入に関しては、現時点では上限を柏市内全館合計で20冊とする。
- ③ 以下の形態の資料は図書館資料として収集しない。

- ア 切抜き・組み立てを目的に編集された資料
- イ 書き込みを目的として編集された資料
- ウ 著しく耐久性に欠ける資料
- エ 一枚物の楽譜
- オ CD・DVD等が主体であり、図書がそれらの付属物である資料

カ 問題集

キ 通信販売などのカタログ

- ④ 図書館利用に障害がある市民のために大活字本・CD等を収集する。外国語資料は、日本語を母語としない利用者へのサービスを視野に入れて、必要な資料を収集する。
- ⑤ 本館参考資料室の郷土資料コーナーでは、柏市を中心に関連の深い周辺一帯を含めた地域の図書・行政資料・逐次刊行物・小冊子等の資料を収集する。また、分館でも必要に応じて収集に努める。
- ⑥ 新聞は主要日刊紙を中心に収集する。外国語の新聞は代表的なものを収集する。
- ⑦ 雑誌は各分野の基本的なものを収集する。
- ⑧ 図書及び図書館に関する資料は積極的に収集する。
- ⑨ 視聴覚資料(AV資料)についてはCD・DVD等を収集対象とする。これらの選定にあたっては、各種雑誌・新聞等の評価を参考とする。
- ⑩ 漫画は、現在日本文化の一部となり市民権を得ているので、図書館資料として扱う。一般成人向け・児童向けともに現物を見た上で、過激な暴力描写・性描写等に留意し収集する。いわゆる名作を漫画化したもの・雑誌等に連載中のものは原則として収集しない。ストーリー漫画については、賞を取った作品・評価の定まったものから選定する。リクエストについては所蔵分のみ受け付け、未所蔵のものは次回の選定時に参考にする。
- ⑪ 古書については古書店等からの収集に努める。
- ⑫ 寄贈図書の受け入れについては、以上に述べた基準を適用する。寄贈を受ける際は、一切の判断を図書館側が行う旨の了承を得る。コーナーの設置は原則的におこなわない。
- ⑬ 収集後に何らかの問題が生じた場合は、図書館資料選定会議で協議し必要な措置を講ずる。

(2) 資料の選定方法は以下のとおりとする。

- ① 書店の店頭見計らい、書店・出版社の持ち込み、郵送による見計らい等の現物による選定
- ② 新聞・雑誌の書評、広告・インターネット情報等のツールを参考にした選定

3 児童資料の収集にあたっての留意点

(1) 児童資料の収集にあたっては、その特殊性から以下の理由により、選定基準とともに児童資料評価の基準を示すものである。

- ① 子どもは読むものを選ぶ自由が少ない。与えられたものを、たまたま目にふれたものを読む。図書館を利用する子どもは、館の所蔵に依存した読書生活を営むことになる。
- ② 子どもの時代は、書物に対する好みや、質の感覚が養われるときにある。この時期にふれる書物の影響は大人になってからの読書にはない、深く永続的なものがある。
- ③ 子どもの時代は、短く貴重である。子どもの本の中には、ある年齢の子どもにしか十分楽しめない種類のものもあり、数・多様性よりも、質が重要視されなければならない。

(2) 評価の基本

基本的姿勢は次のとおりとする。

- ① 自分で評価する。

児童図書を選書する場合は、自分の感性、自分の価値判断に頼って、直接本に当たってこれを評価すべきである。失敗や片寄りを恐れるあまり、機械的に新刊書を揃えたり、全面的に各種のリストに依

存すべきではない。

② 子どもに代わって評価する。

自分がある作品を好きか嫌いかということと、その作品が客観的に見てよく書けているかいないかということは別のことである。子どもがそれをどう受け取るだろうかという視点を忘れてはならない。

この視点を自分のものにするためには、目の前にいる子どもを観察すること、自分自身の子どもの頃のことをできるだけ思い出すこと、そして関連した書物を読むことである。

③ 蔵書全体との関係において評価する。

その本、あるいは作品自体の価値を評することではなく蔵書に加える価値があるかどうかを判断することである。

多少の欠点があるにもかかわらず、他に代替本がない場合は受入れざるを得ない。しかし、その経過は通っていなければならない。

④ 継続して評価する。

受入れた本については、その後の子どもの評価や利用状況を見て、継続的にその本を評価していく必要がある。

その後の措置としては、適当な時期に廃棄するか、または、複本を追加して蔵書全体のバランスをはかっていく。

(3) 蔵書の基本的理念

蔵書の基本的理念は、次のとおりとする。

- ① 健康なもののびのびした生活感情がみなぎっている。
- ② 奇想天外な想像力の世界が展開されていて自由な心や笑いを引き起こす。
- ③ 人間を取り巻く、自然、社会について、深く広い正しい認識を得させる。
- ④ 人類が積み上げてきた文化遺産に尊敬の心をいだかせる。
- ⑤ 子どもの持つ美しい心の成長にかなう、正義感、真理、真実などの探求心を育てる。
- ⑥ 科学的なものの考え方、生き方の基礎を養う。
- ⑦ 人間の尊厳を深く握み、しっかりした自己確立と批判精神を備えさせる。
- ⑧ 労働と生産への自覚を促し、働く人々の美しさにめざめさせる。
- ⑨ 子どもの持つ無限の想像力に答え、彼らの心の成長、創造性を切り開き促進する契機になる。
- ⑩ 平和と民主主義的国際理解を育てる。

(4) 選定の具体的基準

一般的共通事項

① 内容

ア 知識は正確でわかりやすく、公正でかつ時代の進歩に応じ論理的に発展しているか。

イ 俗悪に流れず、健全で文学性があり、子どもに想像力をもたせ、感情を豊かにすることができるか。

ウ 子どもの要求や能力に合致し、経験を充実させることができるか。

② 表現

ア 読者の発達段階に適した表現を用いそれが内容を表すのに十分であるか。また、子どもの心情を豊かにするよう叙述されているか。

イ 漢字、かなづかいが標準に合致し、明瞭で正確な写真・絵画・グラフ・図表などにより視覚化し、子どもの理解を助けているか。

ウ 翻訳は、原文の意味を正確に伝え理解しやすいか。また原著について解説がついているか。

③ 外観

ア 製本、装丁が整い、大きさが適当であるか。

イ 用紙は、印刷または読書に適しており、印刷は鮮明で活字の大きさ、行間の余白は適当であるか。

ウ 書名、目次、索引、参考図書など本の構成は適当であるか。著者、出版社は信頼できるか。また価格は適当で容易に購入できるか。

(5) 具体的事項

選定の具体的事項は、次のとおりとする。

① 絵本

ア 絵が見る者に訴えかけるものを持っているか。

イ 絵がストーリーを語ってくれているか。

ウ 絵と文が一本化されているか。

エ 構図がしっかりしているか、色はどうか。

オ 子どもにふさわしい、暖かみのある絵か。

カ ストーリーは、子どもにふさわしいか。

キ 子どものために出版されたものか。

② よみもの（童話）・民話

ア 豊かな想像力（物語性）を有したものであるか。

イ 子どもの立場に立った現代市民感覚にマッチしたものであるか。

ウ 健康で明るく人生を肯定し、人間を信頼するヒューマニズムに裏づけられたものであるか。

エ 外国文学は、ダイジェストの購入を避ける。また、訳文が適切であるか。

オ 古典、伝説は文学として一定の評価を得ており、現在まで子どもに読み継がれ、かつ現代的意味を有するか。

カ 民話の持っている内容（主題・筋運び・人物像）と、形式（語りくち・ことば）を正しくとらえられているか。

キ すぐれた原話の再話であるか。

ク 詩・童謡等は、ことばのリズム感覚が適切か。

③ ノンフィクション（実用書・参考図書）

ア 新しく正確な情報に基づいて書かれているか。

イ 専門用語についてよく説明されているか。

ウ 索引が整備されているか。

エ 出典が明確か。

オ 執筆者、編集者の専門性と責任を持った仕事が行なわれているか。

カ 表現方法が対象とする年齢にふさわしいものか。

④ 伝記

ア 被伝者の行動や業績が歴史的背景とのかかわり合いの中で描かれているか。

イ 被伝者の生活の全面が、欠点をも含めて人間的にとらえられているか。

ウ 生涯史となっているか。

エ 作者と被伝者とのかかわりに意義が認められるか。

オ 作品に現代的意義が認められるか。

カ 文学的形象性が豊かで感動深い作品となっているか。

キ 記述に誤りはないか。

⑤ 紙芝居

ア 絵本に準じる。

イ 離れて見ることが多いので線と色のはっきりしたもの、性格がドラマチックなものの方が適している。

この収集方針は、平成20年10月16日から施行する。

20 柏市立図書館資料除籍基準

制定 昭和59年3月1日

施行 昭和59年3月1日

(目的)

第1条 この基準は、柏市立図書館における図書館資料の除籍に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 書架の合理的な運営を図り、利用しやすい蔵書構成を維持するために、図書館資料の除籍を行う。

(除籍対象資料)

第3条 除籍の対象となる資料及びその基準は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 亡失

- ア 資料点検の結果所在不明となった資料で3年以上所在不明のもの
- イ 貸出資料のうち督促等の努力をしたにもかかわらず3年以上回収不能なもの
- ウ 利用者が紛失、汚損又は破損した資料で現品での弁済が不可能なもの
- エ 不可抗力による災害、その他事故などにより亡失したもの

(2) 不用

- ア 汚損、破損が著しく、補修が不可能な資料で、同類資料のあるもの
- イ 時間の経過によって内容が古くなり、資料価値のなくなったもの
- ウ 利用が著しく低下し、新たな資料で代替できるもの
- エ 不必要となった複本

(3) 数量更正

資料を分冊または合冊し、資料数が増減するもの

(除籍対象外資料)

第4条 次の各号に掲げる資料については、原則として除籍の対象としない。

- (1) 地域資料で複本がないもの
- (2) 入手が困難で、資料価値の高いもの

(除籍の決定)

第5条 除籍の決定は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 除籍にあたっては、除籍基準に基づき除籍資料の選定を行うものとする。
- (2) 館長は、前号の選定結果に基づき除籍を決定するものとする。

(除籍処理)

第6条 除籍を決定した資料の処理は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 図書館資料マスターを抹消する。
- (2) 除籍図書館資料明細書を作成する。
- (3) 図書館資料の図書番号（バーコード）を抹消する。

(委任)

第7条 この基準に定めるもののほか、図書館資料の除籍に関する事項については、館長が別に定める。

附則

この基準は、昭和59年3月1日から施行する。

附則

この基準は、平成18年11月1日から施行する。

令和元年度 図書館年報

令和元年11月13日発行

編集・発行 柏市教育委員会
柏市立図書館

〒277-0005

柏市柏5丁目8番12号

TEL.04(7164)5346

